

平成26年度

横手市まちづくりアンケート
実施結果

(平成26年6月1日~20日実施)

平成26年10月

秋田県横手市

目 次

I. 調査概要

1. 調査の目的 1
2. 調査概要 1
 - ・アンケート調査項目 2
 - ・横手市まちづくりアンケート回収結果【対象：市民】 3
 - ・横手市まちづくりアンケート回収結果【対象：高校生】 8

II. 調査分析

1. 調査分析方法 11
2. 総括分析 11
3. 総合満足度及び満足度における上位・下位の3問の状況 15
- 4-1. 属性分析【対象：市民】 16
- 4-2. 属性分析【対象：高校生】 23
 - ・満足度・重要度の散布図（部分拡大） 24
- 5-1. 幸福感の判断キーワード【対象：市民】 33
- 5-2. 幸福感の判断キーワード【対象：高校生】 35
- 6-1. 10年後の横手市について【対象：市民】 37
- 6-2. 10年後の横手市について【対象：高校生】 41
7. インターネットの利用度と市の情報の主な入手先 45

III. 巻末資料

- ① 平成21年度データ（散布図）
- ② 平成21年度、平成26年度満足度比較
- ③ 市民アンケート自由意見

I .調査概要

1. 調査の目的

新しい横手市総合計画（第2次横手市総合計画）策定の基礎資料とすることを目的として市民の皆様を対象としたアンケートを行いました。これまでの横手市の取り組みに対して、市民の皆様のご意見をいただくことにより、施策ごとの効果の検討、要望の把握を行い、今後活かしていくことを目的としております。

本アンケートは市内に在住の市民の皆様、高校生（市外を含む）を対象に実施しました。

2. 調査概要

今回の調査は無作為に抽出した18歳以上の市民2,964名（全体の4.4%※1）を対象に行いました。その結果、有効回答数は1,082件、回収率は36.5%となりました。

また、同じく横手市内の高校に通学している高校生を対象としたアンケートも行い、6校から644名の有効回答を得ました。

	市民対象調査	高校生対象調査
調査対象者	18歳以上の市民	2年生の生徒（市外含む）
送付方法	無作為抽出による郵送	各高校への依頼
調査期間	平成26年6月1日～20日	
送付件数	2,964件（全体の4.4%※1）	6校
回収件数	1,082件（回収率36.5%）	644件

※1 送付数3,000通を目安とし、18歳以上の市民を対象に、地域別、年代別に一定の割合で抽出を行った結果、抽出割合4.4%、送付数（対象者数）2,964件（人）として、実施することとした。

アンケート調査項目

○基本情報について

- イ. 性別
- ロ. 年齢
- ハ. 現在お住まいの地域（8地域）
- ニ. 職業
- ホ. 家族構成
- ヘ. 同居家族の中に高校生以下の子供は
- ト. 同居家族の中に（自身を含む）65歳以上の方は
- チ. 横手市での居住年数（合併前の年数を含む）
- リ. インターネットを利用していますか（パソコン・携帯電話などを含む）
- ヌ. 市の情報を主にどこから得ていますか。

○各分野の重要度および満足度について

①生活環境分野		④産業振興分野	
問1	自然・歴史的環境の保全と活用について	問22	農林業の振興について
問2	住宅・住環境の整備について	問23	工業の振興について
問3	公園・緑地の整備について	問24	商業の振興について
問4	上水道の整備について	問25	観光の振興について
問5	下水道等の整備について	問26	新たな地域産業の振興について
問6	環境保全政策の充実について	⑤教育文化分野	
問7	各拠点地区の整備について	問27	学校教育の充実について
問8	道路網の整備について	問28	生涯学習の推進について
②安全生活分野		問29	地域文化の振興について
問9	消防・防災体制の充実について	問30	スポーツ・レクリエーションの振興について
問10	交通安全・防犯対策の推進について	問28	生涯学習の推進について
問11	治山・治水の推進について	問29	地域文化の振興について
問12	公共交通機関の利便性の向上について	問30	スポーツ・レクリエーションの振興について
問13	高度情報化の推進について	⑥住民参画交流分野	
③健康福祉分野		問31	男女共同参画社会づくりの推進について
問14	保健活動・健康づくりの推進について	問32	他の自治体との連携・交流の推進について
問15	医療体制の充実について	問33	広報・公聴の推進について
問16	地域福祉の向上について	問34	市民との協働・活動支援について
問17	高齢者福祉の充実について	問35	市職員の資質向上に関する取り組みについて
問18	児童福祉の充実について	問36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス
問19	障がい者（児）福祉の充実について	横手市全体の満足度	
問20	母子（父子）家庭福祉の充実について	問37	横手市の取り組み全体について
問21	低所得者福祉の充実について		

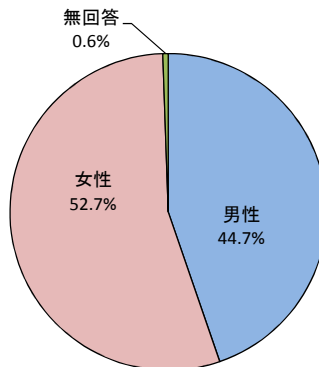
横手市まちづくりアンケート 回収結果【対象：市民】

総回答数1,082件/2,964件 回収率36.5%

属性毎の集計結果を以下に示します。

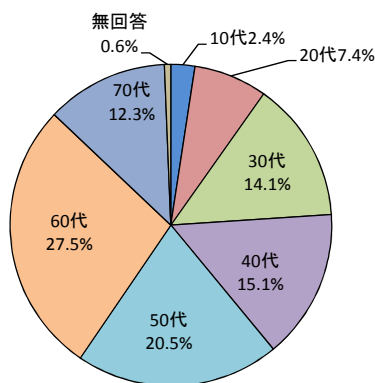
【性別】

	回答数	%
男性	484	44.7%
女性	592	54.7%
無回答	6	0.6%
合計	1,082	100.0%



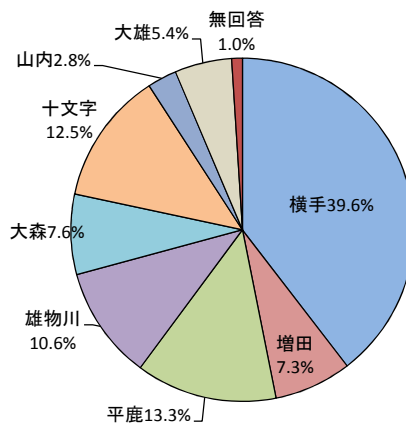
【年齢】

	回答数	%
10代	26	2.4%
20代	80	7.4%
30代	153	14.1%
40代	163	15.1%
50代	222	20.5%
60代	298	27.5%
70代以上	133	12.3%
無回答	7	0.6%
合計	1,082	100.0%



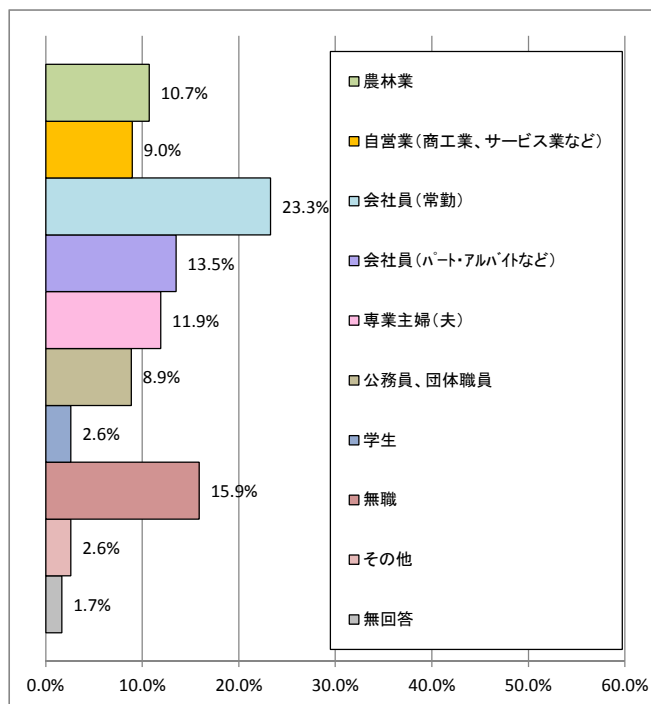
【地域別】

	回答数	%
横手	428	39.6%
増田	79	7.3%
平鹿	144	13.3%
雄物川	115	10.6%
大森	82	7.6%
十文字	135	12.5%
山内	30	2.8%
大雄	58	5.4%
無回答	11	1.0%
合計	1,082	100.0%



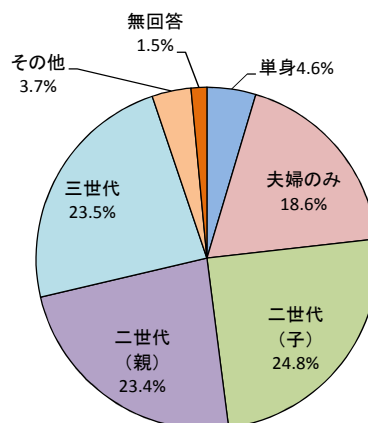
【職業別】

	回答数	%
農林業	116	10.7%
自営業(商工業、サービス業など)	97	9.0%
会社員(常勤)	252	23.3%
会社員(パート・アルバイトなど)	146	13.5%
専業主婦(夫)	129	11.9%
公務員、団体職員	96	8.9%
学生	28	2.6%
無職	172	15.9%
その他	28	2.6%
無回答	18	1.7%
合計	1,082	100.0%



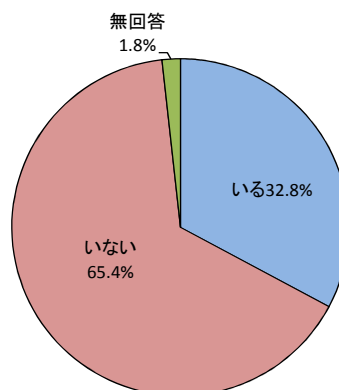
【家族構成別】

	回答数	%
単身	50	4.6%
夫婦のみ	201	18.6%
二世世代(子)	268	24.8%
二世世代(親)	253	23.4%
三世世代	254	23.5%
その他	40	3.7%
無回答	16	1.5%
合計	1,082	100.0%



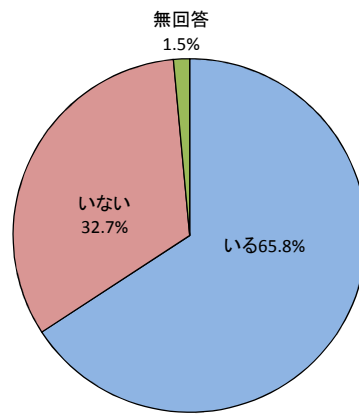
【高校生以下の子供の有無】

	回答数	%
いる	355	32.8%
いない	708	65.4%
無回答	19	1.8%
合計	1,082	100.0%



【65歳以上の高齢者の有無】

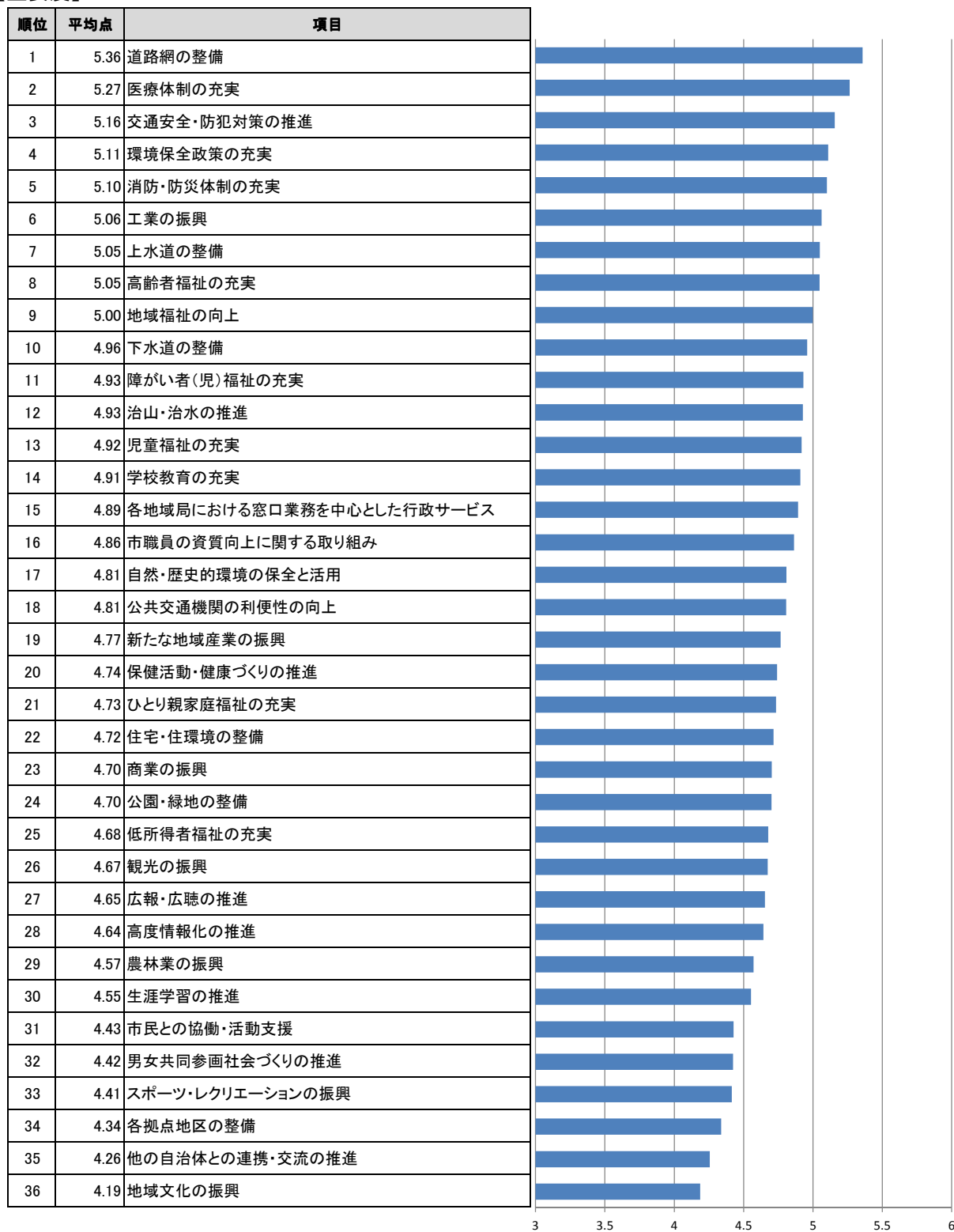
	回答数	%
いる	712	65.8%
いない	354	32.7%
無回答	16	1.5%
合計	1,082	100.0%



平均点で見た【重要度】【満足度】における各質問項目の順位【対象:市民】

設問毎の点数を平均値で算出し、点数の高い順に並べた表を以下に示します。

【重要度】



【重要度】設問全体の平均点	4.79
---------------	------

【満足度】



【満足度】設問全体の平均点	3.96
---------------	------

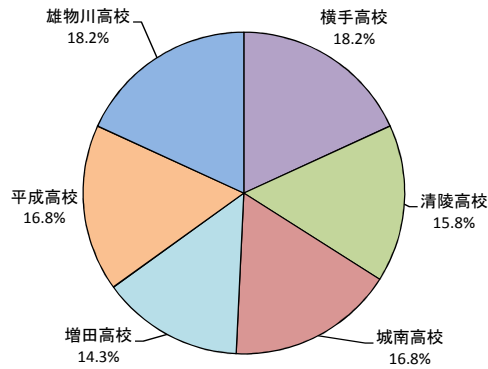
横手市まちづくりアンケート回収結果【対象：高校生】

総回答数644件

高校生アンケートの属性毎の集計結果を以下に示します。

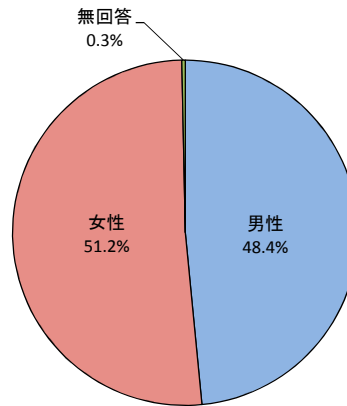
【高校別】

	回答数	%
横手高校	117	18.2%
横手清陵学院高校	102	15.8%
横手城南高校	108	16.8%
増田高校	92	14.3%
平成高校	108	16.8%
雄物川高校	117	18.2%
合計	644	100.0%



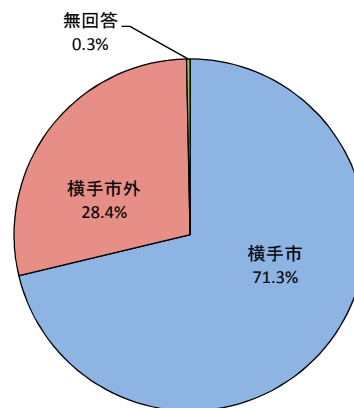
【性別】

	回答数	%
男性	312	48.4%
女性	330	51.2%
無回答	2	0.3%
合計	644	100.0%



【地域別】

	回答数	%
横手市	459	71.3%
横手市外	183	28.4%
無回答	2	0.3%
合計	644	100.0%



平均点で見た【重要度】【満足度】における各質問項目の順位【対象：高校生】

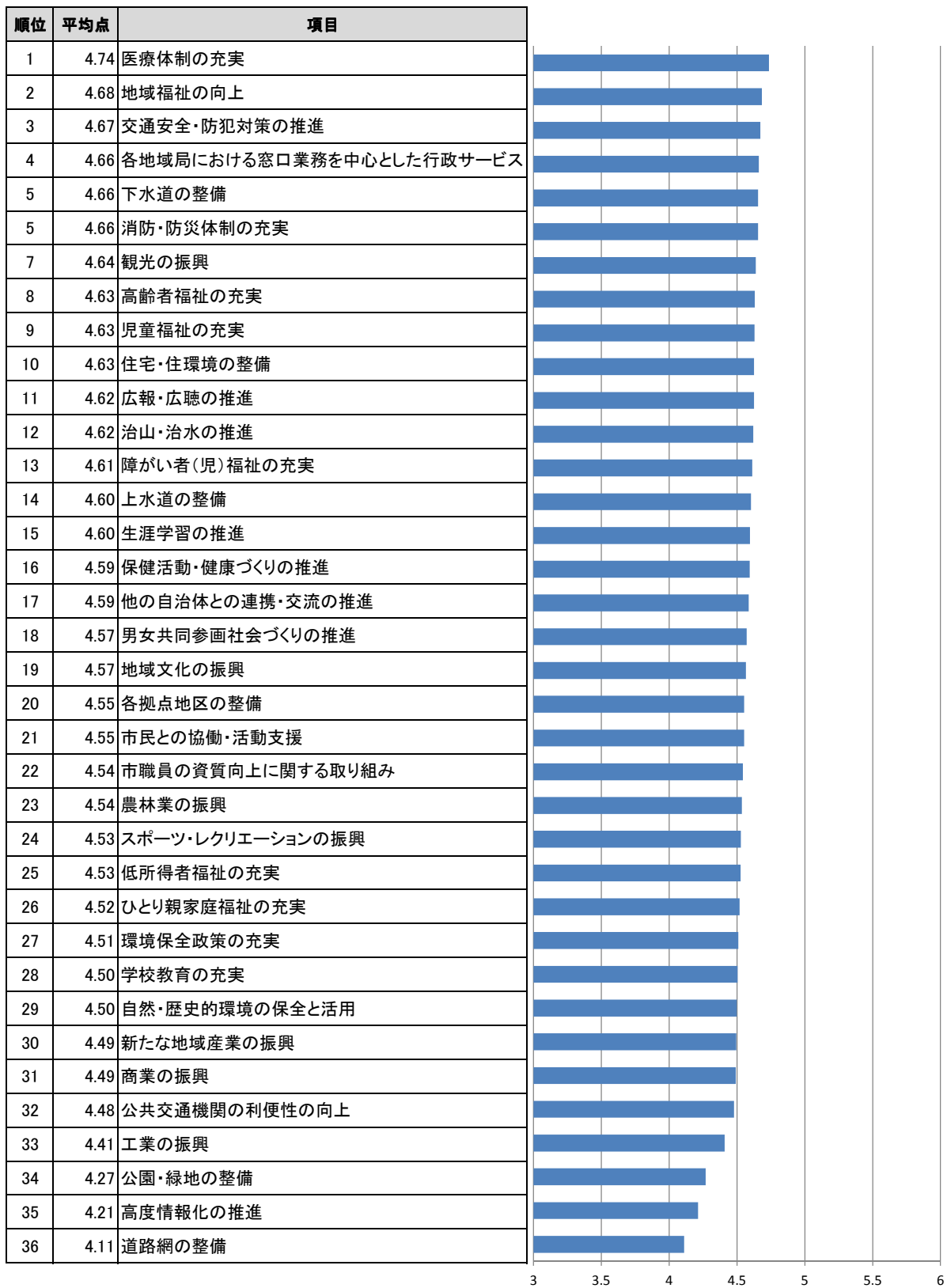
高校生アンケートの設問毎の点数を平均値で算出し、点数の高い順に並べた表を以下に示します。

【重要度】



【重要度】設問全体の平均点	5.20
---------------	------

【満足度】



【満足度】設問全体の平均点	4.55
---------------	------

II. 調査分析

1. 調査分析方法

アンケートでは、横手市で現在取り組んでいる 36 の施策について、施策ごとの『満足度・重要度』、横手市の取り組み全般に対する『総合満足度』を調査しました。

設問は、満足度・重要度のそれぞれにおいて 6 段階評価とし、6 点を“非常に満足”もしくは“非常に重要”とし、1 点を“非常に不満”もしくは“全く重要でない”とする設問としました。さらに満足度で、2 点の“不満”もしくは 1 点の“非常に不満”を選択された場合は、その理由についても記載いただきました。

集計については、単純集計およびランキング集計、総合満足度の平均点の算出、項目ごとの満足度・重要度の平均点を散布図にしたものを作成し、それをもとにアンケートの分析を行いました。

2. 総括分析

(1) 総合満足度・自由意見について

総合満足度の平均値は 6 段階評価中 3.90 点となり、中間を 3.50 点としたとき、その点数を上回る水準となりました。また、地域別、年代別等の区分ごとに総合満足度を見たときも全ての区分で、中間の点数を上回る結果となりました。

世代別では、40 歳代で一番低い満足度 3.80 点となり、70 歳以上で 4.12 点の一番高い点数となり、他の年代と比較しても、70 歳以上で高い総合満足度を示していました。

地域別で見ると、大雄地域で 3.86 点の一番低い満足度となり、増田地域で 4.00 点の一番高い満足度となりました。

また、居住年数別では、一年未満の年数の人が 3.67 点の一番低い満足度となり、その後、点数が上がり 3～5 年の人 が 4.20 点の一番高い満足度となりました。しかしながら、6～20 年目になると一旦低くなり、21 年以上で 3.91 点と若干満足度が高くなる傾向が見られました。

自由意見では、企業誘致による雇用対策に係る意見が最も多く (29 件)、ついで市役所の体制について (28 件)、道路整備全般 (除雪等を含む) について (22 件)、アンケート内容について (22 件)、魅力のあるまちづくりについて (20 件) に関する意見が多く見られました。

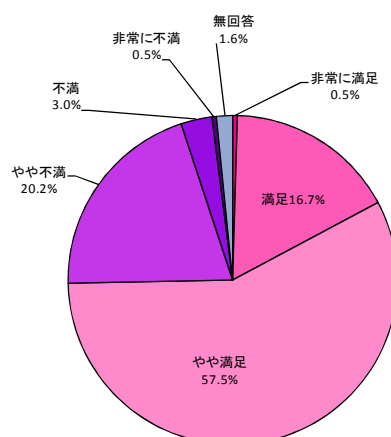
大分類で見ると、住民参画 (105 件)、産業雇用 (100 件)、生活環境 (79 件) に係る意見が多く挙げられていました。

また、高校生の自由意見では、若者向けの娯楽施設の充実 (12 件)、除雪体制の充実 (8 件)、スポーツ環境整備 (8 件) に係る意見が多く挙げられていました。

■総合満足度【対象：市民】

【総合満足度】(平均点 3.90/6.00)

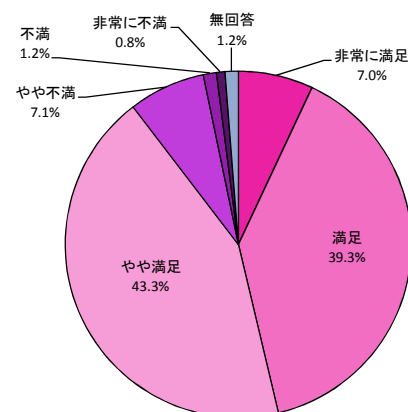
	回答数	%
非常に満足	5	0.5%
満足	181	16.7%
やや満足	622	57.5%
やや不満	219	20.2%
不満	33	3.0%
非常に不満	5	0.5%
無回答	17	1.6%
合計	1,082	100.0%



■総合満足度【対象：高校生】

【総合満足度】(平均点 4.42/6.00)

	回答数	%
非常に満足	45	7.0%
満足	253	39.3%
やや満足	279	43.3%
やや不満	46	7.1%
不満	8	1.2%
非常に不満	5	0.8%
無回答	8	1.2%
合計	644	100.0%



(2) 各項目の満足度について

満足度の上位3項目、下位3項目は以下のとおりとなりました。

1位 医療体制の充実《1位》

2位 保健活動・健康づくりの推進
《5位》

3位 児童福祉の充実《8位》

34位 商業の振興《30位》

35位 市職員の資質向上に関する取り組み
《34位》

36位 工業の振興《36位》

※《 》内は前回（平成21年度）の順位

36項目の満足度の全体平均値を取ったところ、3.96点となり、総合満足度の3.90点より若干高い点数となりました。

1位の項目は前回と同じく「医療体制の充実」となり、引き続き市民の皆様より満

足をいただいている形となりました。この分野では、特に 50 歳代以上の年代で 1 位となっており、65 歳以上の年齢の人がいる世帯でも 1 位となっておりました。また、2 位「保健活動・健康づくりの推進」、3 位「児童福祉の充実」といった項目が前回と比べ満足度が上がっているといった結果となりました。

一方、下位項目では、34 位が「商業の振興」となり、前回の 30 位から満足度の順位が低くなっていました。理由としては、「取り組みが足りない」という意見が最も多く、その他意見には「一過性のイベントだけでは商店街の活性化は図れない」「経営支援をしっかりと欲しい」という意見等がありました。また、36 位となった「工業の振興」は前回と同じく最下位の満足度となり、不満とした理由を見ると多くの方が工業の振興を雇用の問題と捉えており、横手市における雇用分野への取り組みに対する期待の大きさが表れた結果となりました。35 位には「市職員の資質向上に関する取り組み」が挙げられ、前回の 34 位よりさらに満足度の順位が下がる結果となりました。不満とする理由には「対応が遅い」、「接客マナーに職員の差がある」という意見が挙げられており、これについては市として早急な改善が必要であると考えられます。

(3) 各項目の重要度について

重要度の上位 3 項目、下位 3 項目は以下のとおりとなりました。

1 位 道路網の整備《3 位》	34 位 各拠点地区の整備《33 位》
2 位 医療体制の充実《1 位》	35 位 他の自治体との連携・交流《34 位》
3 位 交通安全・防犯対策の推進《9 位》	36 位 地域文化の振興《35 位》

※《 》内は前回（平成 21 年度）の順位

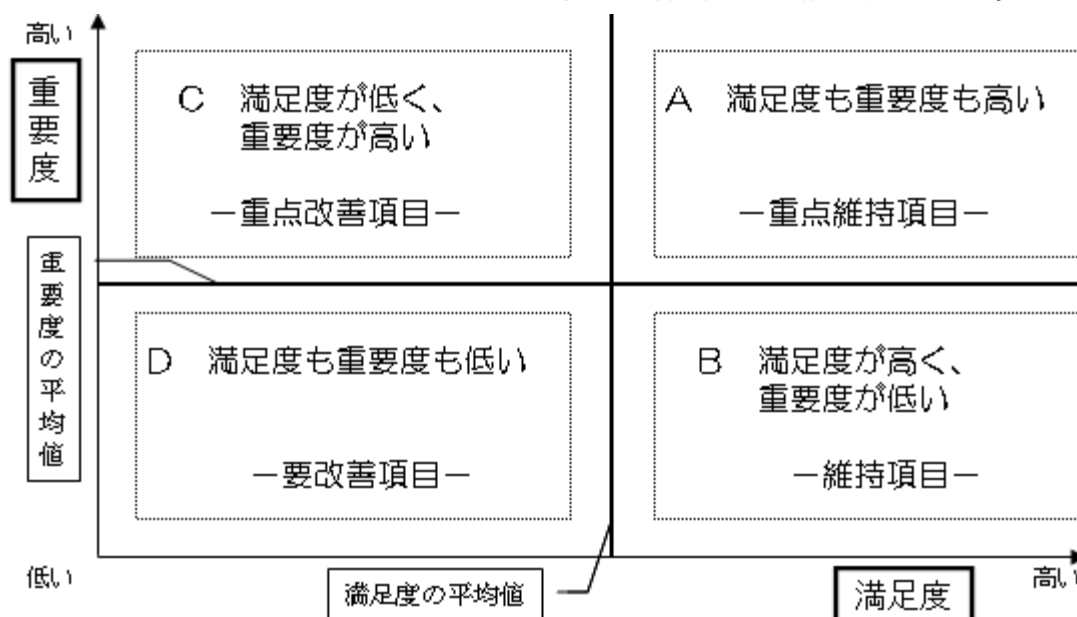
重要度の全体平均値は満足度の全体平均値である 3.96 点よりも大幅に高い 4.79 点となり、重要度を市民の皆様のニーズ、満足度を施策に対する評価と考えた場合、市民の皆様が市の政策のほとんどについて重要と考えており、更なる施策の振興が必要であるという結果となりました。

重要度で 2 位となった「医療体制の充実」では、満足度は 1 位、3 位の「交通安全・防犯体制の推進」では、満足度は 4 位となっており、この項目においてはある程度、市民の皆様のニーズと評価が一致していると考えられます。特に、70 歳以上では、「医療体制の充実」が満足度、重要度ともに 1 位となっており、この年代で特にこの項目を重視していることがうかがえました。逆に重要度では 1 位となった「道路網の整備」では、満足度が 33 位とかなり低く、市民の皆様のニーズに対して市の施策が十分に答えきれていない状況にあるということが考えられます。また、この項目の不満の理由を見たとき、【道路の整備】という面よりは、【除排雪】に係る道路管理等の部分の意見が多く、これが重要度の高さに表れていると考えられます。

(4) 満足度・重要度の散布図の分析

各項目の分布状況については、重要度を縦軸に、満足度を横軸にとり、各平均値を境として4つの領域に分類し分析しました。

(別紙 満足度・重要度の散布図をご覧ください)



上記図に基づき、散布図をA～Dの領域に分け、各項目を設けて分析しました。

・ Aの領域：重点維持項目

「医療体制の充実」、「交通安全・防犯体制の推進」、「消防・防災体制の充実」、「環境保全政策の充実」などが該当し、この領域は概ね満足をいただいている部分であり、引続き重点的に維持していくべき項目としてとらえることができます。

・ Bの領域：維持項目

「生涯学習の推進」、「高度情報化の推進」、「広報・広聴の推進」などが該当し、この領域は重要度が平均値より低いものの、概ね満足をいただいていることから、このままの状態を保つ維持項目としてとらえることができます。

・ Cの領域：重点改善項目

「工業の振興」、「道路網の整備」、「市職員の資質向上に関する取組」などが該当し、ここに位置する施策は市として最優先で改善しなければならないものと考えられます。

・ Dの領域：要改善項目

「男女共同参画社会づくりの推進」、「市民との協働・活動支援」、「他の自治体との連携・交流」などが該当し、事業の必要性のPRや見直しが必要な施策としてとらえることができます。

3.総合満足度及び満足度における上位・下位の3問の状況

アンケート項目のうち、総合満足度及び満足度が高い項目と低い項目について、それぞれの属性別の状況を整理しました。対象項目は下記の6つになります。

○満足度上位項目

- 1位 医療体制の充実《1位》
- 2位 保健活動・健康づくりの推進《5位》
- 3位 児童福祉の充実《8位》

○満足度下位項目

- 34位 商業の振興《30位》
- 35位 市職員の資質向上に関する取り組み《34位》
- 36位 工業の振興《36位》

(単位:点)

区分	総合満足度	満足度上位項目			満足度下位項目		
		医療体制の充実	保健活動・健康づくりの推進	児童福祉の充実	商業の振興	市職員の資質向上に関する取り組み	工業の振興
平均値	3.90	4.24	4.20	4.19	3.75	3.62	3.44
性別							
男性	3.83	4.24	4.17	4.12	3.63	3.60	3.28
女性	3.95	4.25	4.23	4.24	3.85	3.63	3.57
年代							
10歳代	3.81	4.08	3.92	4.12	3.92	3.54	3.72
20歳代	3.94	4.08	4.09	4.19	3.85	3.58	3.55
30歳代	3.83	4.17	4.19	4.12	3.81	3.54	3.50
40歳代	3.80	4.06	4.08	4.11	3.66	3.49	3.47
50歳代	3.82	4.24	4.18	4.17	3.75	3.51	3.33
60歳代	3.95	4.31	4.24	4.21	3.68	3.64	3.36
70歳以上	4.12	4.53	4.48	4.33	3.83	4.03	3.54
地域							
横手	3.88	4.17	4.17	4.10	3.68	3.56	3.39
増田	4.00	4.17	4.30	4.20	3.84	3.89	3.49
平鹿	3.86	4.23	4.20	4.19	3.82	3.45	3.44
雄物川	3.96	4.41	4.20	4.16	3.70	3.79	3.48
大森	3.96	4.51	4.28	4.23	3.79	3.46	3.42
十文字	3.89	4.26	4.20	4.31	3.74	3.68	3.50
山内	3.90	4.20	4.23	4.27	4.00	3.75	3.50
大雄	3.86	4.14	4.21	4.40	3.89	3.77	3.46
職業							
農林業	4.09	4.52	4.37	4.37	3.85	3.81	3.51
自営業	3.79	4.34	4.18	4.18	3.80	3.46	3.54
会社員(常勤)	3.76	4.05	4.11	4.07	3.74	3.44	3.42
会社員(パート等)	3.92	4.23	4.20	4.20	3.69	3.60	3.42
専業主婦(夫)	4.04	4.37	4.37	4.49	3.87	3.74	3.56
公務員等	3.95	4.16	4.11	4.10	3.66	3.71	3.28
学生	3.93	4.04	3.93	4.00	3.82	3.70	3.59
無職	3.89	4.32	4.21	4.11	3.62	3.72	3.32
その他	3.78	4.04	4.07	3.89	3.78	3.50	3.48
家族構成							
単身	3.73	4.06	4.04	4.11	3.82	3.55	3.68
夫婦のみ	3.94	4.36	4.22	4.20	3.63	3.67	3.28
二世代(子)	3.87	4.19	4.19	4.15	3.74	3.62	3.44
二世代(親)	3.94	4.33	4.28	4.24	3.84	3.60	3.52
三世代	3.89	4.15	4.18	4.18	3.75	3.63	3.41
その他	3.98	4.23	4.15	4.05	3.68	3.51	3.38
子供							
いる	3.87	4.15	4.16	4.15	3.78	3.52	3.49
いない	3.91	4.28	4.22	4.20	3.73	3.67	3.40
高齢者							
いる	3.93	4.29	4.25	4.19	3.74	3.68	3.43
いない	3.83	4.15	4.11	4.17	3.76	3.48	3.44
居住年数							
1年未満	3.67	3.71	3.86	3.86	3.71	3.29	3.00
1~2年	4.19	4.00	3.93	4.13	3.80	3.60	3.60
3~5年	4.20	4.56	4.60	4.79	4.25	4.08	3.88
6~10年	3.88	4.24	4.24	4.00	3.66	3.64	3.44
11~20年	3.74	4.14	4.09	4.15	3.77	3.39	3.54
21年以上	3.91	4.25	4.21	4.19	3.73	3.63	3.41

は、平均値よりも高い値の項目です。

4-1.属性別分析【対象：市民】

属性（性別、年代別など）をもとに、満足度と重要度の関係を分析することで、属性間における満足度および重要度の相違を明らかにしました。
調査属性は以下の通りです。

- (1) 性別
- (2) 年代別
- (3) 地域別
- (4) 職業別
- (5) 家族構成別
- (6) 子供の有無
- (7) 高齢者の有無
- (8) 居住年数別

○全体

【満足度】

全体	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について

【重要度】

全体	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について

※以下の表の、は、全体順位が上・下位3項目以外の項目です。

(1)性別

【満足度】

性別	順位	満足している			満足していない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
男性		医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	上水道の整備について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について
女性		医療体制の充実について	児童福祉の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について

【重要度】

性別	順位	重要である			重要ではない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
男性		道路網の整備について	医療体制の充実について	上水道の整備について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
女性		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について

(2) 年代別

【満足度】

年代	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
10代	上水道の整備について	治山・治水の推進について	交通安全・防犯対策の推進について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について	公園・緑地の整備について
20代	治山・治水の推進について	交通安全・防犯対策の推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	道路網の整備について	市職員の資質向上に関する取り組みについて
30代	治山・治水の推進について	保健活動・健康づくりの推進について	医療体制の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
40代	交通安全・防犯対策の推進について	治山・治水の推進について	児童福祉の充実について	道路網の整備について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて
50代	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	高度情報化の推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
60代	医療体制の充実について	消防・防災体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について
70代以上	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	工業の振興について	商業の振興について	農林業の振興について

【重要度】

年代	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
10代	道路網の整備について	消防・防災体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	各拠点地区の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について
20代	道路網の整備について	医療体制の充実について	高齢者福祉の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	スポーツ・レクリエーションの振興について
30代	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
40代	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
50代	道路網の整備について	医療体制の充実について	工業の振興について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
60代	道路網の整備について	医療体制の充実について	消防・防災体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	男女共同参画社会づくりの推進について
70代以上	医療体制の充実について	工業の振興について	道路網の整備について	各拠点地区の整備について	地域文化の振興について	高度情報化の推進について

(3) 地域別

【満足度】

地域	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
横手	上水道の整備について	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
増田	保健活動・健康づくりの推進について	治山・治水の推進について	各拠点地区の整備について	工業の振興について	下水道等の整備について	商業の振興について
平鹿	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	男女共同参画社会づくりの推進について
雄物川	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	工業の振興について	男女共同参画社会づくりの推進について	商業の振興について
大森	医療体制の充実について	下水道等の整備について	消防・防災体制の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	公園・緑地の整備について
十文字	児童福祉の充実について	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
山内	上水道の整備について	児童福祉の充実について	環境保全政策の充実について	工業の振興について	道路網の整備について	男女共同参画社会づくりの推進について
大雄	児童福祉の充実について	高齢者福祉の充実について	消防・防災体制の充実について	工業の振興について	男女共同参画社会づくりの推進について	市職員の資質向上に関する取り組みについて

【重要度】

地域	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
横手	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	市民との協働・活動支援について
増田	道路網の整備について	交通安全・防犯対策の推進について	環境保全政策の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	スポーツ・レクリエーションの振興について
平鹿	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	各拠点地区の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について
雄物川	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	各拠点地区の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について
大森	道路網の整備について	医療体制の充実について	環境保全政策の充実について	各拠点地区の整備について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について
十文字	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	スポーツ・レクリエーションの振興について
山内	道路網の整備について	医療体制の充実について	高齢者福祉の充実について	各拠点地区の整備について	地域文化の振興について	男女共同参画社会づくりの推進について
大雄	道路網の整備について	消防・防災体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について

(4)職業別

【満足度】

職業	順位	満足している			満足していない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
農林業		医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	農林業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて
自営業		医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	高度情報化の推進について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	工業の振興について	各拠点地区の整備について
会社員(常勤)		上水道の整備について	交通安全・防犯対策の推進について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
会社員(パート等)		医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	交通安全・防犯対策の推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について
専業主婦(夫)		児童福祉の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	医療体制の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	他の自治体との連携・交流の推進について
公務員等		交通安全・防犯対策の推進について	医療体制の充実について	上水道の整備について	工業の振興について	道路網の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について
学生		交通安全・防犯対策の推進について	上水道の整備について	障がい者(児)福祉の充実について	公園・緑地の整備について	スポーツ・レクリエーションの振興について	工業の振興について
無職		医療体制の充実について	上水道の整備について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	商業の振興について	新たな地域産業の振興について
その他		障がい者(児)福祉の充実について	高度情報化の推進について	上水道の整備について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について

【重要度】

職業	順位	重要である			重要ではない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
農林業		道路網の整備について	工業の振興について	医療体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
自営業		医療体制の充実について	道路網の整備について	上水道の整備について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
会社員(常勤)		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
会社員(パート等)		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	市民との協働・活動支援について	他の自治体との連携・交流の推進について
専業主婦(夫)		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	スポーツ・レクリエーションの振興について
公務員等		道路網の整備について	医療体制の充実について	工業の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	地域文化の振興について	男女共同参画社会づくりの推進について
学生		道路網の整備について	医療体制の充実について	消防・防災体制の充実について	地域文化の振興について	住宅・住環境の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について
無職		医療体制の充実について	道路網の整備について	環境保全政策の充実について	地域文化の振興について	各拠点地区の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について
その他		医療体制の充実について	道路網の整備について	消防・防災体制の充実について	各拠点地区の整備について	他の自治体との連携・交流の推進について	観光の振興について

(5) 家族構成別

【満足度】

構成	順位	満足している			満足していない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
単身		消防・防災体制の充実について	障がい者(児)福祉の充実について	児童福祉の充実について	他の自治体との連携・交流の推進について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	男女共同参画社会づくりの推進について
夫婦のみ		医療体制の充実について	消防・防災体制の充実について	上水道の整備について	工業の振興について	商業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて
二世世代(子)		交通安全・防犯対策の推進について	保健活動・健康づくりの推進について	医療体制の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
二世世代(親)		医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	男女共同参画社会づくりの推進について
三世世代		保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	医療体制の充実について	工業の振興について	道路網の整備について	市職員の資質向上に関する取り組みについて
その他		医療体制の充実について	生涯学習の推進について	保健活動・健康づくりの推進について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	下水道等の整備について

【重要度】

構成	順位	重要である			重要ではない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
単身		道路網の整備について	上水道の整備について	医療体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
夫婦のみ		道路網の整備について	医療体制の充実について	環境保全政策の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
二世世代(子)		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
二世世代(親)		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	スポーツ・レクリエーションの振興について
三世世代		道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
その他		医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	消防・防災体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	市民との協働・活動支援について

(6) 世帯内の高校生以下の子供の有無の別

【満足度】

有無	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
いる	交通安全・防犯対策の推進について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について
いない	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について

【重要度】

有無	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
いる	道路網の整備について	交通安全・防犯対策の推進について	医療体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	男女共同参画社会づくりの推進について
いない	道路網の整備について	医療体制の充実について	工業の振興について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について

(7) 世帯内の65歳以上の高齢者の有無の別

【満足度】

有無	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
いる	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について
いない	交通安全・防犯対策の推進について	児童福祉の充実について	上水道の整備について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について

【重要度】

有無	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
いる	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
いない	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について

(8) 居住年数別

【満足度】

年数	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1年未満	消防・防災体制の充実について	障がい者(児)福祉の充実について	学校教育の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	観光の振興について
1～2年	交通安全・防犯対策の推進について	消防・防災体制の充実について	治山・治水の推進について	男女共同参画社会づくりの推進について	他の自治体との連携・交流の推進について	高度情報化の推進について
3～5年	児童福祉の充実について	生涯学習の推進について	高齢者福祉の充実について	工業の振興について	新たな地域産業の振興について	環境保全政策の充実について
6～10年	上水道の整備について	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	治山・治水の推進について	工業の振興について	男女共同参画社会づくりの推進について	道路網の整備について
11～20年	治山・治水の推進について	交通安全・防犯対策の推進について	児童福祉の充実について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	道路網の整備について	工業の振興について
21年以上	医療体制の充実について	保健活動・健康づくりの推進について	児童福祉の充実について	工業の振興について	市職員の資質向上に関する取り組みについて	商業の振興について

【重要度】

年数	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1年未満	医療体制の充実について	消防・防災体制の充実について	道路網の整備について	地域文化の振興について	各拠点地区の整備について	保健活動・健康づくりの推進について
1～2年	道路網の整備について	上水道の整備について	消防・防災体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について
3～5年	医療体制の充実について	道路網の整備について	児童福祉の充実について	他の自治体との連携・交流の推進について	地域文化の振興について	市民との協働・活動支援について
6～10年	道路網の整備について	交通安全・防犯対策の推進について	児童福祉の充実について	地域文化の振興について	市民との協働・活動支援について	他の自治体との連携・交流の推進について
11～20年	道路網の整備について	交通安全・防犯対策の推進について	医療体制の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	スポーツ・レクリエーションの振興について
21年以上	道路網の整備について	医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について	各拠点地区の整備について

4-2.属性別分析【対象:高校生】

高校生アンケートにおいては、市内・市外の別で属性を分け満足度および重要度の相違を明らかにしました。

○全体

【満足度】

全体	満足している			満足していない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
	医療体制の充実について	地域福祉の向上について	交通安全・防犯対策の推進について	道路網の整備について	高度情報化の推進について	公園・緑地の整備について

【重要度】

全体	重要である			重要ではない		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
	道路網の整備について	医療体制の充実について	住宅・住環境の整備について	地域文化の振興について	市民との協働・活動支援について	広報・広聴の推進について

※以下の表の、は、全体順位が上・下位3項目以外の項目です。

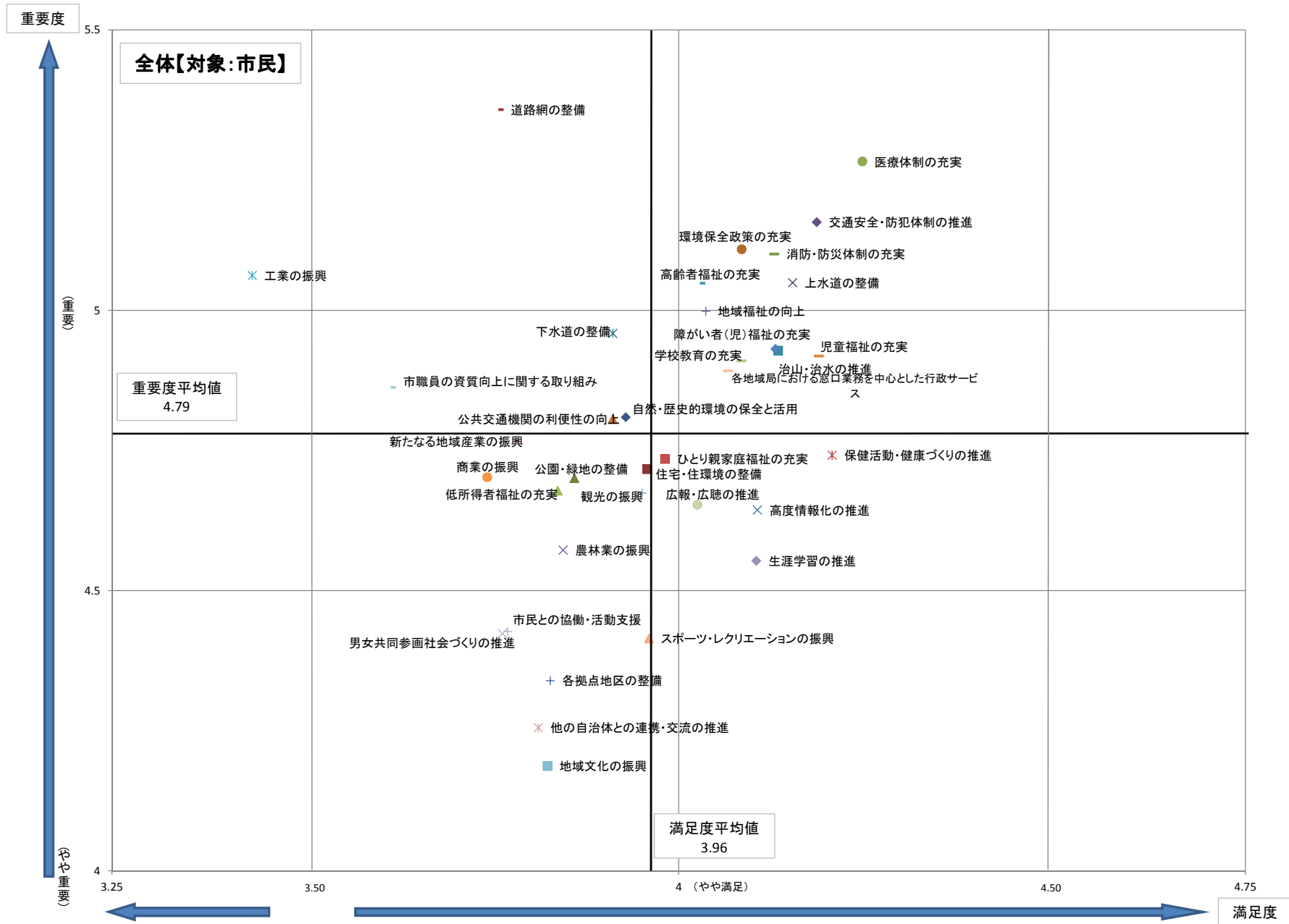
○市内・市外の別

【満足度】

性別	順位	満足している			満足していない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
市内		医療体制の充実について	交通安全・防犯対策の推進について	地域福祉の向上について	道路網の整備について	高度情報化の推進について	公園・緑地の整備について
市外		医療体制の充実について	観光の振興について	高齢者福祉の充実について	道路網の整備について	高度情報化の推進について	工業の振興について

【重要度】

性別	順位	重要である			重要ではない		
		1位	2位	3位	1位	2位	3位
市内		道路網の整備について	高齢者福祉の充実について	高度情報化の推進について	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	市民との協働・活動支援について	地域文化の振興について
市外		道路網の整備について	医療体制の充実について	住宅・住環境の整備について	学校教育の充実について	地域文化の振興について	他の自治体との連携・交流の推進について



※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

※前回は5段階《不満、やや不満、普通、やや満足、満足(重要度においても同じ)》で評価をいただいたが、今回は6段階《非常に不満、不満、やや不満、やや満足、満足、非常に満足(重要度においても同じ)》で評価をいただいた。

図1.全体 満足度・重要度の散布図(部分拡大) 《平成26年アンケート結果》

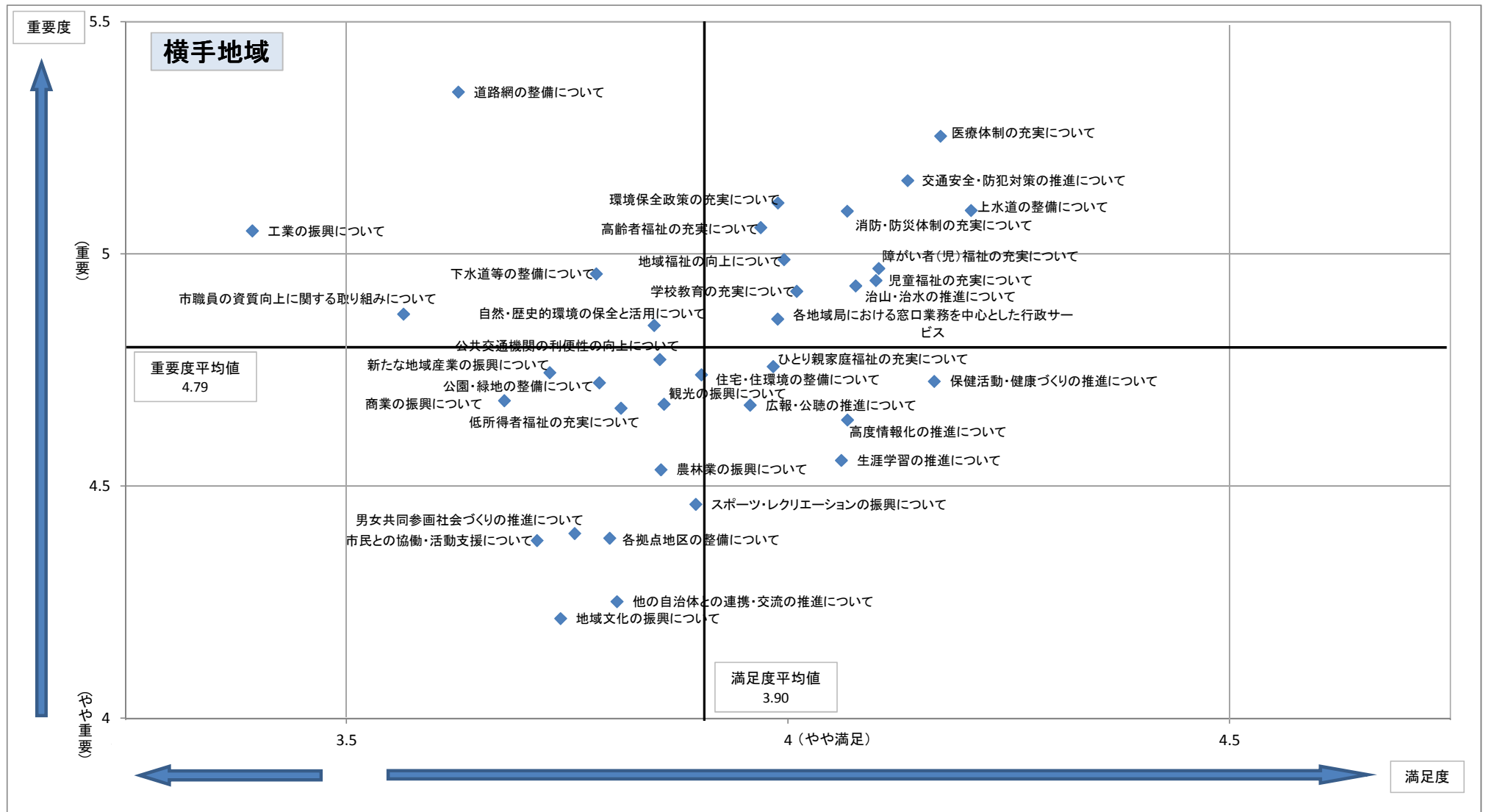


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大） 《平成26年度アンケート結果》

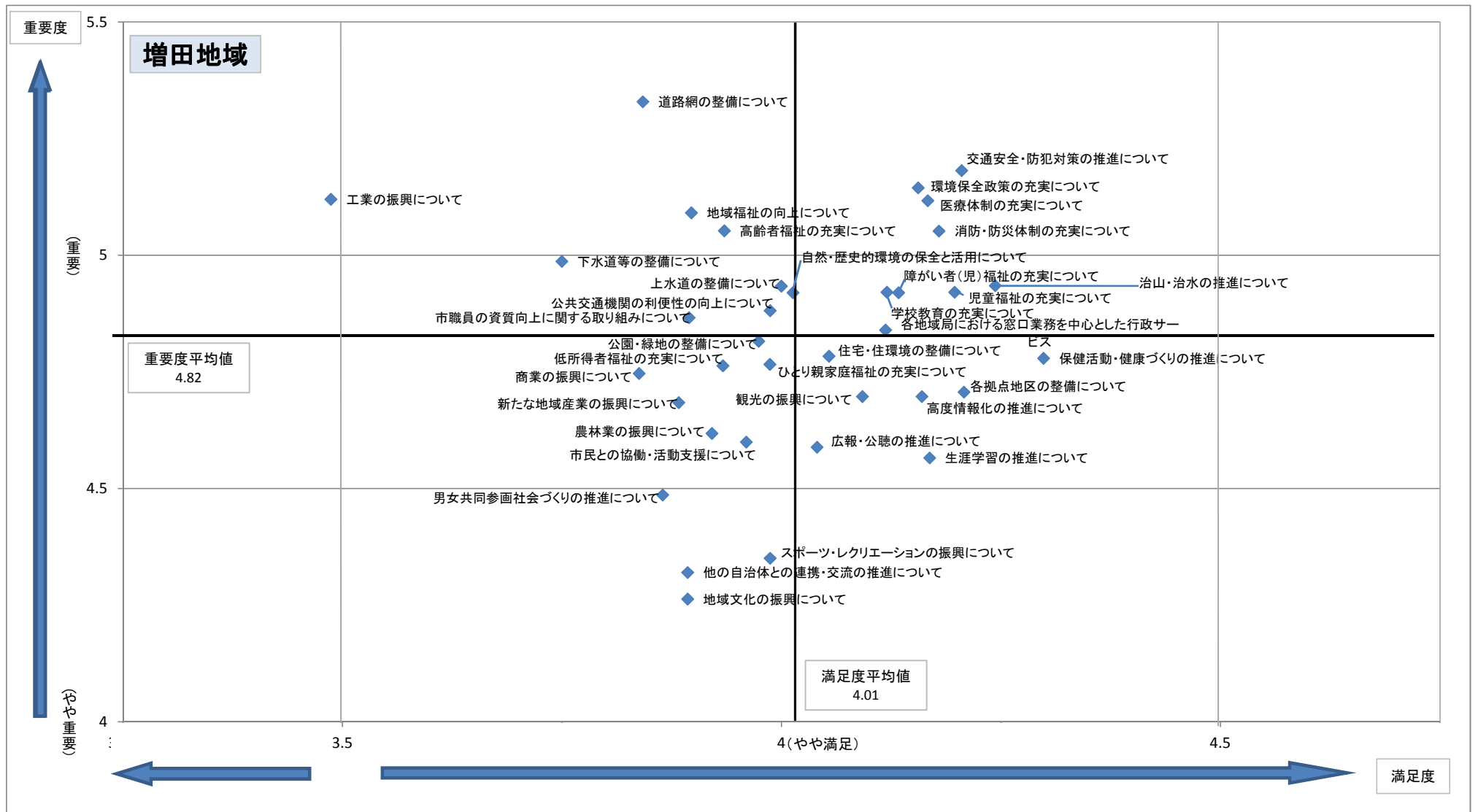


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

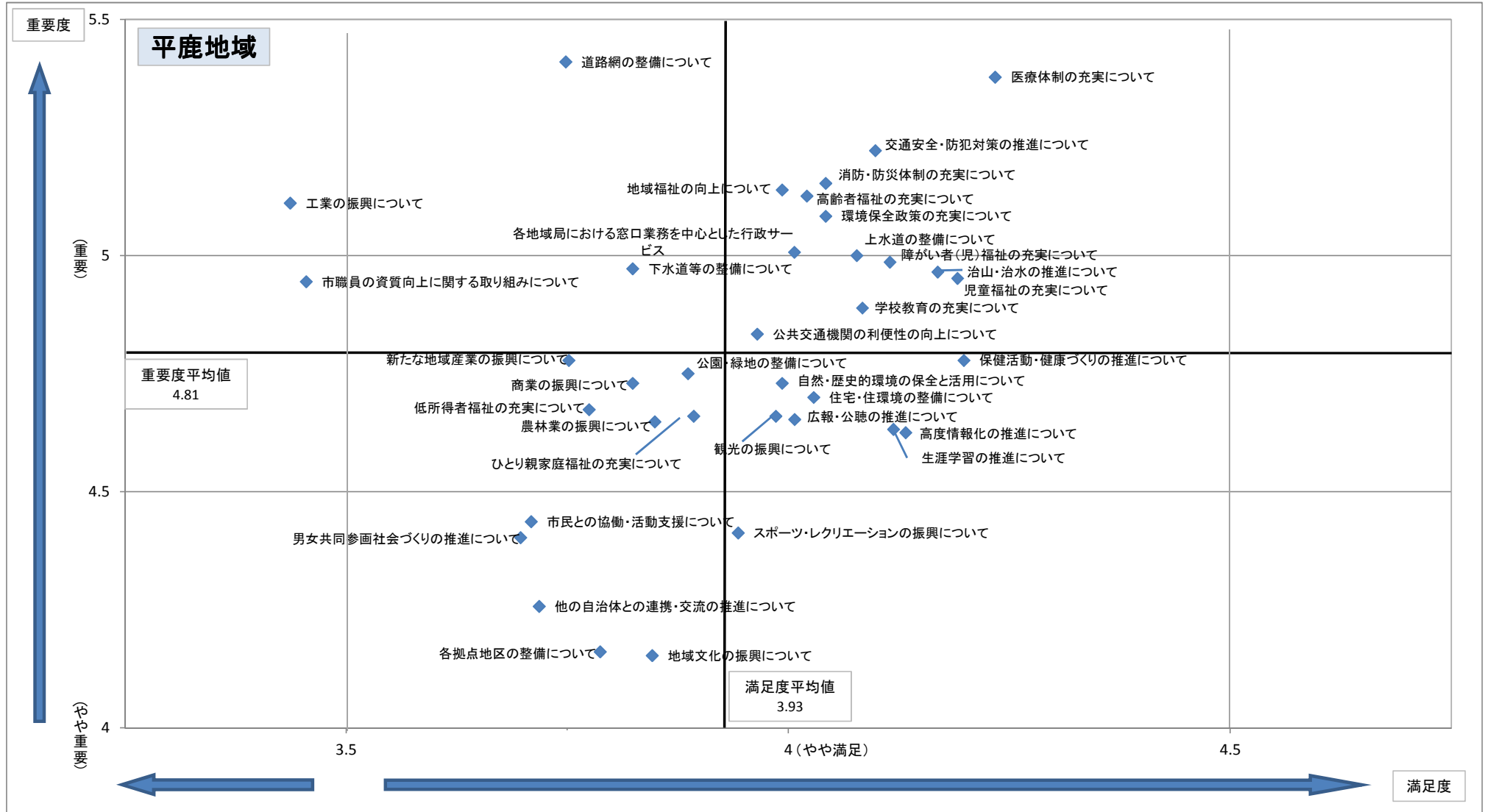


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

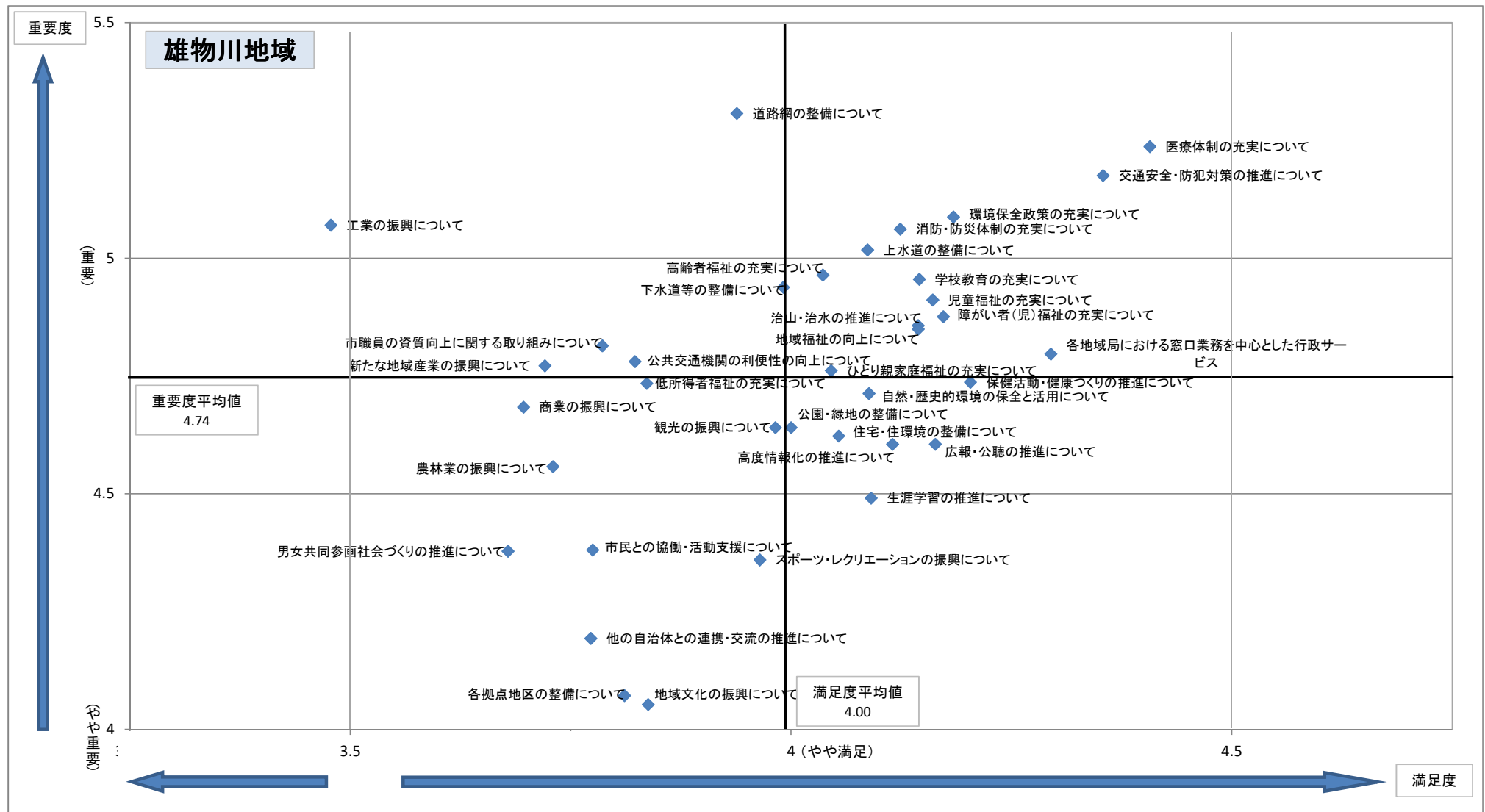


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

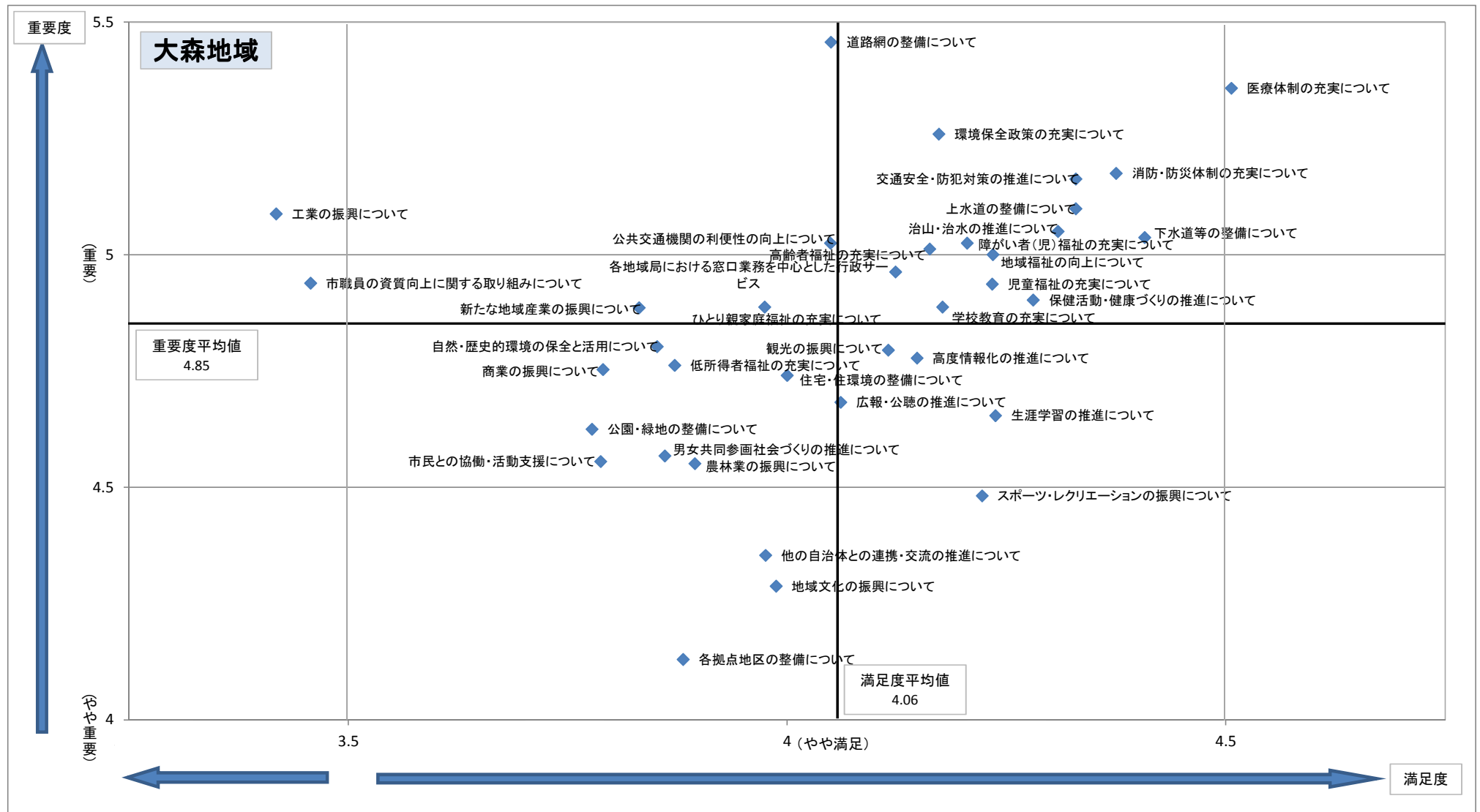


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

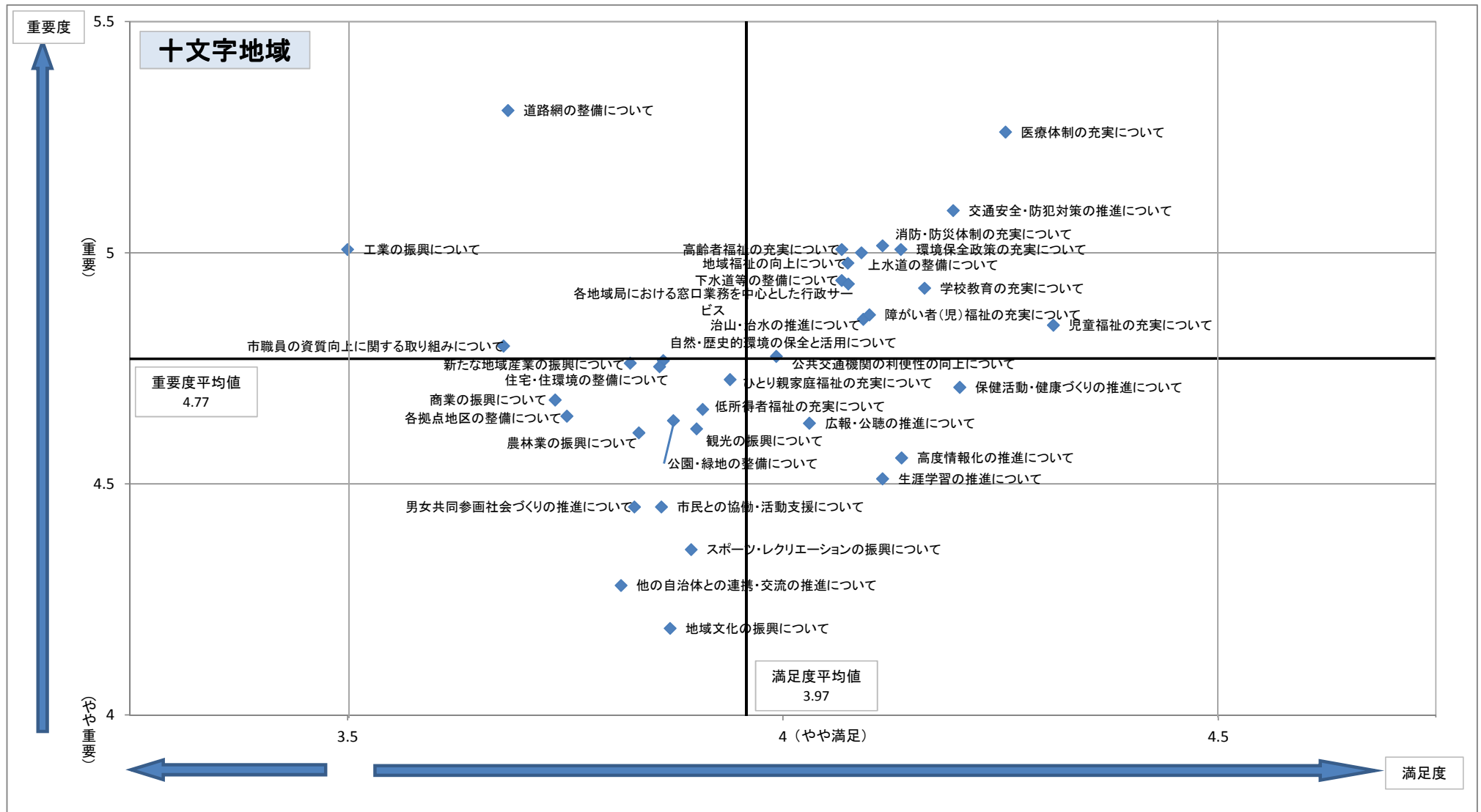


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

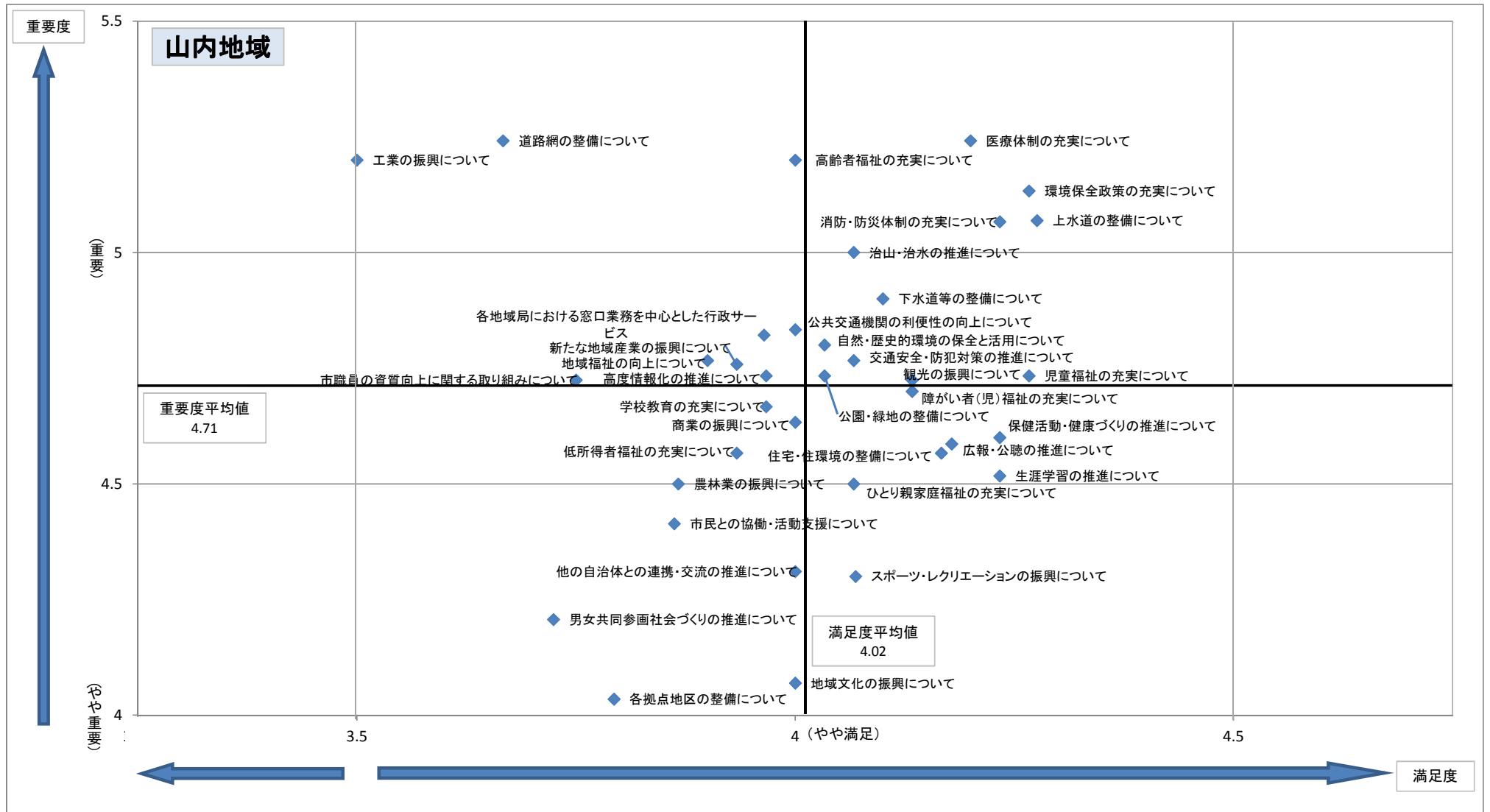


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

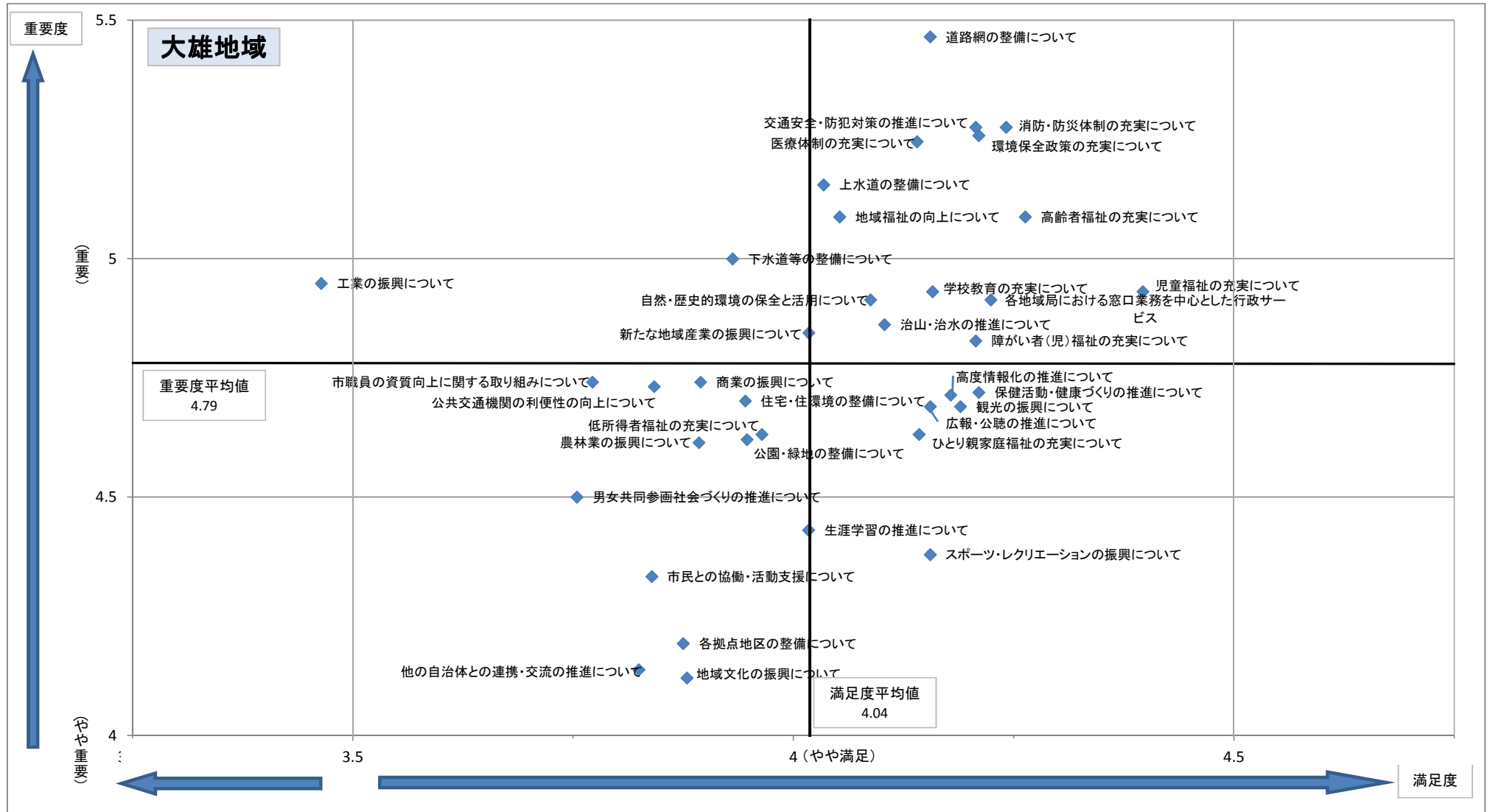


図2：地域別 満足度・重要度の散布図（部分拡大）《平成26年度アンケート結果》

5-1. 幸福感の判断キーワード【対象：市民】

今回のアンケートでは、市民の皆様「幸福感を判断する際に重視するもの」として、キーワードを選んでいただく項目をつくりました。

38個のキーワードに対し、最大5つまで選択を可能としたところ、市民の皆様が重視する幸福感の判断キーワードは下記の表のとおりとなりました。

1位には「安心」、2位に「豊かさ」が挙げられ、この2つのキーワードは3位以下の得点数を大きく引き離す形となっており、重要なキーワードになっていることが分かります。また、3位には「元気」、4位には「安全」、5位には「生きがい」がランクインしていることから、市民の皆様が重視する幸福感は、「安心」「安全」を土台として、「豊かさ」があり「元気」で「生きがい」のある生活にあると考えられます。

■市民アンケート結果（幸福感の判断キーワード）【市民】

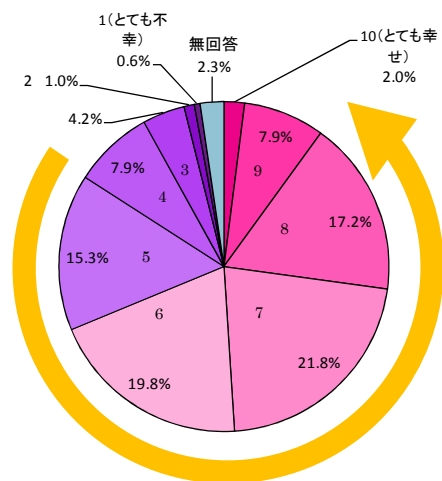
順位	項目	得点数	順位	項目	得点数
1	安心	497.48	20	にぎわい	66.24
2	豊かさ	452.64	21	交流	62.95
3	元気	376.44	22	憩い	57.81
4	安全	347.52	23	育み	54.83
5	生きがい	334.34	24	夢	50.88
6	笑顔	301.10	25	発展	48.50
7	快適さ	293.26	26	郷土愛	36.79
8	やすらぎ	277.51	27	美しさ	35.36
9	思いやり	248.04	28	挑戦	31.54
10	楽しさ	212.71	29	誇り	30.00
11	つながり	194.58	30	うるおい	25.96
12	便利さ	179.55	31	協働	25.00
13	あたたかさ	167.21	32	創造	23.55
14	健全	160.96	33	強さ	20.63
15	やさしさ	112.00	34	その他	18.00
16	ふれあい	101.30	35	躍動	17.25
17	活力	81.74	36	個性	13.00
18	自立	78.42	37	輝き	12.24
19	親しみ	67.03	38	憧れ	7.83

※5問以上選択していた回答については、按分した数値で換算

《参考》現在の幸福感【対象：市民】

【幸福度】(平均点 6.39/10.00)

	回答数	%
10(とても幸せ)	22	2.0%
9	86	7.9%
8	186	17.2%
7	236	21.8%
6	214	19.8%
5	166	15.3%
4	85	7.9%
3	45	4.2%
2	11	1.0%
1(とても不幸)	6	0.6%
無回答	25	2.3%
合計	1,082	100.0%



5-2. 幸福感の判断キーワード【対象：高校生】

高校生アンケートの幸福感の判断キーワードは下記のとおりとなりました。

1位には「快適さ」、2位には「楽しさ」が挙げられ、若い活気を感じさせるキーワードとなっています。また3位には「安心」、4位には「安全」、6位に「豊かさ」といった、市民の皆様から寄せられたキーワードの上位にあるものが高校生アンケートでも挙げられていました。

このことから、幸福感を判断するうえで、「安心」、「安全」、「豊かさ」が、全体における重要なキーワードとなることがうかがえます。

■市民アンケート結果（幸福感の判断キーワード）【高校生】

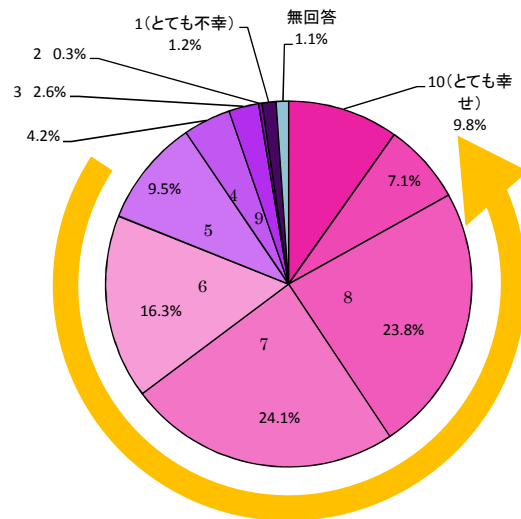
順位	項目	得点数	順位	項目	得点数
1	快適さ	301.27	20	夢	44.29
2	楽しさ	282.29	21	発展	42.61
3	安心	228.71	22	郷土愛	41.44
4	安全	224.54	23	憩い	32.46
5	便利さ	221.62	24	うるおい	30.75
6	豊かさ	175.08	25	交流	27.78
7	笑顔	154.47	26	個性	24.56
8	やすらぎ	131.36	27	挑戦	18.12
9	あたたかさ	118.05	28	躍動	17.19
10	にぎわい	94.12	29	健全	16.80
11	美しさ	90.26	30	強さ	15.82
12	元気	84.92	31	創造	15.72
13	つながり	77.93	32	誇り	15.40
14	やさしさ	76.08	33	憧れ	12.50
15	親しみ	73.66	34	輝き	11.83
16	生きがい	71.50	35	協働	10.50
17	ふれあい	69.90	36	自立	10.39
18	活力	63.25	37	育み	10.22
19	思いやり	61.62	38	その他	4.00

※5問以上選択していた回答については、按分した数値で換算

《参考》現在の幸福感【対象：高校生】

幸福度(平均点 7.00/10.00)

	回答数	%
10(とても幸せ)	63	9.8%
9	46	7.1%
8	153	23.8%
7	155	24.1%
6	105	16.3%
5	61	9.5%
4	27	4.2%
3	17	2.6%
2	2	0.3%
1(とても不幸)	8	1.2%
無回答	7	1.1%
合計	644	100.0%



6-1. 10年後の横手市について【対象：市民】

今回のアンケートでは、幸福感のキーワードの他に、「10年後の横手市を考え重点的に進めていくべき施策」、「市がお金をかけても10年後を見据え進めていくべき施策」、「市民の皆様の負担が増えても、10年後を見据え進めていくべき施策」の3つについても聞きました。

24の参考施策の他、その他の欄を設け、最大3つまで選択可能としたところ、次ページ以降に示す結果のとおりとなりました。

1つ目の「10年後の横手市を考え重点的に進めていくべき施策」は、市民の皆様に、今後当市が進むべき基本的な方向性を示していただく設問と言えますが、1位に「少子高齢化・人口減対策の充実」、2位に「子育て支援対策の充実」という施策が3位以下を大きく引き離す形で挙げられました。これらの施策は、特に市民の皆様が関心を持ち、今後の行政運営でも中心に据えていく必要性があるものと言えます。また、3位の「企業誘致、雇用促進」、4位の「保健・医療・健康づくりの充実」、5位の「除雪体制・雪対策の充実」は、重要度が高い、もしくは満足度が低いとされた項目とも一致しており、これらの施策についても重点的に進めていくべき必要性があることがうかがえました。

2つ目の「市がお金をかけても、10年後を見据え進めていくべき施策」は、1つ目の設問と比較して、より重点的に進めていくべき施策を示していただく設問と言えますが、1位に「除雪体制・雪対策の充実」、2位に「企業誘致、雇用促進」という施策が、3位以下の施策を大きく引き離す形で挙げられました。また、1つ目の設問では9位だった「農・商・工の連携、6次産業化の推進」が本設問では5位に入っており、重点的に進めるべき施策として今後検討していく必要があると考えられます。

最後の「市民の皆様の負担が増えても、10年後を見据え進めていくべき施策」は、1つ目、2つ目の設問と比較し市民の皆様が、今後の行政運営において最重要と考えている施策を示していただく設問と言えますが、1位の「除雪体制・雪対策の充実」が、2位以下を大きく引き離す形で挙げられました。

このことから、市民の皆様にとって、【雪国】である横手市の生活がより快適に過ごせることが何よりも重要であると考えていることがうかがえました。

また、2位の「保健・医療・健康づくりの充実」、3位の「福祉対策の充実」、4位の「少子高齢化・人口減少対策の充実」、5位の「企業誘致、雇用促進」、6位の「子育て支援対策の充実」は、3つの設問全てにおいて上位にランクインしており、今後の施策を考えていくうえで、特に行政運営において意識して進めるべき項目であることがうかがえました。

■ 10年後の横手市を考え重点的に進めるべき施策

順位	項目	得点数
1	少子高齢化・人口減少対策の充実	534
2	子育て支援対策の充実	532
3	企業誘致、雇用促進	365
4	保健・医療・健康づくりの充実	351
5	除雪体制・雪対策の充実	292
6	福祉対策の充実	223
7	公共交通機関の利便性向上	133
8	学校教育の充実	129
9	農・商・工の連携、6次産業化の推進	95
10	商工業の振興	63
11	道路・上下水道・情報基盤等のインフラ整備	54
12	市民との協働、地域コミュニティの促進	52
13	行財政改革の推進	50
14	農林業の振興、横手ブランドの開発	48
15	観光振興	35
16	生涯学習の充実	35
17	自然環境保全	32
18	防犯体制の充実	26
19	まちなみ・景観整備	24
20	消防・防災体制の充実	20
21	再生エネルギー対策	15
22	その他①	13
23	他自治体交流・国際交流の促進	12
24	スポーツの振興	11
25	地域文化・芸術振興・史跡の保全	6
26	その他②	1

■ 10年後を見据え、市がお金をかけても進めていくべき施策

順位	項目	得点数
1	除雪体制・雪対策の充実	433
2	企業誘致、雇用促進	415
3	保健・医療・健康づくりの充実	237
4	少子高齢化・人口減少対策の充実	231
5	農・商・工の連携、6次産業化の推進	221
6	福祉対策の充実	200
7	子育て支援対策の充実	200
8	道路・上下水道・情報基盤等のインフラ整備	164
9	農林業の振興、横手ブランドの開発	147
10	公共交通機関の利便性向上	120
11	学校教育の充実	103
12	商工業の振興	102
13	行財政改革の推進	102
14	再生エネルギー対策	101
15	観光振興	100
16	消防・防災体制の充実	44
17	市民との協働、地域コミュニティの促進	44
18	まちなみ・景観整備	41
19	自然環境保全	33
20	防犯体制の充実	30
21	生涯学習の充実	23
22	スポーツの振興	16
23	地域文化・芸術振興・史跡の保全	13
24	他自治体交流・国際交流の促進	11
25	その他①	10
26	その他②	1

■ 10年後を見据え、市民の負担が増えても進めていくべき施策

順位	項目	得点数
1	除雪体制・雪対策の充実	393
2	保健・医療・健康づくりの充実	319
3	福祉対策の充実	273
4	少子高齢化・人口減少対策の充実	256
5	企業誘致、雇用促進	237
6	子育て支援対策の充実	188
7	公共交通機関の利便性向上	144
8	学校教育の充実	132
9	道路・上下水道・情報基盤等のインフラ整備	129
10	農・商・工の連携、6次産業化の推進	117
11	再生エネルギー対策	115
12	行財政改革の推進	114
13	商工業の振興	67
14	市民との協働、地域コミュニティの促進	67
15	農林業の振興、横手ブランドの開発	62
16	消防・防災体制の充実	60
17	自然環境保全	59
18	観光振興	57
19	生涯学習の充実	57
20	防犯体制の充実	56
21	まちなみ・景観整備	47
22	地域文化・芸術振興・史跡の保全	29
23	スポーツの振興	22
24	他自治体交流・国際交流の促進	15
25	その他①	14
26	その他②	5

6-2. 10年後の横手市について【対象：高校生】

高校生アンケートでも同様に、10年後の横手市について必要な施策を聞いたところ、次ページ以降に示す結果のとおりとなりました。

1つ目の「10年後の横手市を考え重点的に進めていくべき施策」では、市民の皆様を対象としたアンケート同様、1位に「少子高齢化・人口減少対策の充実」、2位に「子育て支援対策の充実」が3位以下を大きく引き離す形で挙げられました。

2つ目の「市がお金をかけても、10年後を見据え進めていくべき施策」では、2位以下を大きく引き離す形で、1位に「除雪体制・雪対策の充実」が挙げられ、市民の皆様を対象としたアンケートと同様の結果となりました。また、2位には「観光振興」が挙げられ、この部分については、高校生独自の観点が見受けられ、活気のあるまちづくりを望んでいることがうかがえました。

最後の「市民の皆様の負担が増えても、10年後を見据え進めていくべき施策」では、1位は市民の皆様を対象としたアンケート同様、「除雪体制・雪対策の充実」が2位以下を大きく引き離す形で挙げられており、この施策については、当市の今後10年を考えるうえで、特に重要な施策であることがうかがえました。また、高校生アンケートにおいて、特徴的なものとして、4位の「自然環境保全」があり、将来に向けて、豊かな自然を若い世代に引き継いでいくことも行政の重要な使命であることがうかがえました。この他、2位の「保健・医療・健康づくりの充実」、3位の「少子高齢化・人口減少対策の充実」、5位の「子育て支援対策の充実」は、3つの設問全てにおいて上位に挙げられており、また、市民の皆様を対象としたアンケートにおいても上位に挙げられていたことから、今後の施策を考えるうえで、特に重要な施策であることがうかがえました。

■ 10年後の横手市を考え重点的に進めていくべき施策

順位	項目	得点数
1	少子高齢化・人口減少対策の充実	371
2	子育て支援対策の充実	333
3	保健・医療・健康づくりの充実	204
4	福祉対策の充実	121
5	除雪体制・雪対策の充実	108
6	学校教育の充実	85
7	観光振興	83
8	まちなみ・景観整備	67
9	スポーツの振興	60
10	公共交通機関の利便性向上	59
11	自然環境保全	57
12	生涯学習の充実	53
13	企業誘致、雇用促進	49
14	市民との協働、地域コミュニティの促進	45
15	商工業の振興	42
16	道路・上下水道・情報基盤等のインフラ整備	38
17	農林業の振興、横手ブランドの開発	24
18	農・商・工の連携、6次産業化の推進	23
19	防犯体制の充実	22
20	消防・防災体制の充実	21
21	再生エネルギー対策	15
22	地域文化・芸術振興・史跡の保全	14
23	他自治体交流・国際交流の促進	10
24	行財政改革の推進	7
25	その他①	1
26	その他②	0

■ 10年後を見据え、市がお金をかけても進めていくべき施策

順位	項目	得点数
1	除雪体制・雪対策の充実	223
2	観光振興	148
3	少子高齢化・人口減少対策の充実	130
4	保健・医療・健康づくりの充実	120
5	自然環境保全	107
6	企業誘致、雇用促進	96
7	公共交通機関の利便性向上	90
8	まちなみ・景観整備	89
9	商工業の振興	86
10	子育て支援対策の充実	83
11	道路・上下水道・情報基盤等のインフラ整備	79
12	学校教育の充実	79
13	再生エネルギー対策	69
14	農・商・工の連携、6次産業化の推進	66
15	スポーツの振興	65
16	福祉対策の充実	64
17	地域文化・芸術振興・史跡の保全	55
18	農林業の振興、横手ブランドの開発	54
19	消防・防災体制の充実	51
20	行財政改革の推進	43
21	防犯体制の充実	37
22	他自治体交流・国際交流の促進	30
23	市民との協働、地域コミュニティの促進	29
24	生涯学習の充実	11
25	その他①	0
26	その他②	0

■ 10年後を見据え、市民の負担が増えても進めていくべき施策

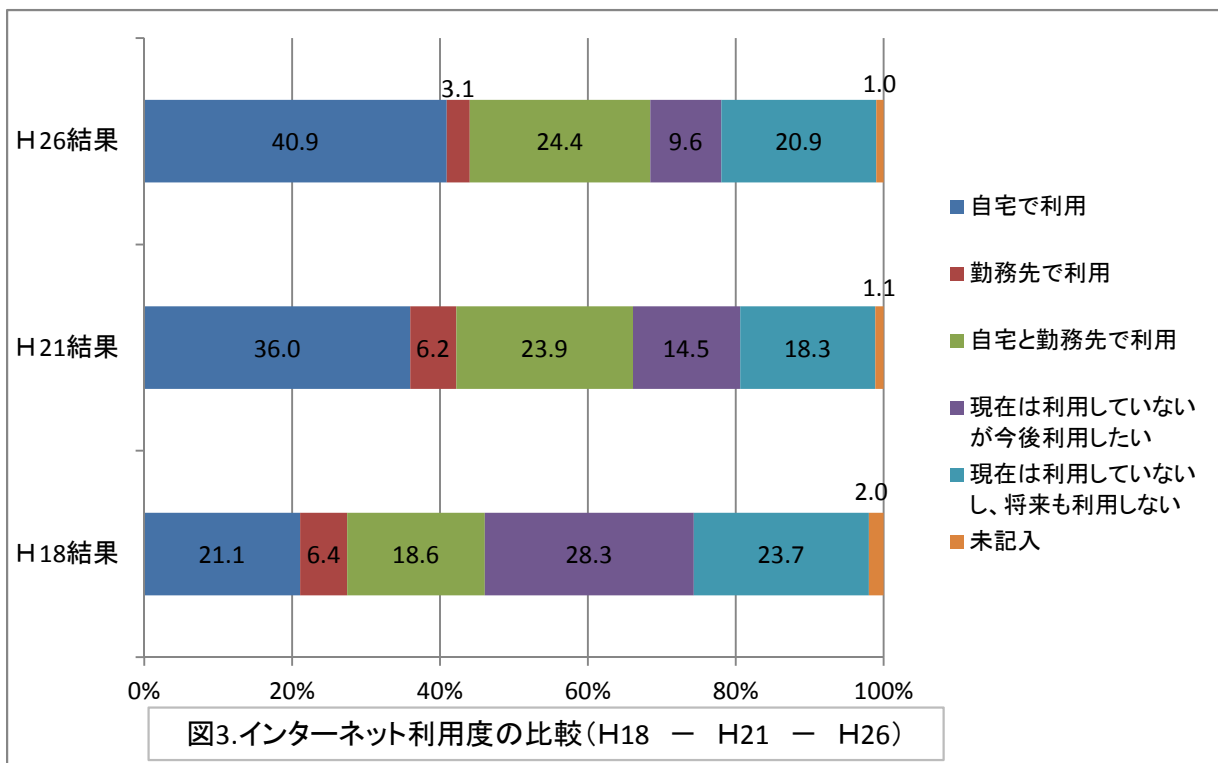
順位	項目	得点数
1	除雪体制・雪対策の充実	218
2	保健・医療・健康づくりの充実	133
3	少子高齢化・人口減少対策の充実	132
4	自然環境保全	115
5	子育て支援対策の充実	103
6	学校教育の充実	103
7	企業誘致、雇用促進	99
8	観光振興	96
9	道路・上下水道・情報基盤等のインフラ整備	87
10	公共交通機関の利便性向上	77
11	福祉対策の充実	73
12	まちなみ・景観整備	69
13	スポーツの振興	61
14	消防・防災体制の充実	57
15	商工業の振興	56
16	再生エネルギー対策	55
17	農・商・工の連携、6次産業化の推進	54
18	行財政改革の推進	52
19	地域文化・芸術振興・史跡の保全	49
20	防犯体制の充実	46
21	市民との協働、地域コミュニティの促進	45
22	農林業の振興、横手ブランドの開発	44
23	生涯学習の充実	40
24	他自治体交流・国際交流の促進	24
25	その他②	2
26	その他①	1

7.インターネットの利用度と市の情報の主な入手先

(1)インターネットの利用度

インターネットの利用度については、「自宅で利用」、「勤務先で利用」、「自宅と勤務先で利用」を合わせると、およそ68.4%が何らかの形でインターネットを利用していることがうかがえました。この値は、平成18年度は46.1%、平成21年度は66.1%であることから、インターネット利用者は増加傾向にあることがわかります。しかし、インターネットの利用者の伸び率を見た時、平成18年度から平成21年度にかけては30%でしたが、平成21年度から平成26年度にかけては3%となっています。また、「現在は利用していないし、将来も利用しない」と答えた人の割合が、平成21年度より増えていることから、現状でのインターネット利用についてはほぼ充足に近い状態にあると考えられます。

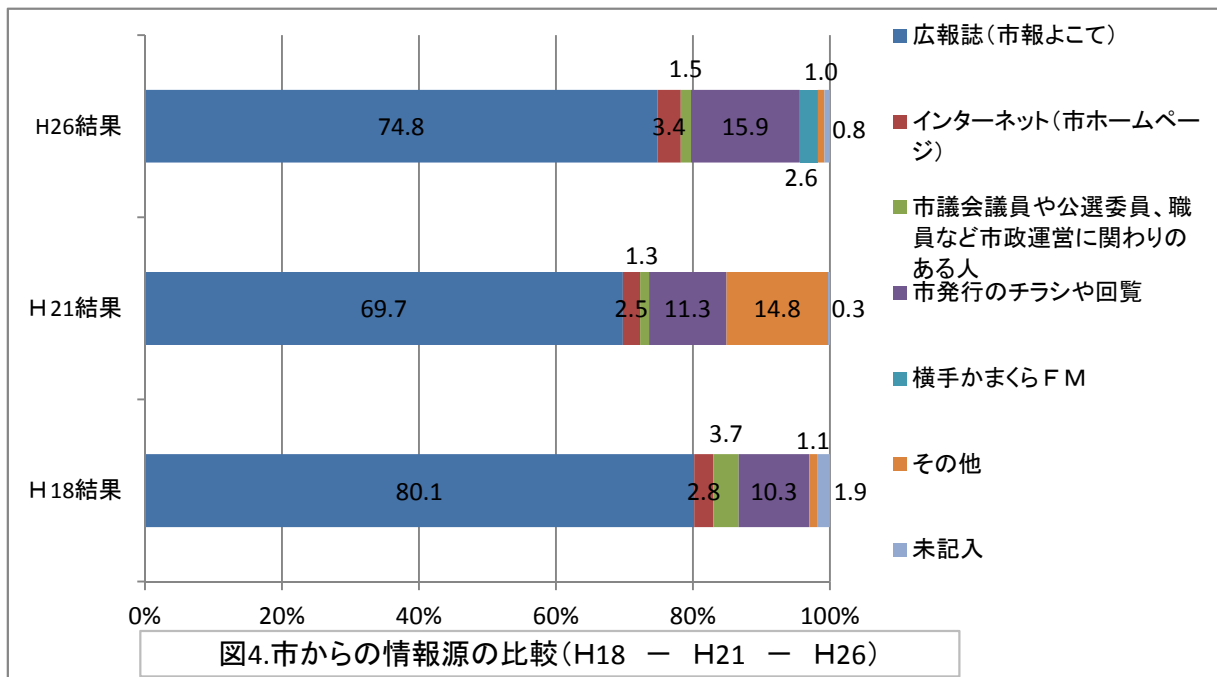
ただし、「現在は利用していないが今後利用したい」が9.6%、「現在は利用していないし、将来も利用しない」が、前回H21結果より2.6%増加の20.9%となっていることから、今後さらにその動向を見極める必要があると考えられます。



(2)市の情報の入手先

市の情報の入手先については、「広報誌（市報よこて）」により情報を得ている方が74.8%おり、平成18年度、平成21年度に引き続き、市民の皆様にとって重要な情報伝達手段であることがうかがわれます。また、インターネット（市ホームページ）による情報入手も若干ながら増加しており、これは、前項のインターネット普及率の増加も影響していると考えられます。

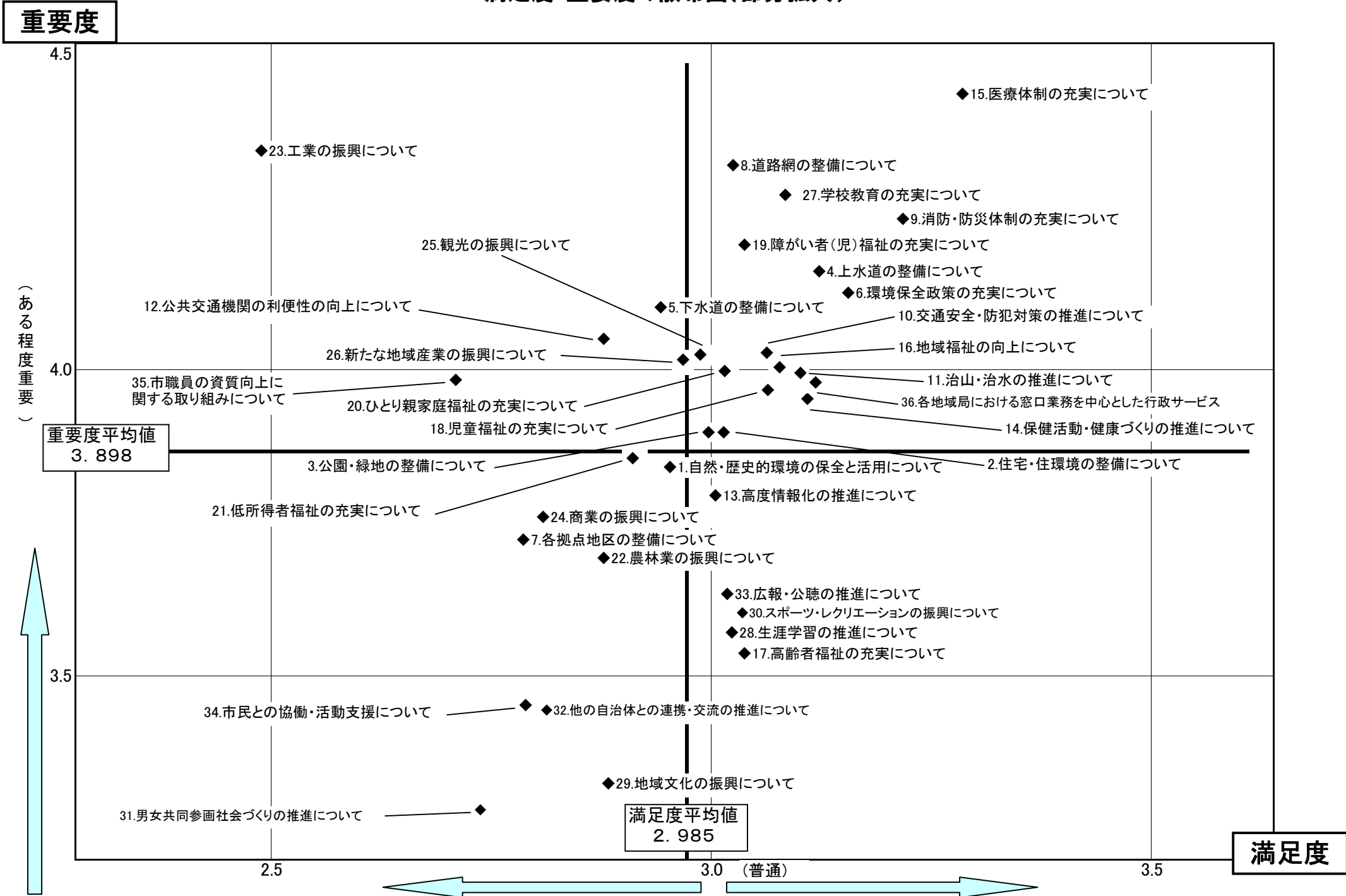
また、今回より、新たな情報入手手段として加わった「横手かまくらFM」についても2.6%の方々が利用されていることから、今後も情報源の一つとして機能していくものと期待されます。



Ⅲ. 卷末資料①

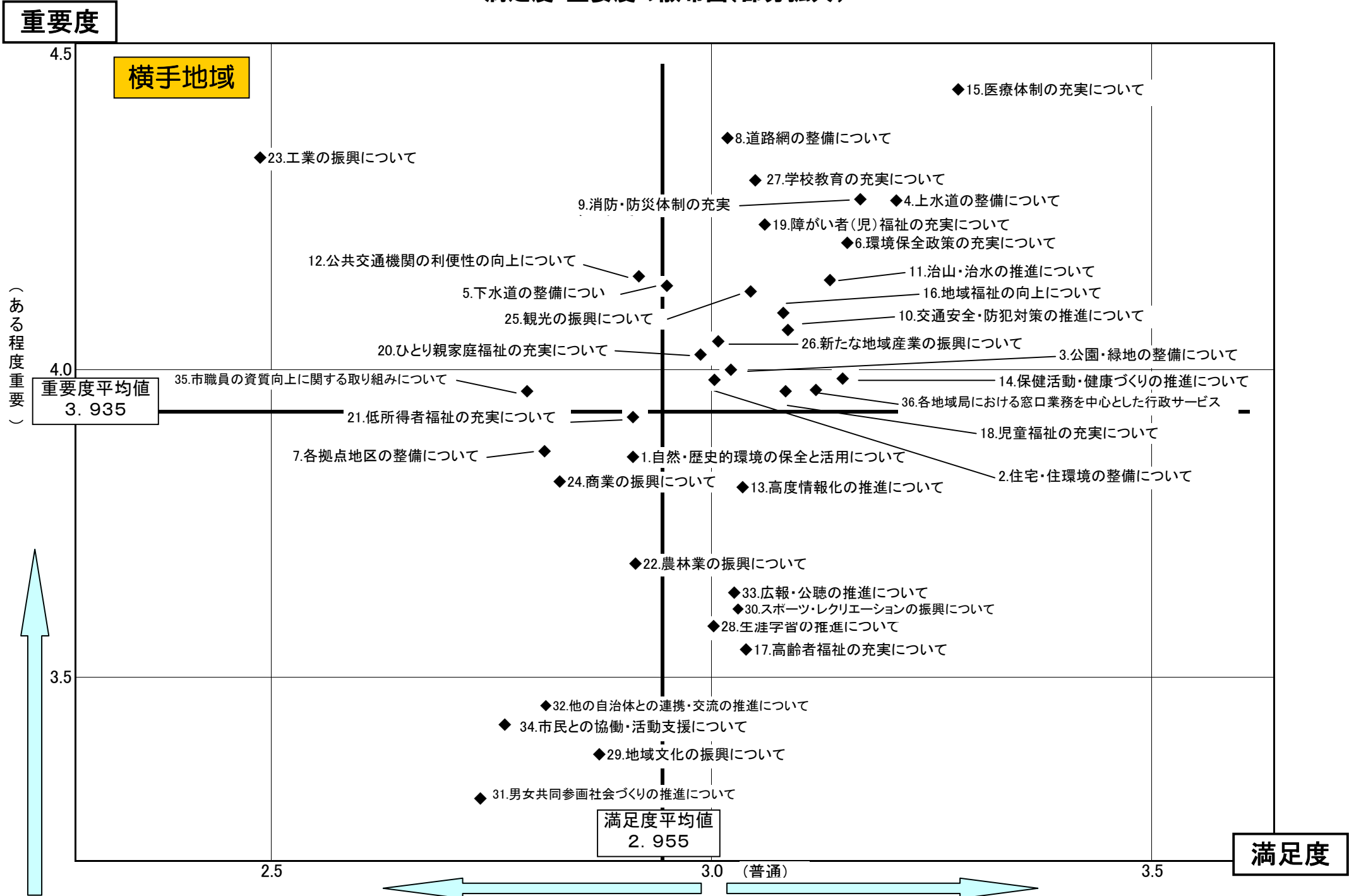
平成 21 年度データ(散布図)

満足度・重要度の散布図(部分拡大)

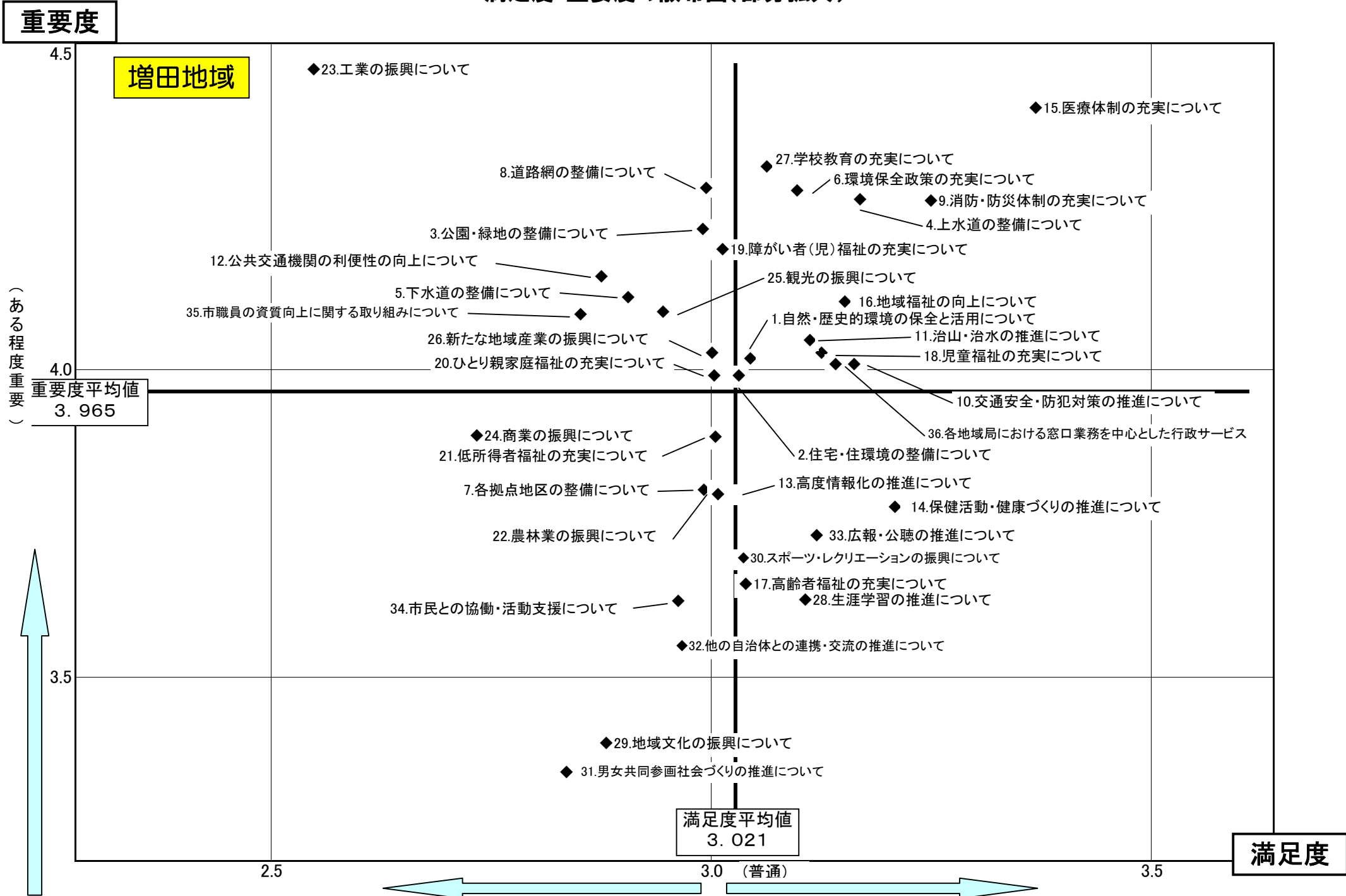


※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

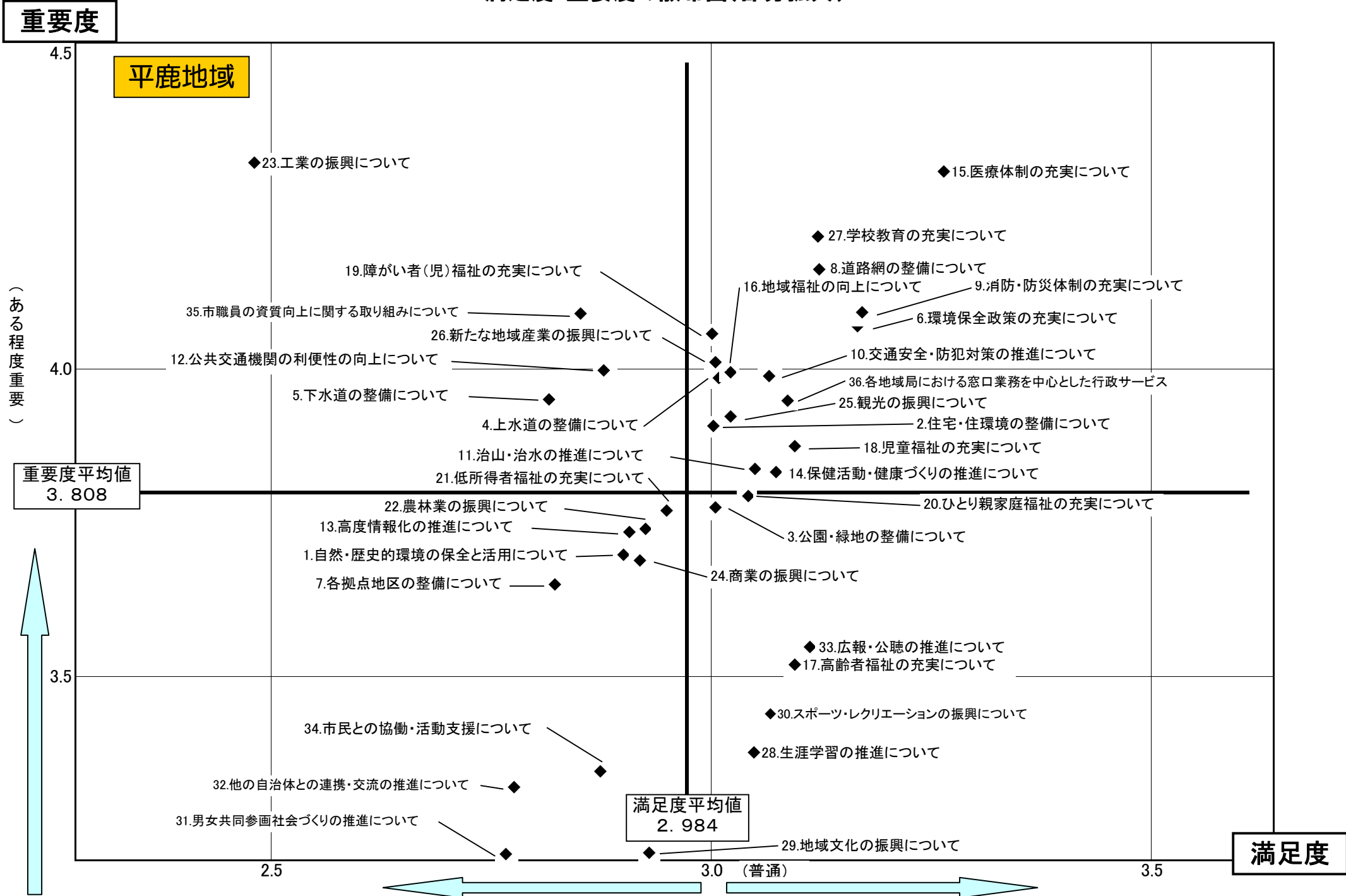
満足度・重要度の散布図(部分拡大)



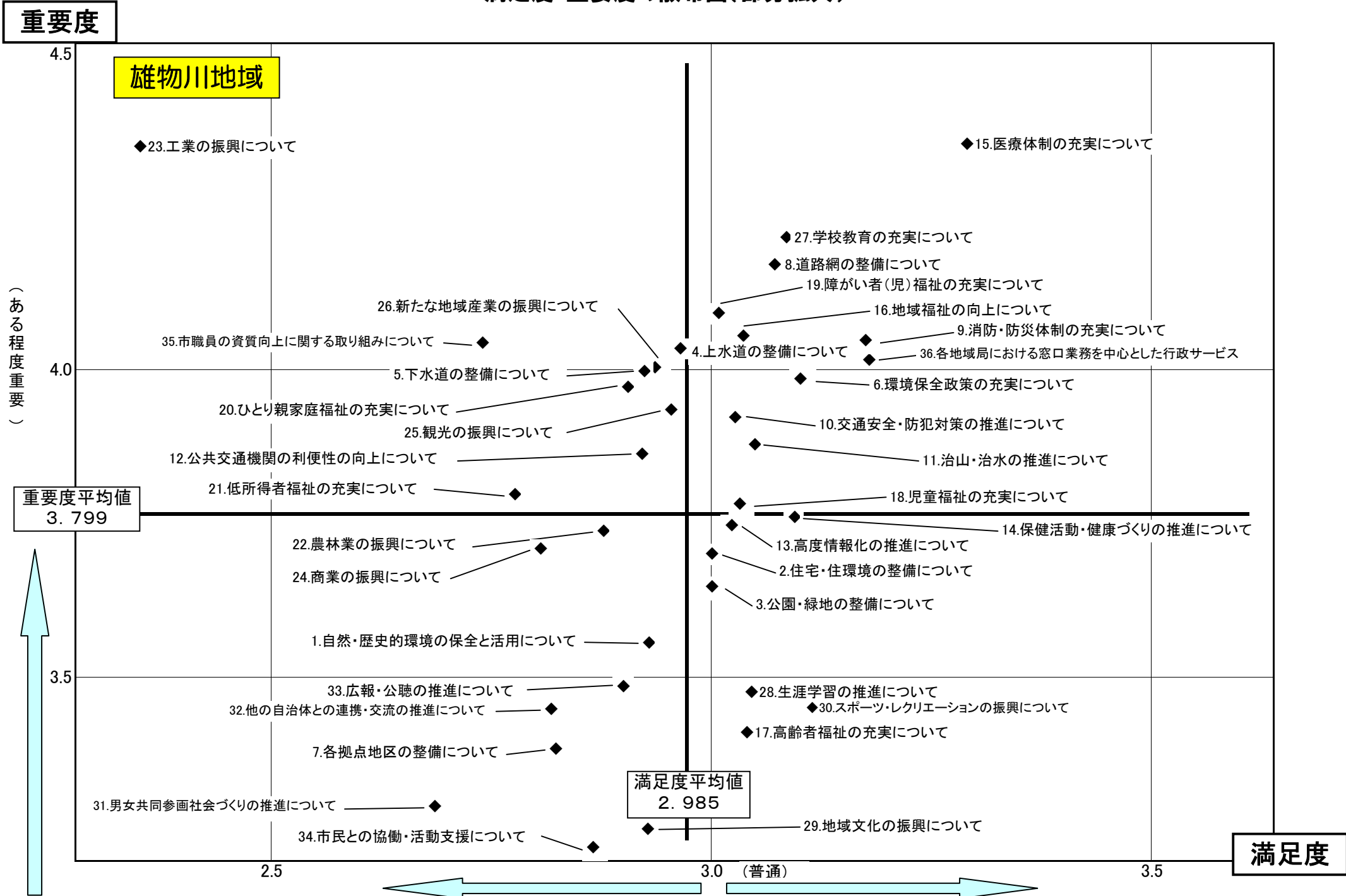
※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。



※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

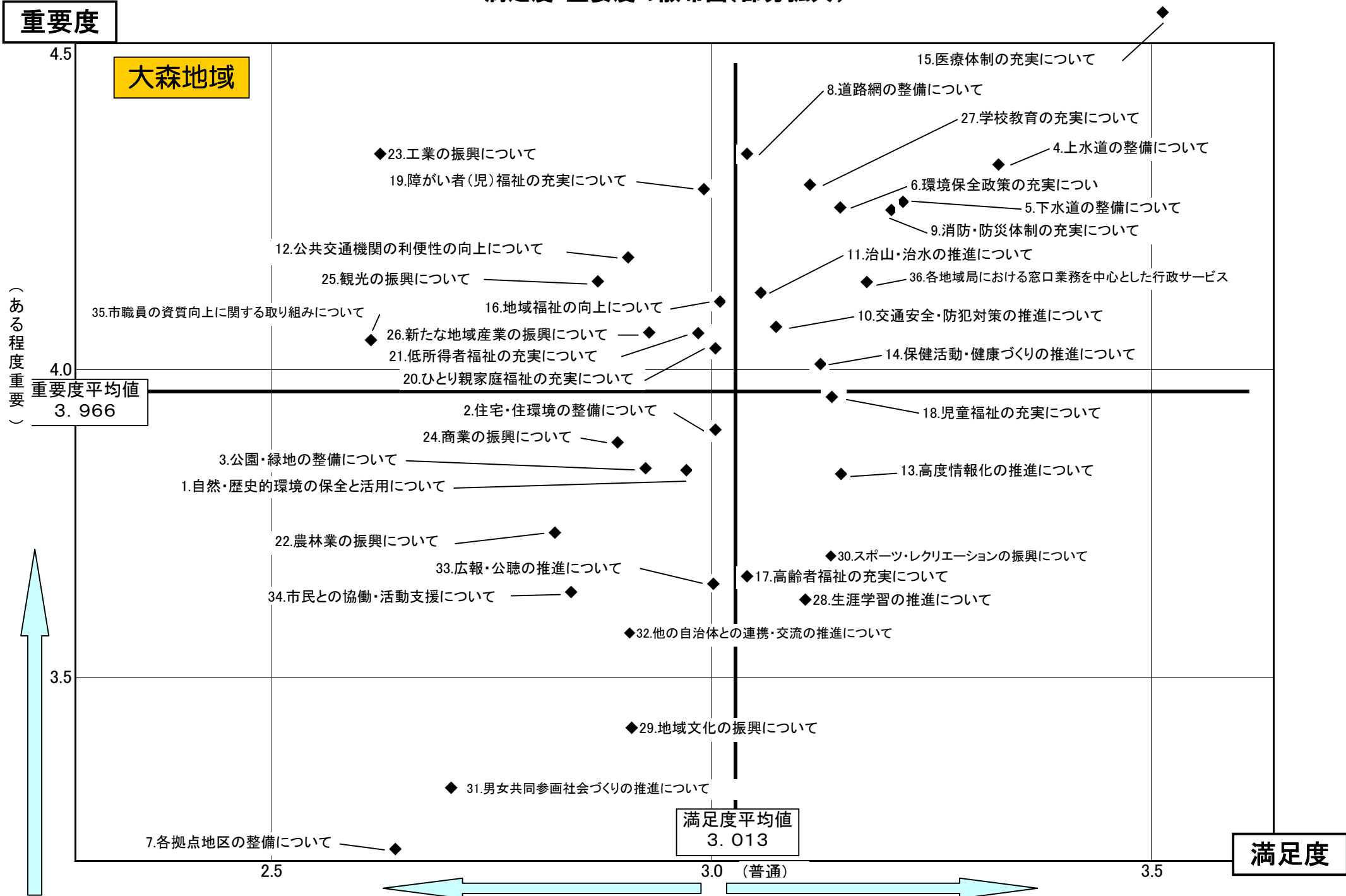


※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。



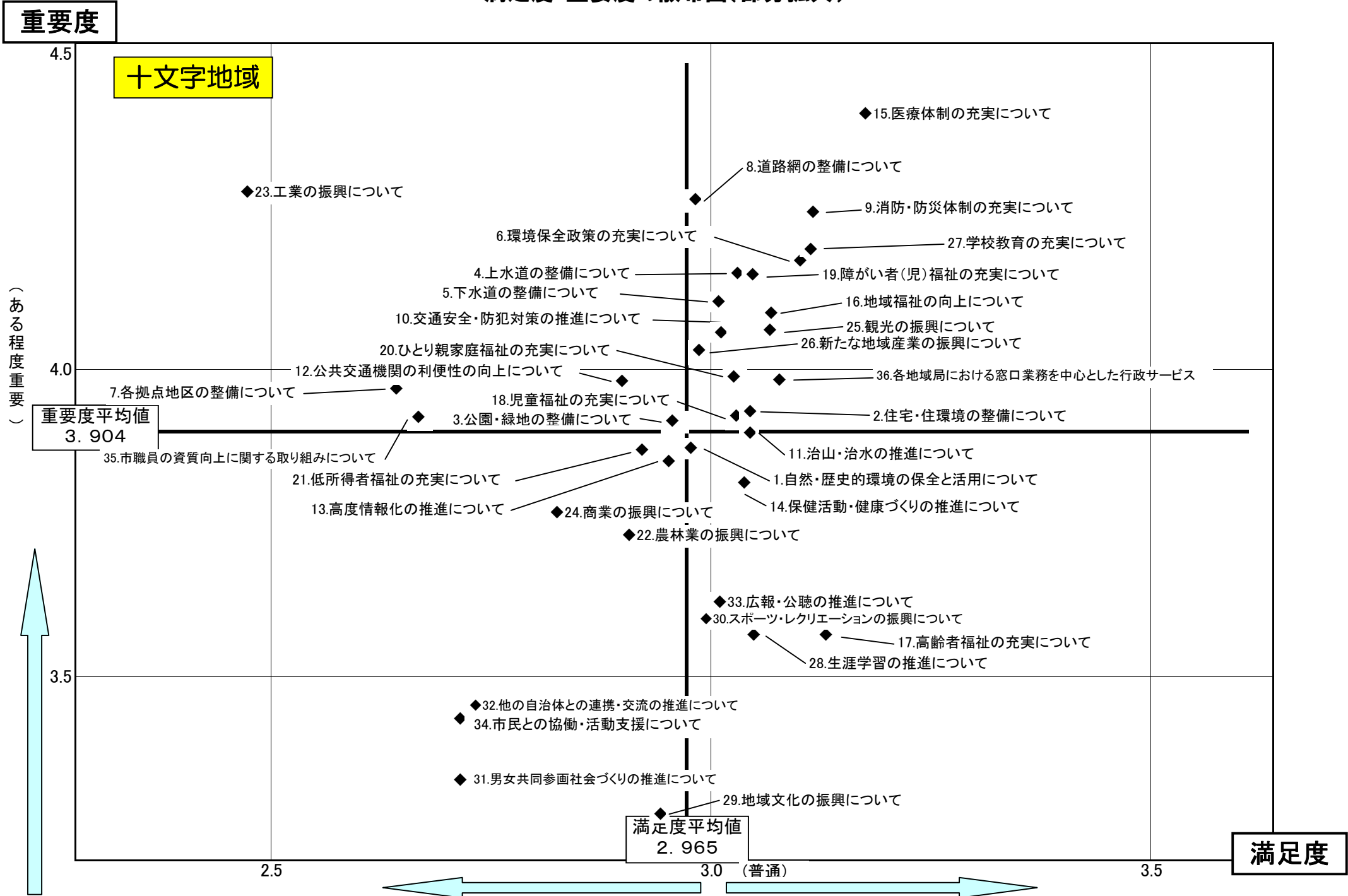
※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

満足度・重要度の散布図(部分拡大)



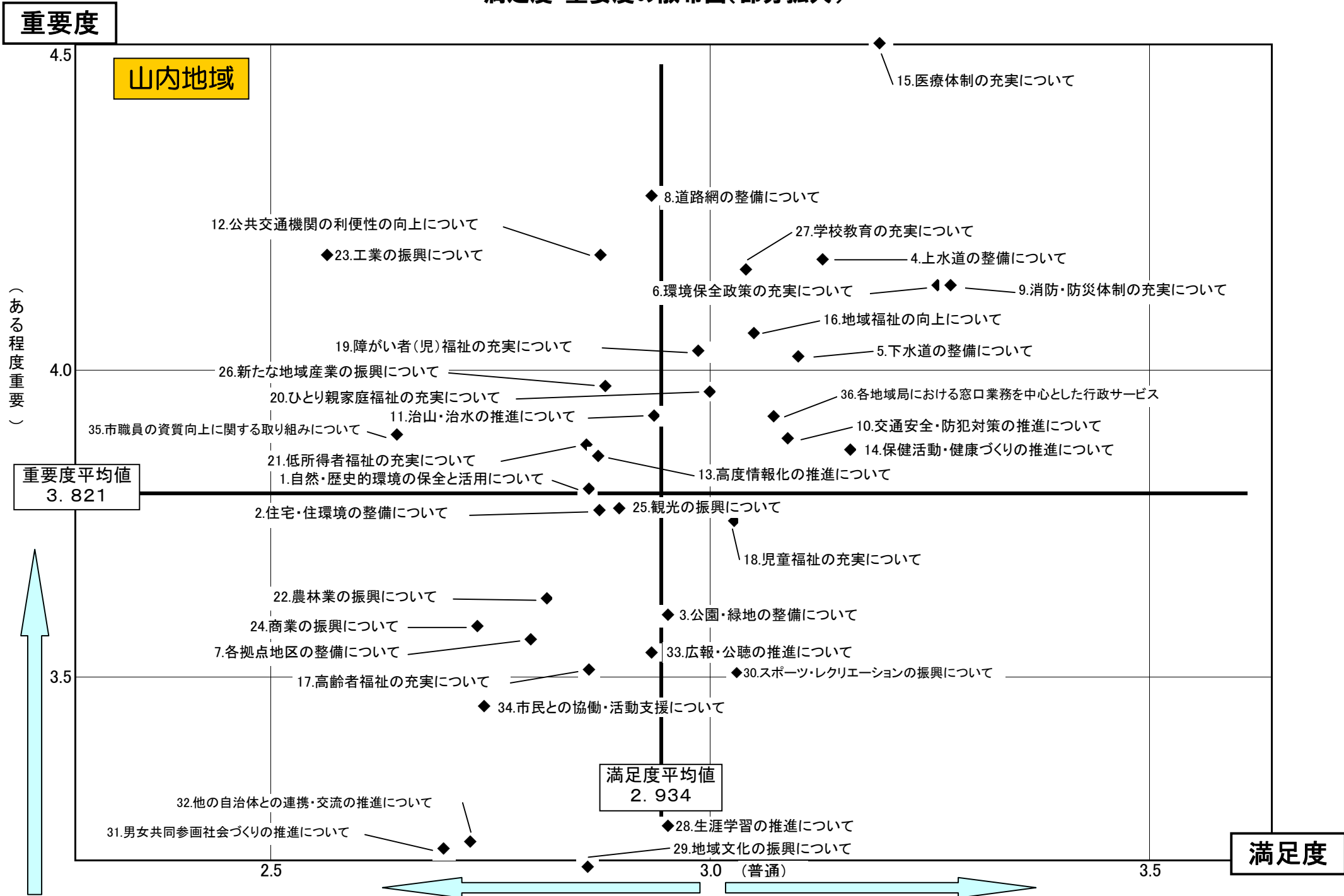
※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

満足度・重要度の散布図(部分拡大)



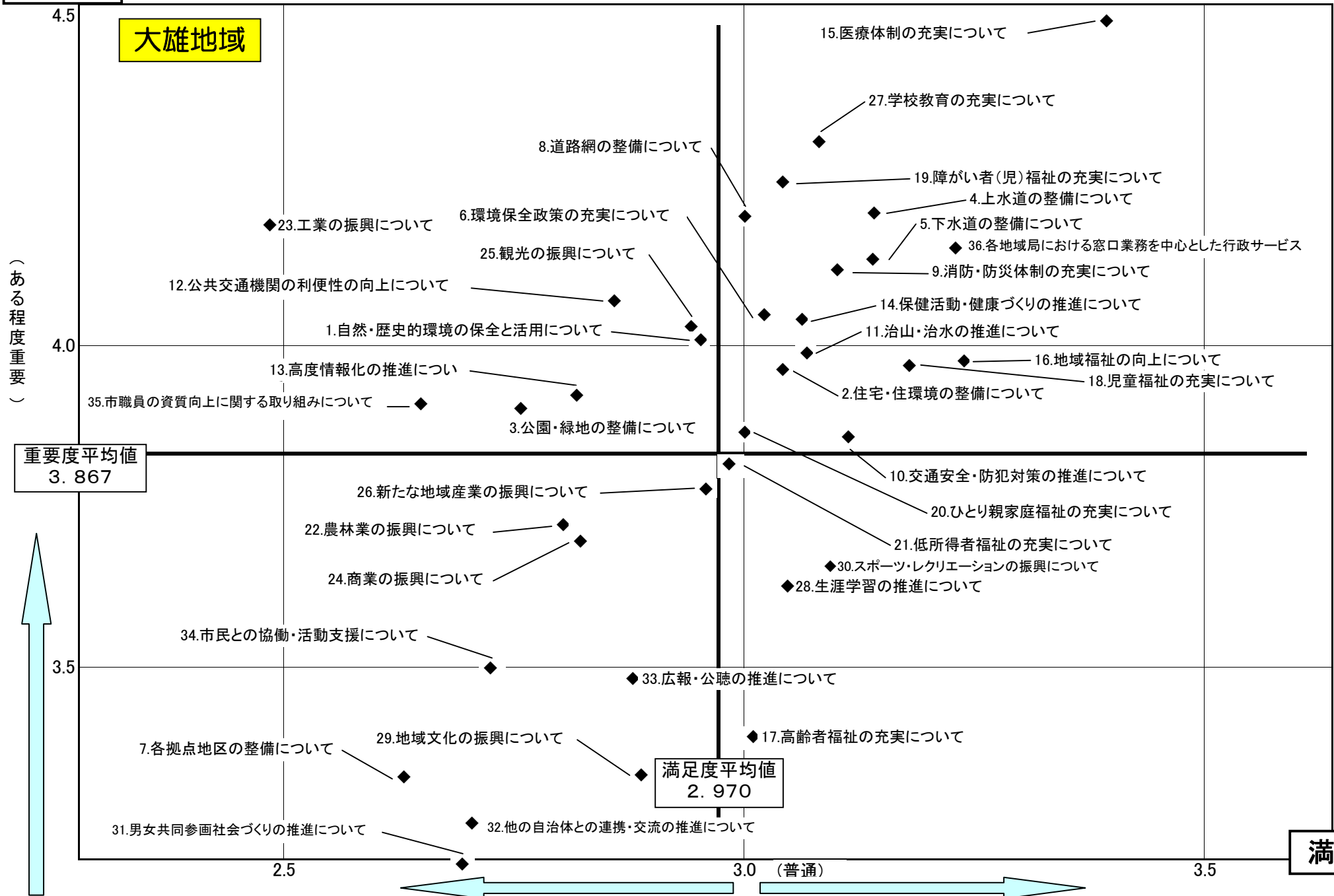
※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

満足度・重要度の散布図(部分拡大)



※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

重要度



※各項目の重要度・満足度の平均値を中心線にしています。

Ⅲ.卷末資料②

平成 21 年度、平成 26 年度満足度比較

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

全体		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	22.6	14.9	7.7	68.9	63.3	5.6	5.8	18.4	△ 12.6	↑	49.0
2	住宅・住環境の整備について	22.5	15.2	7.3	68.9	68.5	0.4	5.7	15.2	△ 9.5	↑	54.3
3	公園・緑地の整備について	21.7	19.9	1.8	68.9	58.2	10.7	7.7	19.4	△ 11.7	↑	43.0
4	上水道の整備について	35.4	23.9	11.5	57.3	59.2	△ 1.9	5.5	14.3	△ 8.8	↑	64.0
5	下水道等の整備について	28.7	20.5	8.2	59.2	55.5	3.7	10.4	21.6	△ 11.2	↑	44.5
6	環境保全政策の充実について	33.3	27.6	5.7	59.9	52.1	7.8	5.7	18.0	△ 12.3	↑	58.6
7	各拠点地区の整備について	19.9	14.5	5.4	67.7	51.1	16.6	9.1	31.6	△ 22.5	↑	41.3
8	道路網の整備について	25.8	25.9	△ 0.1	59.6	49.3	10.3	13.1	22.4	△ 9.3	↓	27.7
9	消防・防災体制の充実について	32.6	26.1	6.5	60.2	59.6	0.6	5.3	12.3	△ 7.0	↑	62.2
10	交通安全・防犯対策の推進について	37.3	20.1	17.2	56.1	62.5	△ 6.4	4.8	14.5	△ 9.7	↑	63.5
11	治山・治水の推進について	29.2	18.5	10.7	65.6	66.9	△ 1.3	2.9	12.0	△ 9.1	↑	66.5
12	公共交通機関の利便性の向上について	25.1	16.0	9.1	64.6	57.2	7.4	8.3	24.3	△ 16.0	↑	42.1
13	高度情報化の推進について	32.7	19.4	13.3	60.1	59.2	0.9	4.8	18.0	△ 13.2	↑	58.2
14	保健活動・健康づくりの推進について	35.6	25.5	10.1	57.8	56.1	1.7	4.6	16.0	△ 11.4	↑	66.9
15	医療体制の充実について	40.8	37.1	3.7	53.1	46.2	6.9	4.6	14.2	△ 9.6	↑	65.1
16	地域福祉の向上について	27.9	20.1	7.8	65.0	61.5	3.5	5.3	15.6	△ 10.3	↑	56.0
17	高齢者福祉の充実について	29.5	21.5	8.0	61.9	59.1	2.8	6.5	16.8	△ 10.3	↑	53.3
18	児童福祉の充実について	35.0	20.9	14.1	57.9	62.5	△ 4.6	3.8	13.7	△ 9.9	↑	64.0
19	障がい者(児)福祉の充実について	29.4	16.7	12.7	63.6	64.8	△ 1.2	3.0	15.3	△ 12.3	↑	63.7
20	ひとり親家庭福祉の充実について	23.7	14.1	9.6	67.8	67.9	△ 0.1	4.9	14.8	△ 9.9	↑	53.9
21	低所得者福祉の充実について	20.5	11.1	9.4	68.9	66.6	2.3	7.0	19.0	△ 12.0	↑	38.4
22	農林業の振興について	17.6	9.0	8.6	72.7	68.1	4.6	5.3	18.7	△ 13.4	↑	40.5
23	工業の振興について	11.9	7.3	4.6	70.7	47.1	23.6	14.1	42.6	△ 28.5	↑	△ 1.9
24	商業の振興について	16.4	8.6	7.8	73.4	63.7	9.7	7.2	24.3	△ 17.1	↑	28.6
25	観光の振興について	26.6	22.5	4.1	62.9	51.3	11.6	8.2	22.9	△ 14.7	↑	48.1
26	新たな地域産業の振興について	17.6	20.9	△ 3.3	71.5	54.1	17.4	7.9	22.0	△ 14.1	↓	33.2
27	学校教育の充実について	28.1	21.2	6.9	65.1	60.5	4.6	3.6	14.8	△ 11.2	↑	60.2
28	生涯学習の推進について	27.2	14.1	13.1	66.5	70.3	△ 3.8	3.5	11.8	△ 8.3	↑	64.7
29	地域文化の振興について	19.5	10.0	9.5	70.6	67.5	3.1	7.2	19.0	△ 11.8	↑	38.9
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	24.0	17.4	6.6	67.8	66.7	1.1	6.4	12.3	△ 5.9	↑	53.9
31	男女共同参画社会づくりの推進について	16.7	6.3	10.4	70.1	62.8	7.3	9.5	26.3	△ 16.8	↑	36.4
32	他の自治体との連携・交流の推進について	19.7	10.9	8.8	65.9	58.5	7.4	11.5	27.0	△ 15.5	↑	42.5
33	広報・公聴の推進について	27.4	17.1	10.3	64.3	64.1	0.2	5.4	15.5	△ 10.1	↑	52.8
34	市民との協働・活動支援について	17.7	8.8	8.9	69.2	60.8	8.4	9.7	25.5	△ 15.8	↑	36.2
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	17.7	13.9	3.8	66.1	51.9	14.2	14.1	30.5	△ 16.4	↑	19.3
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	31.6	22.9	8.7	60.8	63.2	△ 2.4	5.3	10.7	△ 5.4	↑	53.3

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域：横手地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	18.7	17.9	0.8	71.7	61.4	10.3	6.5	16.7	△ 10.2	↑	42.8
2	住宅・住環境の整備について	18.9	14.9	4.0	72.0	67.1	4.9	6.8	16.1	△ 9.3	↑	53.3
3	公園・緑地の整備について	20.1	22.5	△ 2.4	69.4	54.4	15.0	8.9	20.0	△ 11.1	↓	35.3
4	上水道の整備について	37.9	26.4	11.5	55.8	59.0	△ 3.2	4.4	11.8	△ 7.4	↑	68.7
5	下水道等の整備について	25.9	18.4	7.5	58.4	58.6	△ 0.2	13.6	20.2	△ 6.6	↑	36.2
6	環境保全政策の充実について	30.4	27.0	3.4	61.0	53.4	7.6	8.2	16.7	△ 8.5	↑	53.7
7	各拠点地区の整備について	19.9	15.7	4.2	66.8	50.7	16.1	10.5	30.3	△ 19.8	↑	38.3
8	道路網の整備について	21.0	27.6	△ 6.6	62.4	44.9	17.5	15.4	24.3	△ 8.9	↓	21.7
9	消防・防災体制の充実について	27.8	25.8	2.0	65.7	58.8	6.9	4.4	13.0	△ 8.6	↑	59.6
10	交通安全・防犯対策の推進について	37.1	22.1	15.0	56.3	59.8	△ 3.5	4.9	15.3	△ 10.4	↑	54.4
11	治山・治水の推進について	27.6	21.0	6.6	67.1	64.9	2.2	3.0	11.1	△ 8.1	↑	60.3
12	公共交通機関の利便性の向上について	23.8	16.3	7.5	64.0	57.9	6.1	10.3	22.9	△ 12.6	↑	39.7
13	高度情報化の推進について	31.8	18.1	13.7	59.3	62.7	△ 3.4	6.3	15.1	△ 8.8	↑	54.4
14	保健活動・健康づくりの推進について	32.5	26.8	5.7	60.0	55.5	4.5	4.9	14.8	△ 9.9	↑	68.0
15	医療体制の充実について	37.9	36.3	1.6	55.6	46.4	9.2	5.4	13.6	△ 8.2	↑	61.0
16	地域福祉の向上について	27.8	20.4	7.4	62.9	60.4	2.5	7.2	15.5	△ 8.3	↑	52.1
17	高齢者福祉の充実について	27.1	21.2	5.9	63.3	59.0	4.3	7.7	16.1	△ 8.4	↑	51.9
18	児童福祉の充実について	31.3	20.8	10.5	60.3	60.8	△ 0.5	4.7	14.4	△ 9.7	↑	57.5
19	障がい者(児)福祉の充実について	29.2	18.6	10.6	63.3	63.7	△ 0.4	3.0	13.8	△ 10.8	↑	59.6
20	ひとり親家庭福祉の充実について	24.3	14.6	9.7	65.9	67.0	△ 1.1	5.8	14.8	△ 9.0	↑	53.5
21	低所得者福祉の充実について	19.9	10.3	9.6	68.7	68.0	0.7	7.7	17.7	△ 10.0	↑	36.4
22	農林業の振興について	17.5	7.4	10.1	72.9	70.7	2.2	5.4	16.5	△ 11.1	↑	43.0
23	工業の振興について	11.0	6.6	4.4	69.4	47.4	22.0	15.9	42.5	△ 26.6	↑	△ 4.2
24	商業の振興について	15.9	9.1	6.8	72.7	62.1	10.6	8.2	25.2	△ 17.0	↑	19.2
25	観光の振興について	23.1	24.7	△ 1.6	64.7	48.0	16.7	10.3	22.9	△ 12.6	↓	39.7
26	新たな地域産業の振興について	16.4	22.3	△ 5.9	71.3	52.4	18.9	9.3	21.6	△ 12.3	↓	27.8
27	学校教育の充実について	25.2	20.4	4.8	67.8	58.6	9.2	4.2	16.7	△ 12.5	↑	55.1
28	生涯学習の推進について	25.5	12.8	12.7	67.5	70.1	△ 2.6	4.0	12.6	△ 8.6	↑	61.9
29	地域文化の振興について	18.2	9.1	9.1	70.1	66.0	4.1	9.6	21.0	△ 11.4	↑	31.1
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	22.0	16.1	5.9	68.2	66.4	1.8	8.2	13.2	△ 5.0	↑	50.2
31	男女共同参画社会づくりの推進について	15.9	6.6	9.3	71.0	62.3	8.7	9.8	26.2	△ 16.4	↑	36.9
32	他の自治体との連携・交流の推進について	18.5	9.1	9.4	68.0	62.9	5.1	11.2	24.1	△ 12.9	↑	43.9
33	広報・公聴の推進について	24.3	16.9	7.4	66.1	64.9	1.2	7.2	14.2	△ 7.0	↑	51.9
34	市民との協働・活動支援について	15.7	7.0	8.7	70.8	62.3	8.5	10.5	25.6	△ 15.1	↑	32.0
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	17.3	16.5	0.8	63.6	52.2	11.4	16.8	27.2	△ 10.4	↑	15.4
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	27.6	22.9	4.7	64.3	63.3	1.0	5.4	10.5	△ 5.1	↑	48.6

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域： 増田地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	25.3	14.6	10.7	64.6	69.8	△ 5.2	5.1	13.5	△ 8.4	↑	57.0
2	住宅・住環境の整備について	27.8	12.8	15.0	60.8	76.6	△ 15.8	5.1	10.6	△ 5.5	↑	53.2
3	公園・緑地の整備について	24.1	19.8	4.3	67.1	61.5	5.6	6.3	17.7	△ 11.4	↑	57.0
4	上水道の整備について	24.1	14.6	9.5	65.8	64.6	1.2	6.3	18.8	△ 12.5	↑	60.8
5	下水道等の整備について	16.5	12.5	4.0	70.9	63.5	7.4	8.9	22.9	△ 14.0	↑	27.8
6	環境保全政策の充実について	32.9	25.0	7.9	60.8	55.2	5.6	3.8	18.8	△ 15.0	↑	69.6
7	各拠点地区の整備について	34.2	27.1	7.1	58.2	45.8	12.4	5.1	26.0	△ 20.9	↑	69.6
8	道路網の整備について	24.1	22.9	1.2	62.0	51.0	11.0	10.1	25.0	△ 14.9	↑	30.4
9	消防・防災体制の充実について	30.4	26.0	4.4	64.6	64.6	△ 0.0	3.8	8.3	△ 4.5	↑	73.4
10	交通安全・防犯対策の推進について	36.7	21.9	14.8	58.2	66.7	△ 8.5	3.8	9.4	△ 5.6	↑	65.8
11	治山・治水の推進について	29.1	15.6	13.5	68.4	75.0	△ 6.6	1.3	8.3	△ 7.0	↑	86.1
12	公共交通機関の利便性の向上について	21.5	12.5	9.0	69.6	63.5	6.1	6.3	22.9	△ 16.6	↑	57.0
13	高度情報化の推進について	29.1	22.9	6.2	63.3	59.4	3.9	2.5	16.7	△ 14.2	↑	57.0
14	保健活動・健康づくりの推進について	38.0	24.0	14.0	58.2	66.7	△ 8.5	1.3	8.3	△ 7.0	↑	74.7
15	医療体制の充実について	32.9	34.4	△ 1.5	62.0	54.2	7.8	3.8	10.4	△ 6.6	↓	58.2
16	地域福祉の向上について	24.1	20.8	3.3	67.1	63.5	3.6	7.6	11.5	△ 3.9	↑	40.5
17	高齢者福祉の充実について	27.8	21.9	5.9	59.5	58.3	1.2	10.1	18.8	△ 8.7	↑	41.8
18	児童福祉の充実について	32.9	21.9	11.0	60.8	65.6	△ 4.8	2.5	11.5	△ 9.0	↑	63.3
19	障がい者(児)福祉の充実について	27.8	16.7	11.1	64.6	67.7	△ 3.1	2.5	13.5	△ 11.0	↑	62.0
20	ひとり親家庭福祉の充実について	25.3	15.6	9.7	65.8	70.8	△ 5.0	5.1	12.5	△ 7.4	↑	53.2
21	低所得者福祉の充実について	24.1	16.7	7.4	67.1	67.7	△ 0.6	3.8	14.6	△ 10.8	↑	36.7
22	農林業の振興について	21.5	14.6	6.9	70.9	68.8	2.1	3.8	14.6	△ 10.8	↑	45.6
23	工業の振興について	13.9	12.5	1.4	70.9	45.8	25.1	11.4	40.6	△ 29.2	↑	△ 2.5
24	商業の振興について	17.7	8.3	9.4	70.9	62.5	8.4	5.1	28.1	△ 23.0	↑	35.4
25	観光の振興について	29.1	22.9	6.2	62.0	52.1	9.9	5.1	24.0	△ 18.9	↑	60.8
26	新たな地域産業の振興について	17.7	24.0	△ 6.3	75.9	52.1	23.8	3.8	22.9	△ 19.1	↓	46.8
27	学校教育の充実について	26.6	21.9	4.7	67.1	58.3	8.8	1.3	18.8	△ 17.5	↑	67.1
28	生涯学習の推進について	30.4	21.9	8.5	67.1	61.5	5.6	0.0	14.6	△ 14.6	↑	64.6
29	地域文化の振興について	19.0	12.5	6.5	72.2	65.6	6.6	3.8	19.8	△ 16.0	↑	46.8
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	22.8	17.7	5.1	70.9	64.6	6.3	5.1	14.6	△ 9.5	↑	60.8
31	男女共同参画社会づくりの推進について	17.7	5.2	12.5	73.4	71.9	1.5	2.5	19.8	△ 17.3	↑	40.5
32	他の自治体との連携・交流の推進について	24.1	18.8	5.3	64.6	59.4	5.2	6.3	19.8	△ 13.5	↑	39.2
33	広報・公聴の推進について	27.8	24.0	3.8	63.3	61.5	1.8	2.5	12.5	△ 10.0	↑	45.6
34	市民との協働・活動支援について	21.5	15.6	5.9	70.9	63.5	7.4	2.5	17.7	△ 15.2	↑	49.4
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	20.3	14.6	5.7	72.2	54.2	18.0	3.8	29.2	△ 25.4	↑	40.5
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	29.1	22.9	6.2	64.6	63.5	1.1	2.5	11.5	△ 9.0	↑	63.3

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域：平鹿地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	27.8	10.0	17.8	65.3	63.1	2.2	5.6	23.8	△ 18.2	↑	52.8
2	住宅・住環境の整備について	27.1	16.6	10.5	63.2	65.6	△ 2.4	6.3	16.6	△ 10.4	↑	64.6
3	公園・緑地の整備について	24.3	18.8	5.5	66.0	65.0	1.0	7.6	14.4	△ 6.8	↑	42.4
4	上水道の整備について	36.1	17.5	18.6	54.2	65.0	△ 10.8	8.3	14.4	△ 6.1	↑	52.8
5	下水道等の整備について	29.9	16.9	13.0	54.2	51.9	2.3	14.6	28.1	△ 13.5	↑	31.9
6	環境保全政策の充実について	32.6	30.0	2.6	59.0	49.4	9.6	6.9	17.5	△ 10.6	↑	54.2
7	各拠点地区の整備について	20.8	12.5	8.3	67.4	56.3	11.1	9.7	28.1	△ 18.4	↑	35.4
8	道路網の整備について	28.5	27.5	1.0	56.9	57.5	△ 0.6	13.9	13.8	0.1	↑	22.9
9	消防・防災体制の充実について	36.1	26.3	9.8	52.8	63.1	△ 10.3	9.7	8.8	0.9	↑	50.0
10	交通安全・防犯対策の推進について	38.2	18.1	20.1	50.7	65.6	△ 14.9	9.7	13.1	△ 3.4	↑	61.1
11	治山・治水の推進について	33.3	15.6	17.7	61.1	70.0	△ 8.9	4.2	11.3	△ 7.1	↑	70.8
12	公共交通機関の利便性の向上について	29.9	16.3	13.6	59.0	56.3	2.7	9.7	26.3	△ 16.6	↑	43.1
13	高度情報化の推進について	38.2	14.4	23.8	56.3	60.6	△ 4.4	4.9	20.6	△ 15.7	↑	57.6
14	保健活動・健康づくりの推進について	36.8	26.3	10.5	54.9	53.8	1.1	6.3	18.8	△ 12.6	↑	60.4
15	医療体制の充実について	43.1	37.5	5.6	46.5	47.5	△ 1.0	8.3	14.4	△ 6.1	↑	63.2
16	地域福祉の向上について	28.5	19.4	9.1	61.8	63.1	△ 1.3	8.3	16.9	△ 8.6	↑	58.3
17	高齢者福祉の充実について	32.6	26.3	6.3	58.3	54.4	3.9	7.6	17.5	△ 9.9	↑	50.0
18	児童福祉の充実について	38.9	21.9	17.0	52.1	62.5	△ 10.4	6.9	12.5	△ 5.6	↑	64.6
19	障がい者(児)福祉の充実について	33.3	16.3	17.0	56.9	61.9	△ 5.0	6.3	18.1	△ 11.9	↑	61.8
20	ひとり親家庭福祉の充実について	22.2	16.9	5.3	66.7	66.9	△ 0.2	8.3	12.5	△ 4.2	↑	50.0
21	低所得者福祉の充実について	22.2	11.9	10.3	67.4	67.5	△ 0.1	9.0	16.3	△ 7.3	↑	33.3
22	農林業の振興について	19.4	10.6	8.8	69.4	66.3	3.1	7.6	18.8	△ 11.2	↑	42.4
23	工業の振興について	13.2	5.6	7.6	70.1	50.0	20.1	15.3	41.3	△ 26.0	↑	0.0
24	商業の振興について	21.5	10.0	11.5	68.8	66.9	1.8	8.3	20.0	△ 11.7	↑	37.5
25	観光の振興について	31.9	20.6	11.3	56.9	56.9	0.0	9.7	18.8	△ 9.1	↑	52.8
26	新たな地域産業の振興について	18.8	21.3	△ 2.6	70.1	55.0	15.1	9.0	21.3	△ 12.3	↓	28.5
27	学校教育の充実について	30.6	20.0	10.6	63.9	66.9	△ 3.0	4.9	9.4	△ 4.5	↑	59.0
28	生涯学習の推進について	33.3	15.0	18.3	60.4	72.5	△ 12.1	5.6	8.8	△ 3.2	↑	66.0
29	地域文化の振興について	20.8	10.0	10.8	72.2	70.0	2.2	6.3	15.6	△ 9.4	↑	41.0
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	27.1	17.5	9.6	63.2	70.6	△ 7.4	7.6	8.8	△ 1.2	↑	50.7
31	男女共同参画社会づくりの推進について	18.8	5.6	13.2	65.3	68.1	△ 2.8	14.6	22.5	△ 7.9	↑	33.3
32	他の自治体との連携・交流の推進について	22.2	9.4	12.8	57.6	58.1	△ 0.5	18.8	30.0	△ 11.3	↑	34.7
33	広報・公聴の推進について	31.3	16.9	14.4	57.6	73.8	△ 16.2	8.3	8.1	0.2	↑	41.7
34	市民との協働・活動支援について	18.8	11.3	7.5	65.3	63.8	1.5	13.9	21.9	△ 8.0	↑	29.9
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	15.3	8.1	7.2	66.7	60.6	6.1	17.4	30.0	△ 12.6	↑	3.5
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	34.7	19.4	15.3	56.9	68.8	△ 11.9	7.6	10.0	△ 2.4	↑	45.1

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域：雄物川地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	28.7	10.5	18.2	67.8	72.2	△ 4.4	1.7	16.5	△ 14.8	↑	60.0
2	住宅・住環境の整備について	26.1	14.5	11.6	67.0	70.2	△ 3.2	3.5	15.3	△ 11.8	↑	58.3
3	公園・緑地の整備について	26.1	18.0	8.1	67.8	64.7	3.1	4.3	16.5	△ 12.2	↑	53.0
4	上水道の整備について	33.9	21.1	12.8	59.1	54.9	4.2	7.0	23.3	△ 16.3	↑	61.7
5	下水道等の整備について	30.4	21.8	8.6	60.9	48.1	12.8	8.7	27.8	△ 19.1	↑	51.3
6	環境保全政策の充実について	37.4	28.6	8.8	60.0	52.6	7.4	1.7	18.0	△ 16.3	↑	62.6
7	各拠点地区の整備について	17.4	11.3	6.1	70.4	55.6	14.8	8.7	30.8	△ 22.1	↑	42.6
8	道路網の整備について	32.2	24.8	7.4	56.5	54.9	1.6	10.4	18.0	△ 7.6	↑	38.3
9	消防・防災体制の充実について	33.0	25.6	7.4	60.0	60.2	△ 0.2	5.2	12.8	△ 7.6	↑	63.5
10	交通安全・防犯対策の推進について	40.9	18.0	22.9	54.8	64.7	△ 9.9	2.6	15.8	△ 13.2	↑	79.1
11	治山・治水の推進について	27.8	22.6	5.2	66.1	61.7	4.4	2.6	14.3	△ 11.7	↑	68.7
12	公共交通機関の利便性の向上について	22.6	18.8	3.8	67.0	54.1	12.9	8.7	24.1	△ 15.4	↑	30.4
13	高度情報化の推進について	29.6	20.3	9.3	66.1	60.9	5.2	2.6	16.5	△ 13.9	↑	60.0
14	保健活動・健康づくりの推進について	32.2	27.1	5.1	63.5	52.6	10.9	2.6	17.3	△ 14.7	↑	70.4
15	医療体制の充実について	45.2	38.3	6.9	50.4	47.4	3.0	2.6	12.8	△ 10.2	↑	79.1
16	地域福祉の向上について	26.1	18.0	8.1	69.6	62.4	7.2	0.9	18.8	△ 17.9	↑	65.2
17	高齢者福祉の充実について	28.7	19.5	9.2	62.6	60.9	1.7	5.2	18.0	△ 12.8	↑	47.8
18	児童福祉の充実について	32.2	18.8	13.4	61.7	66.2	△ 4.5	3.5	14.3	△ 10.8	↑	67.8
19	障がい者(児)福祉の充実について	27.0	15.0	12.0	66.1	66.9	△ 0.8	2.6	15.8	△ 13.2	↑	73.0
20	ひとり親家庭福祉の充実について	20.9	9.8	11.1	73.0	70.7	2.3	1.7	17.3	△ 15.6	↑	60.9
21	低所得者福祉の充実について	18.3	8.3	10.0	71.3	61.7	9.6	6.1	28.6	△ 22.5	↑	34.8
22	農林業の振興について	13.0	8.3	4.7	77.4	69.2	8.2	6.1	20.3	△ 14.2	↑	27.0
23	工業の振興について	11.3	6.8	4.5	75.7	39.8	35.9	11.3	51.9	△ 40.6	↑	△ 4.3
24	商業の振興について	14.8	8.3	6.5	73.9	61.7	12.2	8.7	28.6	△ 19.9	↑	27.8
25	観光の振興について	27.0	21.1	5.9	62.6	51.1	11.5	8.7	25.6	△ 16.9	↑	53.0
26	新たな地域産業の振興について	12.2	21.1	△ 8.9	78.3	48.1	30.2	6.1	28.6	△ 22.5	↓	27.0
27	学校教育の充実について	27.8	21.1	6.7	63.5	61.7	1.8	4.3	14.3	△ 10.0	↑	67.8
28	生涯学習の推進について	21.7	11.3	10.4	70.4	77.4	△ 7.0	3.5	9.0	△ 5.5	↑	69.6
29	地域文化の振興について	14.8	11.3	3.5	77.4	68.4	9.0	4.3	18.0	△ 13.7	↑	42.6
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	21.7	18.8	2.9	72.2	67.7	4.5	4.3	10.5	△ 6.2	↑	53.0
31	男女共同参画社会づくりの推進について	13.0	7.5	5.5	70.4	57.9	12.5	11.3	30.8	△ 19.5	↑	30.4
32	他の自治体との連携・交流の推進について	15.7	13.5	2.2	70.4	51.9	18.5	9.6	31.6	△ 22.0	↑	36.5
33	広報・公聴の推進について	30.4	18.0	12.4	63.5	53.4	10.1	1.7	25.6	△ 23.9	↑	62.6
34	市民との協働・活動支援について	13.9	10.5	3.4	76.5	57.9	18.6	6.1	27.8	△ 21.7	↑	32.2
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	22.6	15.8	6.8	64.3	46.6	17.7	10.4	35.3	△ 24.9	↑	31.3
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	39.1	27.1	12.0	56.5	61.7	△ 5.2	1.7	9.8	△ 8.1	↑	67.8

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域： 大森地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	23.2	12.6	10.6	67.1	58.3	8.8	8.5	25.2	△ 16.7	↑	40.2
2	住宅・住環境の整備について	25.6	15.8	9.8	68.3	70.3	△ 2.0	4.9	12.9	△ 8.0	↑	50.0
3	公園・緑地の整備について	19.5	15.5	4.0	68.3	64.1	4.2	11.0	19.4	△ 8.4	↑	35.4
4	上水道の整備について	40.2	34.0	6.2	56.1	57.3	△ 1.2	0.0	7.8	△ 7.8	↑	74.4
5	下水道等の整備について	46.3	31.1	15.2	51.2	57.3	△ 6.1	1.2	11.7	△ 10.5	↑	76.8
6	環境保全政策の充実について	42.7	28.2	14.5	52.4	50.5	1.9	3.7	21.4	△ 17.7	↑	47.6
7	各拠点地区の整備について	18.3	10.7	7.6	70.7	51.5	19.2	3.7	35.9	△ 32.2	↑	39.0
8	道路網の整備について	39.0	32.0	7.0	50.0	38.8	11.2	8.5	27.2	△ 18.7	↑	39.0
9	消防・防災体制の充実について	41.5	32.0	9.5	54.9	54.4	0.5	1.2	13.6	△ 12.4	↑	82.9
10	交通安全・防犯対策の推進について	42.7	18.4	24.3	51.2	64.1	△ 12.9	2.4	15.5	△ 13.1	↑	74.4
11	治山・治水の推進について	39.0	18.4	20.6	58.5	64.1	△ 5.6	1.2	15.5	△ 14.3	↑	74.4
12	公共交通機関の利便性の向上について	30.5	19.4	11.1	62.2	47.6	14.6	6.1	32.0	△ 25.9	↑	47.6
13	高度情報化の推進について	37.8	31.1	6.7	54.9	53.4	1.5	6.1	14.6	△ 8.5	↑	62.2
14	保健活動・健康づくりの推進について	41.5	26.2	15.3	56.1	58.3	△ 2.2	2.4	15.5	△ 13.1	↑	65.9
15	医療体制の充実について	53.7	48.5	5.2	43.9	35.9	8.0	1.2	15.5	△ 14.3	↑	81.7
16	地域福祉の向上について	34.1	21.4	12.7	63.4	58.3	5.1	1.2	20.4	△ 19.2	↑	69.5
17	高齢者福祉の充実について	36.6	24.3	12.3	57.3	54.4	2.9	3.7	21.4	△ 17.7	↑	61.0
18	児童福祉の充実について	40.2	23.3	16.9	51.2	64.1	△ 12.9	2.4	12.6	△ 10.2	↑	54.9
19	障がい者(児)福祉の充実について	31.7	14.6	17.1	62.2	65.0	△ 2.8	1.2	19.4	△ 18.2	↑	63.4
20	ひとり親家庭福祉の充実について	24.4	15.5	8.9	70.7	67.0	3.7	0.0	17.5	△ 17.5	↑	39.0
21	低所得者福祉の充実について	17.1	14.6	2.5	74.4	64.1	10.3	3.7	21.4	△ 17.7	↑	41.5
22	農林業の振興について	17.1	9.7	7.4	73.2	62.1	11.1	2.4	25.2	△ 22.8	↑	43.9
23	工業の振興について	15.9	9.7	6.2	63.4	52.4	11.0	17.1	36.9	△ 19.8	↑	△ 1.2
24	商業の振興について	20.7	9.7	11.0	70.7	67.0	3.7	7.3	21.4	△ 14.1	↑	30.5
25	観光の振興について	31.7	16.5	15.2	59.8	49.5	10.3	3.7	33.0	△ 29.3	↑	51.2
26	新たな地域産業の振興について	20.7	18.4	2.3	67.1	56.3	10.8	6.1	23.3	△ 17.2	↑	32.9
27	学校教育の充実について	31.7	26.2	5.5	63.4	59.2	4.2	1.2	13.6	△ 12.4	↑	64.6
28	生涯学習の推進について	35.4	16.5	18.9	59.8	68.9	△ 9.1	2.4	11.7	△ 9.3	↑	70.7
29	地域文化の振興について	25.6	14.6	11.0	65.9	62.1	3.8	4.9	22.3	△ 17.4	↑	47.6
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	32.9	23.3	9.6	65.9	64.1	1.8	0.0	10.7	△ 10.7	↑	67.1
31	男女共同参画社会づくりの推進について	18.3	5.8	12.5	73.2	62.1	11.1	4.9	28.2	△ 23.3	↑	37.8
32	他の自治体との連携・交流の推進について	23.2	18.4	4.8	70.7	48.5	22.2	4.9	31.1	△ 26.2	↑	50.0
33	広報・公聴の推進について	29.3	19.4	9.9	68.3	58.3	10.0	2.4	21.4	△ 19.0	↑	56.1
34	市民との協働・活動支援について	20.7	11.7	9.0	65.9	56.3	9.6	11.0	28.2	△ 17.2	↑	39.0
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	14.6	12.6	2.0	67.1	49.5	17.6	17.1	36.9	△ 19.8	↑	11.0
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	35.4	31.1	4.3	57.3	55.3	2.0	6.1	12.6	△ 6.5	↑	57.3

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域： 十文字地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	20.0	14.9	5.1	69.6	65.8	3.8	7.4	16.1	△ 8.7	↑	48.1
2	住宅・住環境の整備について	18.5	15.2	3.3	76.3	71.5	4.8	4.4	12.7	△ 8.3	↑	44.4
3	公園・緑地の整備について	20.0	21.1	△ 1.1	72.6	57.8	14.8	7.4	19.3	△ 11.9	↓	49.6
4	上水道の整備について	32.6	20.5	12.1	60.0	62.7	△ 2.7	5.9	14.9	△ 9.0	↑	58.5
5	下水道等の整備について	30.4	21.1	9.3	64.4	57.1	7.3	3.7	19.9	△ 16.2	↑	57.0
6	環境保全政策の充実について	30.4	26.1	4.3	63.7	51.6	12.1	4.4	19.9	△ 15.5	↑	73.3
7	各拠点地区の整備について	18.5	10.6	7.9	70.4	50.3	20.1	9.6	36.6	△ 27.0	↑	34.8
8	道路網の整備について	21.5	21.7	△ 0.2	63.7	54.0	9.7	13.3	23.0	△ 9.7	↓	25.9
9	消防・防災体制の充実について	31.9	22.4	9.5	58.5	64.0	△ 5.5	6.7	13.0	△ 6.3	↑	64.4
10	交通安全・防犯対策の推進について	35.6	14.3	21.3	59.3	68.3	△ 9.0	3.7	14.3	△ 10.6	↑	70.4
11	治山・治水の推進について	25.2	16.1	9.1	68.9	70.2	△ 1.3	2.2	11.8	△ 9.6	↑	65.2
12	公共交通機関の利便性の向上について	25.9	13.7	12.2	68.1	60.9	7.2	3.7	23.0	△ 19.3	↑	47.4
13	高度情報化の推進について	29.6	19.9	9.7	66.7	54.0	12.7	1.5	23.0	△ 21.5	↑	66.7
14	保健活動・健康づくりの推進について	38.5	19.9	18.6	54.1	59.0	△ 4.9	5.9	18.6	△ 12.7	↑	67.4
15	医療体制の充実について	43.7	30.4	13.3	51.1	52.2	△ 1.1	3.7	14.9	△ 11.2	↑	65.9
16	地域福祉の向上について	30.4	18.6	11.8	65.9	64.0	1.9	3.0	14.3	△ 11.3	↑	56.3
17	高齢者福祉の充実について	28.9	23.0	5.9	65.9	62.7	3.2	3.7	11.8	△ 8.1	↑	57.0
18	児童福祉の充実について	38.5	18.0	20.5	58.5	66.5	△ 8.0	0.7	13.0	△ 12.3	↑	78.5
19	障がい者(児)福祉の充実について	25.9	14.9	11.0	68.9	68.3	0.6	2.2	14.3	△ 12.1	↑	64.4
20	ひとり親家庭福祉の充実について	23.0	13.7	9.3	69.6	67.1	2.5	5.2	14.9	△ 9.7	↑	54.8
21	低所得者福祉の充実について	23.0	9.9	13.1	66.7	65.8	0.9	6.7	19.9	△ 13.2	↑	47.4
22	農林業の振興について	17.0	8.1	8.9	72.6	70.2	2.4	4.4	18.0	△ 13.6	↑	34.8
23	工業の振興について	11.1	5.0	6.1	74.1	50.3	23.8	11.1	40.4	△ 29.3	↑	4.4
24	商業の振興について	10.4	4.3	6.1	79.3	70.8	8.5	6.7	19.9	△ 13.2	↑	37.0
25	観光の振興について	25.2	24.8	0.4	63.0	53.4	9.6	8.9	18.6	△ 9.7	↑	51.1
26	新たな地域産業の振興について	19.3	16.8	2.5	68.1	64.0	4.1	9.6	16.1	△ 6.5	↑	43.7
27	学校教育の充実について	34.1	19.9	14.2	58.5	63.4	△ 4.9	3.0	12.4	△ 9.4	↑	63.0
28	生涯学習の推進について	24.4	13.7	10.7	71.9	72.0	△ 0.1	0.7	10.6	△ 9.9	↑	67.4
29	地域文化の振興について	19.3	8.7	10.6	71.9	74.5	△ 2.6	5.9	13.7	△ 7.8	↑	45.2
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	21.5	13.0	8.5	69.6	70.8	△ 1.2	7.4	13.0	△ 5.6	↑	49.6
31	男女共同参画社会づくりの推進について	17.8	6.2	11.6	69.6	61.5	8.1	8.1	28.0	△ 19.9	↑	40.7
32	他の自治体との連携・交流の推進について	17.8	8.7	9.1	65.2	59.6	5.6	12.6	27.3	△ 14.7	↑	49.6
33	広報・公聴の推進について	27.4	13.7	13.7	65.2	70.2	△ 5.0	5.2	12.4	△ 7.2	↑	57.8
34	市民との協働・活動支援について	20.7	6.8	13.9	64.4	60.2	4.2	10.4	28.0	△ 17.6	↑	48.1
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	17.0	11.8	5.2	70.4	53.4	17.0	11.9	29.2	△ 17.3	↑	23.7
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	32.6	19.3	13.3	59.3	65.2	△ 5.9	6.7	10.6	△ 3.9	↑	55.6

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域： 山内地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	20.0	16.4	3.6	76.7	56.4	20.3	3.3	25.5	△ 22.2	↑	73.3
2	住宅・住環境の整備について	33.3	13.2	20.1	60.0	64.2	△ 4.2	6.7	22.6	△ 15.9	↑	73.3
3	公園・緑地の整備について	30.0	16.4	13.6	66.7	61.8	4.9	3.3	18.2	△ 14.9	↑	53.3
4	上水道の整備について	33.3	30.9	2.4	63.3	50.9	12.4	0.0	14.5	△ 14.5	↑	76.7
5	下水道等の整備について	30.0	30.9	△ 0.9	66.7	45.5	21.2	3.3	21.8	△ 18.5	↓	66.7
6	環境保全政策の充実について	33.3	32.7	0.6	66.7	52.7	14.0	0.0	12.7	△ 12.7	↑	73.3
7	各拠点地区の整備について	10.0	14.5	△ 4.5	80.0	47.3	32.7	6.7	34.5	△ 27.8	↓	43.3
8	道路網の整備について	16.7	20.0	△ 3.3	73.3	52.7	20.6	10.0	25.5	△ 15.5	↓	33.3
9	消防・防災体制の充実について	40.0	29.1	10.9	56.7	58.2	△ 1.5	3.3	9.1	△ 5.8	↑	60.0
10	交通安全・防犯対策の推進について	20.0	21.8	△ 1.8	76.7	61.8	14.9	3.3	14.5	△ 11.2	↓	73.3
11	治山・治水の推進について	20.0	12.7	7.3	76.7	63.6	13.1	3.3	21.8	△ 18.5	↑	73.3
12	公共交通機関の利便性の向上について	16.7	18.2	△ 1.5	83.3	52.7	30.6	0.0	27.3	△ 27.3	↓	60.0
13	高度情報化の推進について	33.3	18.2	15.1	53.3	56.4	△ 3.1	13.3	23.6	△ 10.3	↑	53.3
14	保健活動・健康づくりの推進について	36.7	29.1	7.6	63.3	54.5	8.8	0.0	14.5	△ 14.5	↑	60.0
15	医療体制の充実について	40.0	36.4	3.6	56.7	38.2	18.5	3.3	23.6	△ 20.3	↑	53.3
16	地域福祉の向上について	16.7	20.0	△ 3.3	80.0	61.8	18.2	3.3	14.5	△ 11.2	↓	60.0
17	高齢者福祉の充実について	30.0	12.7	17.3	60.0	65.5	△ 5.5	10.0	20.0	△ 10.0	↑	53.3
18	児童福祉の充実について	33.3	20.0	13.3	63.3	60.0	3.3	3.3	14.5	△ 11.2	↑	73.3
19	障がい者(児)福祉の充実について	20.0	18.2	1.8	80.0	61.8	18.2	0.0	18.2	△ 18.2	↑	86.7
20	ひとり親家庭福祉の充実について	20.0	12.7	7.3	76.7	67.3	9.4	3.3	16.4	△ 13.1	↑	80.0
21	低所得者福祉の充実について	23.3	9.1	14.2	73.3	67.3	6.0	3.3	20.0	△ 16.7	↑	40.0
22	農林業の振興について	23.3	10.9	12.4	73.3	60.0	13.3	3.3	27.3	△ 24.0	↑	33.3
23	工業の振興について	13.3	12.7	0.6	80.0	43.6	36.4	6.7	41.8	△ 35.1	↑	△ 6.7
24	商業の振興について	23.3	10.9	12.4	76.7	50.9	25.8	0.0	34.5	△ 34.5	↑	40.0
25	観光の振興について	33.3	23.6	9.7	63.3	47.3	16.0	3.3	27.3	△ 24.0	↑	60.0
26	新たな地域産業の振興について	20.0	18.2	1.8	76.7	50.9	25.8	3.3	29.1	△ 25.8	↑	53.3
27	学校教育の充実について	23.3	20.0	3.3	73.3	63.6	9.7	3.3	14.5	△ 11.2	↑	46.7
28	生涯学習の推進について	33.3	10.9	22.4	66.7	69.1	△ 2.4	0.0	16.4	△ 16.4	↑	66.7
29	地域文化の振興について	26.7	5.5	21.2	66.7	70.9	△ 4.2	3.3	18.2	△ 14.9	↑	50.0
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	20.0	20.0	0.0	73.3	60.0	13.3	3.3	16.4	△ 13.1	↓	76.7
31	男女共同参画社会づくりの推進について	13.3	3.6	9.7	73.3	60.0	13.3	10.0	29.1	△ 19.1	↑	43.3
32	他の自治体との連携・交流の推進について	23.3	7.3	16.0	66.7	56.4	10.3	6.7	30.9	△ 24.2	↑	63.3
33	広報・公聴の推進について	26.7	14.5	12.2	66.7	61.8	4.9	0.0	18.2	△ 18.2	↑	66.7
34	市民との協働・活動支援について	16.7	5.5	11.2	73.3	54.5	18.8	6.7	29.1	△ 22.4	↑	43.3
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	16.7	10.9	5.8	66.7	47.3	19.4	10.0	34.5	△ 24.5	↑	33.3
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	26.7	20.0	6.7	60.0	60.0	0.0	6.7	14.5	△ 7.8	↑	46.7

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

分野別満足度比較表(平成26年⇔平成22年)

地域： 大雄地区		H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26年	H22年	H26-H22	H26とH22を比較	H26年
設問	項目	非常に満足+満足	満足+やや満足	満足増減	やや満足+やや不満	普通	普通増減	不満+非常に不満	やや不満+不満	不満増減	満足度の増減	(非常に満足+満足+やや満足) -(やや不満+不満+非常に不満)
1	自然・歴史的環境の保全と活用について	31.0	15.2	15.8	62.1	57.6	4.5	5.2	19.7	△ 14.5	↑	56.9
2	住宅・住環境の整備について	24.1	17.7	6.4	63.8	62.9	0.9	6.9	16.1	△ 9.2	↑	50.0
3	公園・緑地の整備について	20.7	15.2	5.5	72.4	42.4	30.0	5.2	34.8	△ 29.6	↑	53.4
4	上水道の整備について	34.5	27.3	7.2	53.4	50.0	3.4	12.1	16.7	△ 4.6	↑	55.2
5	下水道等の整備について	31.0	27.3	3.7	53.4	48.5	4.9	15.5	16.7	△ 1.2	↑	55.2
6	環境保全政策の充実について	41.4	27.3	14.1	51.7	45.5	6.2	5.2	22.7	△ 17.5	↑	56.9
7	各拠点地区の整備について	15.5	13.6	1.9	70.7	45.5	25.2	10.3	36.4	△ 26.1	↑	62.1
8	道路網の整備について	39.7	22.7	17.0	51.7	47.0	4.7	8.6	24.2	△ 15.6	↑	44.8
9	消防・防災体制の充実について	44.8	25.8	19.0	48.3	50.0	△ 1.7	6.9	18.2	△ 11.3	↑	58.6
10	交通安全・防犯対策の推進について	37.9	27.3	10.6	58.6	47.0	11.6	3.4	18.2	△ 14.8	↑	65.5
11	治山・治水の推進について	34.5	13.6	20.9	60.3	69.7	△ 9.4	5.2	9.1	△ 3.9	↑	55.2
12	公共交通機関の利便性の向上について	29.3	13.6	15.7	56.9	59.1	△ 2.2	12.1	21.2	△ 9.1	↑	29.3
13	高度情報化の推進について	39.7	16.7	23.0	53.4	50.0	3.4	3.4	25.8	△ 22.4	↑	62.1
14	保健活動・健康づくりの推進について	43.1	24.2	18.9	44.8	45.5	△ 0.7	10.3	24.2	△ 13.9	↑	63.8
15	医療体制の充実について	32.8	43.9	△ 11.1	62.1	33.3	28.8	3.4	16.7	△ 13.3	↓	60.3
16	地域福祉の向上について	25.9	24.2	1.7	70.7	59.1	11.6	1.7	10.6	△ 8.9	↑	56.9
17	高齢者福祉の充実について	32.8	15.2	17.6	63.8	62.1	1.7	1.7	16.7	△ 15.0	↑	77.6
18	児童福祉の充実について	48.3	28.8	19.5	50.0	50.0	0.0	1.7	15.2	△ 13.5	↑	75.9
19	障がい者(児)福祉の充実について	37.9	15.2	22.7	58.6	62.1	△ 3.5	3.4	16.7	△ 13.3	↑	69.0
20	ひとり親家庭福祉の充実について	29.3	12.1	17.2	63.8	68.2	△ 4.4	3.4	13.6	△ 10.2	↑	62.1
21	低所得者福祉の充実について	22.4	12.1	10.3	65.5	66.7	△ 1.2	8.6	15.2	△ 6.6	↑	58.6
22	農林業の振興について	17.2	10.6	6.6	74.1	60.6	13.5	5.2	21.2	△ 16.0	↑	51.7
23	工業の振興について	12.1	7.6	4.5	70.7	39.4	31.3	13.8	47.0	△ 33.2	↑	3.4
24	商業の振興について	13.8	10.6	3.2	84.5	59.1	25.4	0.0	24.2	△ 24.2	↑	43.1
25	観光の振興について	31.0	16.7	14.3	69.0	60.6	8.4	0.0	16.7	△ 16.7	↑	65.5
26	新たな地域産業の振興について	25.9	19.7	6.2	69.0	54.5	14.5	3.4	19.7	△ 16.3	↑	46.6
27	学校教育の充実について	31.0	24.2	6.8	63.8	51.5	12.3	3.4	18.2	△ 14.8	↑	67.2
28	生涯学習の推進について	25.9	16.7	9.2	65.5	63.6	1.9	8.6	13.6	△ 5.0	↑	62.1
29	地域文化の振興について	25.9	12.1	13.8	63.8	60.6	3.2	10.3	19.7	△ 9.4	↑	41.4
30	スポーツ・レクリエーションの振興について	34.5	22.7	11.8	60.3	60.6	△ 0.3	5.2	10.6	△ 5.4	↑	62.1
31	男女共同参画社会づくりの推進について	22.4	7.6	14.8	63.8	54.5	9.3	12.1	30.3	△ 18.2	↑	25.9
32	他の自治体との連携・交流の推進について	24.1	9.1	15.0	58.6	51.5	7.1	15.5	31.8	△ 16.3	↑	39.7
33	広報・公聴の推進について	34.5	15.2	19.3	62.1	56.1	6.0	3.4	21.2	△ 17.8	↑	58.6
34	市民との協働・活動支援について	22.4	6.1	16.3	63.8	57.6	6.2	10.3	27.3	△ 17.0	↑	41.4
35	市職員の資質向上に関する取り組みについて	20.7	13.6	7.1	65.5	40.9	24.6	12.1	36.4	△ 24.3	↑	32.8
36	各地域局における窓口業務を中心とした行政サービス	39.7	22.7	17.0	56.9	62.1	△ 5.2	3.4	6.1	△ 2.7	↑	58.6

※H22は5段階評価、H26年は6段階評価であるため、満足の比較ではH26年の「非常に満足+満足」とH22年の「満足+やや満足」を対照し、普通の比較ではH26年の「やや満足+やや不満」とH22年の「普通」を対照、不満の比較ではH26年の「不満+非常に不満」と「やや不満+不満」を対照しています。

Ⅲ.巻末資料③

市民アンケート自由意見

横手市まちづくりアンケート調査の自由意見記載の分類

大分類	中分類	項目	意見数	意見総数	割合(%)
生活環境	ごみ対策	分別について	4	79	18.4%
	住宅環境整備	空き家対策 ほか	6		
	下水道整備	下水道整備 ほか	5		
	公園整備	危険箇所、遊具の管理 など	6		
	都市基盤整備	光回線、携帯電波の改善	3		
		地域格差(市内中心部と郊外)	8		
		横手駅周辺について ほか	14		
	道路整備	道路整備全般について ほか	22		
除雪体制	除雪体制全般について	11			
安全生活	防災	防災無線が聞き取りにくい など	4	21	4.9%
	消防対策	消防大会について	1		
	防犯	安全安心 など	1		
	公共交通	デマンド交通・循環バス	7		
交通機関の充実 ほか		8			
健康福祉	健康	病気予防、禁煙について	2	58	13.5%
	子育て支援	子育て支援の充実	5		
		母親の子育て環境支援	8		
		児童保育の充実	5		
		無料診断、助成金 など	7		
		少子化対策	2		
	医療	医療の充実 など	6		
	高齢者福祉	政策等の充実	6		
障がい者福祉	補助等の見直し ほか	11			
低所得者福祉	障がい者福祉の充実	2			
審査方法について など	4				
産業雇用	農林業	横手ブランド、6次産業化	4	100	23.3%
		情報発信	2		
		就農について ほか	6		
	商工業	娯楽施設について	13		
		温泉施設について ほか	12		
	観光	PR、他市町村との連携	6		
		イベント、企画提案	8		
	雇用対策	お土産、飲食店 など	1		
		企業誘致による雇用対策	29		
		賃金について	19		
教育文化	学校教育	学校統合について	7	30	7.0%
		教育内容について ほか	10		
	生涯学習	施設に関すること	6		
	芸術分野	芸術分野の充実	3		
スポーツ	施設の充実	4			
住民参画	地域づくり	地域格差(市内中心部と郊外)	8	105	24.5%
		魅力あるまちづくり ほか	17		
	協働のまちづくり	協働のまちづくり ほか	12		
	市役所の体制	少子高齢化対策	4		
		職員の勤務態度 ほか	13		
		体制に関すること	27		
市報に関すること ほか		13			
その他	その他	11			
その他	その他	アンケート内容について	22	36	8.4%
		励まし、その他意見	14		
合計			429	429	100.0%

○横手市まちづくりアンケート回答数 1,082

○自由意見記載数 290

○分類別意見数 429

《横手市まちづくりアンケート 市民 自由意見》

■生活環境分野(1/4)

No.	分類	要約意見
1	ごみ対策	2年後にごみの分別ルールが変わるとのことだが、住民に説明がされていないのではないか。 ごみ集積所の拡大をすれば助成金が多くなるとの説明を受けたが、その件にしても町内会代表者を集めて説明会をお願いしたい。
2	ごみ対策	ごみ袋にバーコードがあって何枚か集めると1つもらえるとかあれば意識が高まるのでは。無責任な人は他人のごみ袋を開けて入れている。
3	ごみ対策	ペットのフンの後始末をきちんとしてもらいたい。
4	ごみ対策	ごみの分別について、小学校や幼稚園で取り組めばいいと思う。子どもが取り組む環境があれば家でも行うと思う。紙の資源ごみを燃えるごみにしないだけでも燃えるごみ減らせる。子どもの頃から身につければいいのでは。
5	住宅環境整備	住みよい環境を整備してほしい。
6	住宅環境整備	核家族が増えているので空き家への対応。若い家族へ安く貸し出すとか。
7	住宅環境整備	市内の空き家が大変多いので何か利用できればいいのに。
8	住宅環境整備	県営住宅と比べると市営住宅は古く危険。年をとっても住む人が安心して暮らせるようにしてほしい。
9	住宅環境整備	市営住宅の家賃がいきなり上がりすぎなのでもっと安くお願いしたい。給料は前より下がっているのに一気に上がるのは苦しい。どうして家賃が上がるのか分かり易く明記してほしい。市営住宅の家賃を安くすることで横手にとどまる若い夫婦が増え少子化問題も改善できると思う。
10	住宅環境整備	共同ハウスや共同生活エリアの整備に伴い空き家となる家屋の再利用として、移住対策にも力を注いで欲しい。
11	上下水道整備	上下水道を早急に整備してほしい。
12	上下水道整備	横手市全域の下水道整備。
13	上下水道整備	水洗にしてください。
14	上下水道整備	下水道は住民の意向よりも次の世代を考えて進めるべき。
15	上下水道整備	水道水をもっときれいにお願いしたい
16	公園整備	公共施設のトイレが汚れている事が多い。
17	公園整備	雄物川町の河川公園で、子どもの目線の高さくらいの所にバラのようなトゲのある植物があった。利用する人の立場になって危険がないか点検・整備を充実して欲しい。
18	公園整備	子供を遊ばせる公園や施設が少なく不便。また、公園によって整備や遊具に格差があるのも気になる。
19	公園整備	公園の桜の木をもっと増やして欲しい。ただ、公園に関しては、管理ができておらず、子どもを遊ばせられないことも多いので、適切な管理をして欲しい。
20	公園整備	憩いの森の城南町側の入り口から間もなくの水場について、飲用水との表示はないものの、コップも用意されており、飲用の印象を受けるが、この水は動物の糞尿などが混入しており、トキソプラズマの恐れもあるとの話も聞く。調査してもらい、明確な説明の立札を立てるべきではないか。
21	公園整備	公園について、子どもの遊具に危険と書かれ、遊ぶことのできない所が多いと思う。修理するなり新しくして子どもが安全に遊べるようにしてもらいたい。

■生活環境分野(2/4)

No.	分類	要約意見
22	地域基盤整備	大雄在住だが、ドコモのスマホの電波がすごく悪く、改善して欲しい。
23	都市基盤整備	過疎地域に早く光回線を。中断して仕事にならないことがある。
24	都市基盤整備	地デジ化に伴いアンテナを高く上げなければならず、大曲からの電波が弱い。市内でワンセグがしっかり入らない。横手でもしっかりテレビが見られるように電波塔を建てるべき。
25	都市基盤整備	郊外の大型店に人が集中しているが、車の運転ができない人達や、老人達のためにも、まちの中で買物ができるような中心街の活性化も考えて欲しい。
26	都市基盤整備	利便性を考えると市内、街中に住みたいが、今住んでいる所から離れるのは難しい。もう少し郊外の事を考えた市政をお願いしたい。
27	都市基盤整備	旧横手市の西側方面、大型店、イオン方面は発展しているが、横手駅前付近は閑散としており、何とかならないか。
28	都市基盤整備	少子高齢化、人口減少などが大きな課題となる。このような現状を踏まえたこれからのまちづくりなどをおこなってほしい。道路ハコモノなど新しく作る物など。
29	都市基盤整備	郊外重視型となり、旧市内の空洞化はどう解消するのか。
30	都市基盤整備	都市機能の一点集中化でなく分散化を。市内が広域にわたることを考えると一点集中は現実には合いません。それぞれの地域が地域としての独自性を保ちつつ、連携を取りながら運営されていく、そのために市全体として何をアピールし、取り組んでいくかという考えで進めていただきたい。
31	都市基盤整備	町が分散してバラバラと言う感じだ。
32	都市基盤整備	若い世代はお金はないが、特定のことにだけお金を使うので、古いものと新しいものが融合している空間が必要だと思う。
33	都市基盤整備	無駄な横手駅前再開発。車社会でありJR利用者が少ないのに駅が中心という発想は古い。
34	都市基盤整備	横手駅の東西両側に入口があるのは便利でありがたく市の活性化に繋がっている。
35	都市基盤整備	横手駅の表示(JR横手駅)が、現在右端にあるが、ロータリーの樹木でさえぎられてしまい見えない。何の建物なのかわからないので改善して欲しい。
36	都市基盤整備	ふるさと村周辺に施設を集結した方が賑わいもアップする。住みよい所になって欲しいと願う。
37	都市基盤整備	駅や街並みが整備されていてとても便利で気持ちいい。増田の食堂近く(コミュニティ近く)が異常に異臭がする。観光客に失礼だ。おもてなしの心で街並みをきれいに。横手駅に子供たちが集うところがあって助かります。
38	都市基盤整備	横手駅西口駅前地区の開発はどうなっているか情報が欲しい。無料駐車場があればいい。
39	都市基盤整備	大森町には良い施設が沢山あるが、有効利用されていない。大森芝桜フェスタは沢山の人が来たが、近くの球場や大森町民体育館など利用する人たちが少ない。
40	都市基盤整備	観光客以外に地元の人が行きたくなるような場所がない。まちづくりも中途半端で、駐車場がない(わからない)。
41	都市基盤整備	各地域にある施設が老朽化しているように思う。地震の心配もあるし、リフォームや新しくすることで活躍の場も増えるのではないか。
42	都市基盤整備	賑わいまちづくりが振興地域に限られてきている気がする。旧市街地域の方にも再度目を向けてもらい、人が集まる活気ある地域が少しずつでも広がっていくように努めて欲しい。

■生活環境分野(3/4)

No.	分類	要約意見
43	都市基盤整備	新しく公園や建造物を作らず、今あるものを整備して利用することを考えるべき。
44	都市基盤整備	107号線の松は、冬に枝に積もった雪が車に落下して危険。桜に植え替えて桜並木にした方が素敵な情景になる。
45	都市基盤整備	街灯の明かりが切れていてもずっとそのままになっているようなので、一度夜間に見回りをして、市内を点検すべきだと思う。
46	都市基盤整備	ラブホの看板を復活させる。ラブホ建設のための規制緩和。
47	道路整備	横手駅の東西連絡路について、自転車が通れないのが不便。
48	道路整備	横手駅周辺で西口から東口への地下道をつくらないのか。
49	道路整備	道路を作れば交差点が増え、交通事故は減らない。ルールを守らない個人の意識の問題もあるが、標識が見えにくかったり、信号機の間隔が短すぎるなど、設置管理の問題もあるように思う。
50	道路整備	学校周辺の歩道幅を広くして欲しい。
51	道路整備	幹線道路はこれ以上必要ないのでは。
52	道路整備	市道がボコボコなので早く直して欲しい。
53	道路整備	道路整備も早急をお願いしたい。穴にはまったりして車が壊れる。
54	道路整備	横山～神明町前までの道路の拡幅工事を進めて欲しい。道路の線が消えて危険、早めに引いてほしい。
55	道路整備	通学路の歩道をきちんと作ってもらいたい。街灯の整備も徹底してもらいたい。
56	道路整備	道路の排水が良くない。年に1回でも必ず全町のごみ(土)を集めて流れるようにしてほしい。町道だけでも(できれば県道も)土、ごみを集めて欲しい。
57	道路整備	歩道、自転車道の整備。健康増進のため利用しても歩道が狭く、あるいは全くなく車優先を実感させられる。
58	道路整備	区画整理により利便性は向上したが渋滞に関しては改善は感じず、むしろ場所によっては酷くなっている。
59	道路整備	横手体育館の駐車場は道路向かいにあり、横断歩道を利用せず横切るので危険。
60	道路整備	道路が狭いので広くしてほしい。
61	道路整備	部落周辺の道路を舗装して欲しい。今泉水処理場の排水が流れている水路の工事の延長をお願いしたい(昨年、一昨年と2年続けて工事してもらったがもう少し続けてやってもらえればと思う)。
62	道路整備	山内PA作業道(中央の道)を広げて整備して欲しい。山内の特産品をパーキングエリアを使って売り出したり、温泉施設へも行けるようにしてもらいたい。
63	道路整備	家族の者が道路のへこみにつまづいて転倒した。通行人が危ないのでへこみがあればすぐに補修して欲しい。
64	道路整備	蛇の崎橋南側の信号は必要がないのでは。
65	道路整備	日中の交通量の多い道路で工事をしないで欲しい。
66	道路整備	旧横手市には町の案内板が多く設けられている。道路等の拡張も旧横手市中心に計画されている。
67	道路整備	特に鳳中～蛇の崎の道路整備は強く進めるべき。
68	道路整備	富士見大橋西側のコンクリート壁に壁画を。

■生活環境分野(4/4)

No.	分類	要約意見
69	除雪体制	ここ最近、毎年の大雪が高齢世帯、農業、ひいては工業や商業にも大きな悪影響を及ぼしているの、除雪対策を頑張っていたきたい。
70	除雪体制	除雪が大変。ブルドーザーとロータリーを毎日やって欲しい。
71	除雪体制	前からすると雪対策は充実してきた。
72	除雪体制	道路への雪出し、雪投げ注意の回覧の書き方を少し考えて欲しい。
73	除雪体制	核家族で共働き、子供が小さく雪寄せが大変。
74	除雪体制	除雪についてここで生活していく限りお金も市民の力も必要な問題。今冬は市外からのボランティアや国への働きかけ等心の温まる情報があり力が湧いてくる思いでした。
75	除雪体制	高齢者夫婦の生活で一番心配なのは雪。人を頼むとお金が大変。車がないとどこにも行けない。
76	除雪体制	融雪溝を促進し、冬期の公道の除排雪が良くなれば歩行者の事故防止になるのでは。
77	除雪体制	流雪溝がないのが不便であり、除雪も来ない。流雪溝を作ってほしい。
78	除雪体制	除雪機オペレーターの教育をしっかりと。出入口に雪塊が置かれていく。克雪の市(まち)らしく対策を。
79	除雪体制	市の財政も大変なので、除雪単価の改正、業者の契約金額引き下げなどがみんなで努力して出来る事を頑張る。

■安全生活分野

No.	分類	要約意見
1	防災	役場(大雄地域局)からの放送(スピーカー)が聞き取りにくい。風向きによっては一言も聞き取れない。
2	防災	防災無線が全然聞こえません。夕方6時に帰宅の音楽等を流してほしい。
3	防災	大雄は停電や断水になりやすく、災害に弱い。他地域より復旧が遅いと思う。
4	防災	安全安心な町を望むのでハザードマップの作成、避難所の周知等にも力を入れて欲しです。
5	消防	消防大会は非常に面倒なため数年に1回でいいと思う。団員より消防署員を増やしてはどうでしょうか。
6	防犯	安心安全で住みやすい横手市にしてもらいたい。
7	公共交通	デマンドタクシーはとても助かっている。
8	公共交通	デマンドタクシーや循環バスはきっと役に立っている。
9	公共交通	デマンド交通はとても良いが場所によってはお得感がない。
10	公共交通	市内はデマンド交通、バスが走っているが、町内によっては対象外となっているところもあるので、高齢者のためにも社協などと連携し考えてみてはどうか。
11	公共交通	デマンド交通、乗合バス等がありますが、車がないと生活できない環境であり運転手の高齢化が進んでいる。安心して免許を返却できるような地域づくりをしてほしい。
12	公共交通	デマンド交通について、デマンド部分がここまでと言われ途中で降りた。乗車時に説明すべき。循環バスのルートを変更して欲しい。
13	公共交通	蔵の町増田はとても良いが、横手地域からのアクセスが分かりづらく、車を持っていないと行くのが困難。観光地が多いのに肝心の交通アクセスが不案内すぎる。
14	公共交通	交通機関が不便。バスの本数が少ない。
15	公共交通	生活弱者と言われていた方々へのサービスは充実しているように思う。スクールバスが運行されている中、羽後交通の利用者は少ない。ニーズに合わせた路線バス運行や低価格の運賃提供など思い切ったアイデアで暮らしやすい環境を作ってもらいたい。全員の方が利用してみたいと思うようなサービスを望みます。
16	公共交通	病院が利用しにくい場所になっているので、一人暮らしの老人や、経済的に苦しい立場の人にとってかなりの問題だと思う。旧市内だけでなく低価格でバスをりようできたり、高齢者用の料金設定があってもいいと思う。
17	公共交通	バス・タクシーの病院へのシステム(料金)。
18	公共交通	都会に出るのにも電車を乗り継いだりで不便。
19	公共交通	循環バスは事情に良いが、大型バスを動かす必要があるのでしょうか。数人しか乗っていない。
20	公共交通	歩きの人の交通機関の便利さの確保。
21	公共交通	公共交通機関を利用して出勤する日を設けてはどうか。

健康福祉分野(1/3)

No.	分類	要約意見
1	健康	病気予防の対策としての健康づくりのための機会や設備が不足している。安く気軽に行ける場所を身近なところを作って欲しい。
2	健康	禁煙活動を増やしてほしい。
3	子育て支援	子育て支援に力を入れて下さい。
4	子育て支援	これからも子育て支援や高齢者福祉の向上よろしく願います。
5	子育て支援	今いる子供たちへの支援を充実してほしい。
6	子育て支援	市民、特に子供たちを大事にしてにぎやかな街になるように。
7	子育て支援	子育てに関する支援の充実をお願いする。
8	子育て支援	働くママの子育て支援環境を整えるための施設を増やす。
9	子育て支援	子育てしやすい環境にしてほしい。女性が仕事をしながら子育てができればいいと思う。
10	子育て支援	安心して子育て出来る環境に期待。母親が仕事と子育てを両立できるシステムが必要。保育サポートの充実、男性の育児休暇取得など優しい街づくりが少子化対策に繋がる。
11	子育て支援	産休・育休について、制度があるだけでなく実際の現場で問題なく取得できるかと言われると、現状は全くそうではない。”子供は国の宝”ということを一人一人が認識できるような働きかけが必要だと思う。
12	子育て支援	若い人が横手市に在住できるように正規雇用で安定した所得と共働きができるように、子育て支援に力を入れて、若い人たちが住んでいくことができる市にと思う。
13	子育て支援	子どもを産み育てることは、妊娠した時からかなりのお金がかかる。その負担が無くなれば、もっと子どもを産む人が増えると思う。産休・育休も遠慮なくとれる仕事場が増えれば良いと思う。
14	子育て支援	学童保育について、働いていないと預けることができないのが嫌だ。祖父母がいても不仲だったり色々な事情がある方がいると思う。制度を見直して欲しい。
15	子育て支援	児童館を充実させて、自然科学関連、外国語関連など。
16	子育て支援	子どもを遊ばせる施設等が少ないように思う。金沢市のようにまちの中心部に子供用の図書館や広い公園、ボランティアによる絵本の読み聞かせや外国人教師による英語絵本の読み聞かせ、子育て中のお母さんたちの情報交換の場になるような施設があれば良いと思う。
17	子育て支援	子育て支援について、利用する側の声にもっと耳を傾けて、施設の利用時間やルールを見直して欲しい。
18	子育て支援	子育て環境については既に非常に高いレベルにあると思う。この点は人口流入の点でも重要であり、維持強化し、広くアピールしていくべき。
19	子育て支援	保育園、学童の手続きの窓口の対応が冷たく、事務的すぎる。手続きと一緒に施設に対する相談、子育ての相談に乗って下さる方がいるとありがたく、心強い。
20	子育て支援	子供を預ける場所がない。
21	子育て支援	児童手当をもらえるのはありがたいが、中3までというのはきつい。子育てに力をいれてるのなら、高校上がりまで支給して欲しい。
22	子育て支援	妊婦健診や子供の検診など無料で実施してもらい大変助かった。引き続き実施して欲しい。
23	子育て支援	少子高齢化、人口減少がこの先加速すると思うので、若者のまち離れを防ぐ対策がさらに必要と考える。
24	子育て支援	少子高齢化は近々の問題であり、毎年の業務を淡々とこなすより、10年後、20年後の未来を考え、税金投入すべきである。

健康福祉分野(2/3)

No.	分類	要約意見
25	子育て支援	人口減少、少子高齢化問題。
26	子育て支援	子供を安心して産み育てられるよう助成金などを出すなどお祝金の検討もお願いします。
27	子育て支援	妊婦健診や子どもの検診など、無料でやってもらい大変助かった。引き続きお願いしたい。
28	子育て支援	今の子育てと昔を比べるとおかしいかもしれないが、甘やかしているように思う。医療費や授業料無料化などあまり賛成ではない。子どもを育てるならそれなりの覚悟があるはず。自分が育った頃は自分の家計を頭に入れて親も子も行動したと思う。今の時代はみな平等なのはいいことかもしれないが、子育ての責任が薄いように思う。経済的に苦しければ国が市が、と思っている若者が増えてきているのではないか。大人も子どもも本当の意味での「生活」を学ぶため、人生の先輩達の話聞く機会があっても良いのではないか。
29	子育て支援	子供の出生率を上げる事が人口増加に直結する。少子化対策にもう少し力を入れて、子育て環境の更なる充実を図ることが重要。
30	医療	福祉、医療の町で良いのでは。
31	医療	安心して通院できる総合病院の設立を。同じ病院で医師同士の情報や研究を支援しながら治療して欲しい。
32	医療	高齢者が増え続ける中、医療機関が絶対的に不足している。また病院の医師の質が低下していると感じる。
33	医療	健康診断について、日時を指定されるが学生だとその日時に行くことが絶対に不可能。自分たちは健康、医療について学んでいるのに健診に行くことができないのはとても残念。学生が健診に行くことができるよう配慮して欲しい。
34	医療	予防接種を全額補助していただきたい。
35	医療	健診等の返信用封筒の切手は個人ごとに張られており、各病院ごとにやっており、医者へ行かなければその分が無駄になる。無駄な費用を抑えた方が良い。
36	高齢者福祉	少子高齢化が進む中介護施設に頼らざるを得ない。施設が決まらなかつたり、認定や金銭面など問題も多いようで心配。
37	高齢者福祉	福祉施設の送迎があると助かる。
38	高齢者福祉	一人暮らし老人への見回りのなど福祉の充実。
39	高齢者福祉	高齢者が多いのでもっと高齢者向けの政策等はないのか。
40	高齢者福祉	高齢化が進み病人が増えた時の受け入れ態勢の充実。
41	高齢者福祉	高齢化が進んでいくこれからの時代、もっと福祉事業の推進が必要なのではないか。
42	高齢者福祉	コンパクトシティという言葉を目にしますが、冬期間老人または除雪の困難な人のための集合住宅があつていいのではないかと思う。
43	高齢者福祉	お金もあまりない年寄りが安く安全に住めるような交通の便利な所にマンションなどを建て、安い家賃で生活していけるようになってほしいと思う。
44	高齢者福祉	一人暮らし高齢者が安心して生活できる共同ハウスや共同生活エリアの整備に努めるべき。
45	高齢者福祉	大曲駅前に仙北組合病院が建て替えられたのを見て、改めて平鹿病院を郊外に建て替えた横手市は将来に対するビジョンが不足していたと思われる。そのことをふまえ、これから増える老人の足をどう確保するかを考えるべき。

■健康福祉分野(3/3)

No.	分類	要約意見
46	高齢者福祉	高齢化について、年金だけでの生活の厳しさを痛感している。包括的な検討をして欲しい。
47	高齢者福祉	除雪など様々な事で困っている高齢者もいるので、時々市の職員が訪問し、相談に乗っても良いのではないかと。
48	高齢者福祉	老々介護や一人暮らしの方をしっかりと把握して欲しい。どこに相談したら良いかさえ分からない高齢者が多いことを忘れずに。
49	高齢者福祉	ただ介護施設を増やすのではなく、介護状態の軽い方や、予備軍的な方に対し、そのもっとも弱い部分を集中的にケアし、介護を受ける状態から抜けられるような取り組みがあると良いと思う。
50	高齢者福祉	福祉に関して、秋田市の方が設備が整い、サービスが充実している。秋田市内まで通わなければならない。横手でサービスがあっても良くない。スキルが伴わない。
51	高齢者福祉	老人に対する補助が多すぎる。
52	高齢者福祉	老人クラブ活動支援や長寿祝金贈呈等は様態を考慮し削減や見直しが必要。
53	障がい者福祉	障がいをもった子どもや人が入所できる施設が少ない。秋田市にあるような医療療育センターのような入所施設が平鹿総合病院のすぐ近くにあればと思う(グループホーム、ケアホームが一元化に促進されていくが老人と一緒に考えてはいけないと思う)。秋田市から比べると障がい者(児)への配慮が意識のレベルで低い。例えば商業施設、公共施設に行っても障がい者用の駐車場は健全な人の車で満杯。障がい者用トイレについてもごく普通の人が使っていたりする。障がい者用トイレについては、重度の人が使うためのベッドがなかったり、車いすが入ると狭く使いづらい施設も多数ある。また、付き添いの人も使いやすい場所になればと思う。産後～高校3年生までの障がいを持った子どもの保護者を対象とした座談会を開催できないか。学校レベルで解決できないこともあるので、市長や福祉課職員が同席して色々な意見交換をする場があった方がよい。障がい者に対する就労サポートを手厚くして欲しい。養護学校の生徒が企業へ実習に行っても雇用結び付く例は少なく、企業側の理解が進まないで障がい者の雇用率は上がらない。障がい者と企業のマッチングを図るサポーター、コーディネーターの育成や配備が急務であると感じる。
54	障がい者福祉	障がい者、子供、高齢者に力を入れて欲しい。この方々が住みやすく元気な社会は誰もが住みやすく幸せな町だと思う。みんなで頼れる明るく楽しい施設があればありがたい。
55	低所得者福祉	母子家庭や生活保護世帯等への支給について、審査方法の見直し、支給の見直しが必要ではないか。
56	低所得者福祉	生活保護を受けている家族が朝から晩まで出かけ買い物している。一生懸命働いて生活保護の家族より収入が少ない事もある。定期的な審査をしているのか。
57	低所得者福祉	横手市では生活保護受給者は引っ越しが出来ない。市営住宅では安心して住めない。引っ越しを許可してもらえるようにしてください。無理であれば部屋の改修等生活環境の改善を図ってほしい。
58	低所得者福祉	若者の車は必需品ですが、あまりに経費が掛かり生活が大変で楽しむお金が不足している。何らかの補助が必要。

■産業振興分野(1/5)

No.	分類	要約意見
1	農林業	農業支援に力を入れて下さい。
2	農林業	農業について、加工分野が強くなればもっと振興を図れると思う。直売所のPR等にも力を貸すべきだと思う。
3	農林業	人口を増やすには若者が増え、仕事があることが定着へとつながる。農林の職を充実させ若者定住を考える。
4	農林業	アメリシロ防除の補助金申請を簡単に。
5	農林業	山菜を本格栽培し6次産業として確立する。
6	農林業	農業に従事しやすくなる工夫があると良い。
7	農林業	農業でどうしたら安定した収入が得られて楽しく仕事ができるか。
8	農林業	県内外だけでなく海外も見据えて横手ブランドの開発、6次産業化の推進。
9	農林業	横手ブランドについては、「横手市」自体の知名度向上が先だと思う。よくわからない自治体のよくわからない取り組みは消費者の購買意欲に響かない。
10	農林業	5年後に減反廃止されるようだが、飼料米の作付拡大もあるようだ。秋田県には飼料工場がないそうなので、工業団地に飼料工場を誘致したらどうか。
11	農林業	豊富にある土地を活かして第二次産業、第三次産業を発展させることができればそれこそ新しい横手ブランドが生まれると思うし、都会の料理店と提携し、その土地の作物を存分に宣伝してもらえれば、横手焼きそばに次ぐ横手名物ができる可能性も十分ありえる。
12	農林業	横手の農産物をもっと情報発信、セールスしてください。
13	商工業	若者の遊ぶ場所が少ない。ラウンドワンやアニメイトなど学生も遊べる場所を作って欲しい。
14	商工業	高齢者だけでなく、もっと若者へ目を向けて欲しい。娯楽施設がない。
15	商工業	仙台市のように若い人が遊べる施設があれば大人も充実すると思います。
16	商工業	若者の娯楽がない。各種イベントも良いが、観光客誘致だけではその時だけのもので終わってしまう。
17	商工業	パチンコ店ばかり多く、子供たちが遊ぶ施設が欠けている。
18	商工業	中高生、大学生、20代の若者向けの娯楽施設を強化するとともに、他県から横手市に定住してもらう対策を行う必要がある。
19	商工業	市内ではえがおの丘のような施設はなく存続できるように黒字経営となる施策をお願いします。
20	商工業	横手市で唯一温泉施設がないのは十文字町だけ。道の駅周辺に温泉施設を考えて欲しい。
21	商工業	新幹線誘致、人を呼ぶイベント、会社の誘致、他地方から移住を働きかける宣伝をする。東北一のリゾート地、カジノをつくり世界の人を呼ぶ。
22	商工業	スパリゾートのような温泉施設をつくり県内県外からもたくさんの方が利用できるようにすれば活性化も図れると思う。
23	商工業	喫茶店やカフェなど若者に人気が出てきていると思う。また、安くて楽しくできるパチンコ店は高齢者や中年にうけると思う。
24	商工業	高齢化で運転できなくなったら近所の商店街が必要。
25	商工業	横手は物価が高い。競争相手がいないので殿様商売の店が多い。

■産業振興分野(2/5)

No.	分類	要約意見
26	商工業	高齢者対策とともに若者の確保も考えなければならない。仕事の求人はもちろん、第2工業団地を利用した親会社(大手の会社や市が管理する大型の老人ホーム)の設立、周辺にはアパートやコンビニ、大学、個人病院など。
27	商工業	お土産品を洗練していく必要があると思います。東京を目標とするよりは仙台や北海道をベンチマークとしてコンサルタントや講習などの補助をした方が良い。
28	商工業	各イベントでお菓子まきやもちまきがあるが、子どもと大人が一緒だと大人が興奮しすぎて危険なときがあった。子どもと大人を分けるなどの配慮が必要ではないか。
29	商工業	温泉施設も価格が安いと利用客が増えると思う。
30	商工業	県外からの客をお迎えした際、横手オリジナルのレストランが少なく、数も減ってきているように思う。昔ながらのそういった店が存続できるよう何か働きかけがあってもいいのでは。
31	商工業	横手市が誇れるものをさらに全国へアピールする必要がある。
32	商工業	20代の自分達にとってあまり魅力のない市。友人と市内で遊んでも一日時間を潰せる場所がない。少しおしゃべりできるようなカフェや体を動かして遊べるラウンドワンのような施設があればいい。また、映画館などもなく、時間がかかっても大仙市や仙台などに行こうと考えてしまう。 隣県の人にも来るようなアウトレットモールや、ラーメン屋だけを集めた一つのビルを作り、色々な店のラーメンを食べてもらったり、毎月メイン食材を決めて各店で新メニューを開発して競い合ったりするのも面白いと思う。
33	商工業	子供と大人が一緒に楽しめるレジャー施設と大きな公園を作って欲しい。雪の問題もあると思うが逆転の発想で冬でも楽しめ、隣県からの集客も出来る施設を作って欲しい。予算内での小規模で楽しくない施設は意味がない。
34	商工業	子供のためだったら親はお金を使うと思うので、子供向けのイベントや地元の保育園・幼稚園が出演するものをやったらいいと思う。
35	商工業	ふるさと村でのイベントをもっと開催して欲しい。使い方ももったいないと思う。中の店や食堂、有料施設の見直しでだいぶ変わると思うが。
36	商工業	もっと遊べる施設が欲しい。パチンコ屋ばかりあってもしょうがない。
37	商工業	駅周辺に人が集まるような魅力がない。どの世代も集まれるような商業施設が充実して欲しい。 経済的に余裕があって消費するのは50代以上の女性であり、その年代をどう巻き込むかだと思う。
38	観光	横手駅は玄関口駅舎なのでもっと横手らしさがあっても良いのではないか。かまくら口とか梵天口とか。
39	観光	もっと地域活性化して秋田をPRして、他の都道府県に秋田の良さを知ってほしい。
40	観光	春の桜が咲いた南庁舎前のライトアップがあっても良いと思う。また、そこを利用して観桜会的な祭りを1~2日くらいやってもいいと思う。
41	観光	後三年合戦は平泉世界遺産とも連携し、堅すぎず遊び心を持って観光につなげて欲しい。
42	観光	「山と川のある町、よこて」がいつの間にか忘れられてきている。横手城をシンボルに横手公園や明永沼の廻りを桜で一杯にし、横手公園の噴水の廻りも休み茶屋の小京都風に趣のある景色にする。 横手川の西岸は「京都鴨川納涼床」のように木製デッキ風にし、市民が涼みにきたり自然に集まってくる憩いの場にして欲しい。その廻りに小京都風の店舗を演出し角館にも勝る京都風横手商店街を造り、商店街の活性化と生き残りを図ることで、集客力を現在の10倍に出来ると思う。

■産業振興分野(3/5)

No.	分類	要約意見
43	観光	観光サイトや案内所でSNSなどでアンケートを取ったら良いのでは。地域外の人が感じる横手市を把握するため。
44	観光	キャッチフレーズとしては今までどおりの各地域の名物、名産の他にオールシーズンの温水プール(特に冬は運動解消のため)。
45	観光	国道、県道、自動車道の出入り口付近に看板、掲示板、のぼり等を何段も繰り返して、またテレビコマーシャルも継続できたらと思う。
46	観光	大曲の花火にあわせて、横手市にも観光客が流れてくるように全国の人に宣伝してください。素敵な所が沢山あるのにアピール不足です。新しい企画があったら一市民として応援したい。
47	観光	イベント開催時、グルメ提供や音楽だけだと来た人が全部受け身で終わってしまうので、飛び入り参加できるようにしては。
48	観光	イベント時の駐車場の問題を来場者の立場に立って考えて下さい。
49	観光	増田の蔵は団体の観光客でにぎわっていた。ちょっとしたおやつぐらいの食べ物が売っていたら観光客も満足すると感じた。
50	観光	これといった特産品がなく、お土産探しに苦労している。また、地元ならではの飲食店も探すことができず、かまくら祭りの際に他県からの来県者にかっかりされた。地元だけで盛り上がり楽しんで祭りが多いうように感じる。
51	観光	毎日のように蔵見学者がいると嬉しい。町の日に観光客が歩いて買ってくれるとすごくうれしい。
52	観光	「ふるさと村」について、建物が近代的でふるさとを感じない。廃校になった小学校を移築して大正・昭和を演出し、ふるさとへ帰ってきたとき昔の小学校を体験できるようにする。ヤギなどの家畜と触れ合ったり、川で魚釣りをしたりできる昔のふるさとを造る。周りは大規模な産直農産物販売所をつくり全国の人へおみやげに野菜とか買ってもらい横手市の農業発展の起爆剤とする。
53	観光	観光分野では周辺自治体や姉妹都市との連携・交流が必要。今の横手市にわざわざ観光に来ることは考えにくいし、一泊するほど見るものもない。県南地域の協力が必要だと思う。
54	雇用確保	高校・大学の卒業生が地元就職できるよう、大企業の誘致に努めることが必要。
55	雇用対策	企業誘致を促進することにより若者の雇用、横手への定住が可能になり人口減少に歯止めがかかると思う。
56	雇用確保	企業誘致及び雇用促進。働く場所がないと県外に職を求めて市町村を離れていく。市が先頭になって企業誘致し雇用促進するべき。
57	雇用対策	働く場の確保。
58	雇用対策	雇用を生むための企業誘致が成功しているとは思えない。
59	雇用対策	学校を卒業後に安心して働ける企業の誘致及び現行企業の活性化が期待できるよう取り組むべき。
60	雇用対策	若い方々が働く意欲を持てる企業の誘致を。
61	雇用対策	若者たちがもっと働ける場所が必要。
62	雇用確保	企業誘致することは重要。若者が働く場は大切。そこから家族がつくられていき子供を増やして欲しい。

■産業振興分野(4/5)

No.	分類	要約意見
63	雇用対策	若い世代は高校卒業と同時に都会へと流れていきます。若い世代の秋田の優秀な人材、秋田が育てた人材を皆他県にとられてしまう様で大変もったいない。Uターンする若者の足場をしっかりと作って頂きたい。
64	雇用対策	雇用促進が最重要。県外に進学しても働く場所が確保できれば人工減少も防げるのではないかと。
65	雇用対策	横手にも若者が定住できる企業があればと思う。若者がいないと何ともなりません。
66	雇用対策	横手の中では働く場所がなく、若い世代は都会に出ている。
67	雇用対策	横手市に帰り仕事につきたくても、職がない。
68	雇用対策	観光や商業施設の充実、また若い人が安心して働き続けていけるような企業、会社、工場が横手市に来てくれることを期待する。 それに伴って子育てがしやすいまちになれば人口も保っていけるのではないかと。
69	雇用対策	横手市が取り組むべきことは人口減に歯止めをかけることだと思う。働く場所、特に大卒の就職先がない。 市内には県内屈指の進学校があり、偏差値の高い大学で学んできたことを、生まれ育ったまちで活かせればと思う。 優秀な横手の子どもたちの勤勉さ、努力することの大切さを知っていること、都会での生活を経て地方との違いを身をもって体験してきたことを活かして欲しい。
70	雇用対策	人口が年々少なくなるのはとてもさびしい。特に若い人が仕事を求めて県外に出るのがとても残念だ。せつかく広大な工業団地も用意されているのだから、企業誘致して若い方が地元で安心して働けるよう願っている。
71	雇用対策	大学を卒業した後で地元を受け入れる体制が必要
72	雇用対策	若い人が学校を卒業しても仕事がないために県外に行かざるを得ない状況を何とかして欲しい。
73	雇用対策	若い世代が進学し地元に戻って就職できる場を整えてもらいたい。
74	雇用対策	働く所を増やし、お金を使いたくなるような魅力ある町づくりが必要だと思う。魅力ある市にならない限り、若い魅力あふれる人材は市外、県外へと流出するのは当然だから。
75	雇用対策	(子どもの)親の働き場所の確保も課題であり、企業誘致だけでなく、基幹産業の農業による雇用も選択肢にあってもよいと思う。
76	雇用対策	大学卒業後、秋田に戻って働けるような雇用促進を希望します。
77	雇用対策	若い人材や働き盛りの年代の方々がわざわざ県外へ行かなくてもある程度余裕のある収入が得られるような職場や企業誘致を考えて欲しい。 生活が潤えば地域に人も密着し活気も出てまたいいアイデアも生まれると思う。横手が全国に誇れる産業、利益を生み出すものは何か真剣に考えていただきたい。
78	雇用対策	高校卒業後、県外に就職すると横手に戻る人はいないと思う。県外からは秋田に遊びには来るが住もうとは思わないという意見が多くある。現状を改善して欲しい。
79	雇用確保	若い人が住んでいけるように雇用増加も大事。その為には企業誘致が有効。条件を緩和して誘致をしないと雪の分不利である。
80	雇用対策	人口減少が一番の問題。仕事がないからの一言につきる。何とか働く場を作ってください。子供たちが帰って来られる場所を作ってください。
81	雇用対策	若い人が都会に行ってしまうことを止めて欲しい。若い人の働く場を多くしてもらうことで人口減が避けられると思う。
82	雇用対策	横手市が今以上に発展するためには、若年層が横手市に残り、支えていくようにしなければならない。大学や専門学校を出て横手に戻りたくても雇用が少なく働きたくても働けない。若年層向けの対策が横手市の発展に繋がる。

■産業振興分野(5/5)

No.	分類	要約意見
83	雇用対策	仕事があっても正規じゃなかったり、資格を要するものだったり、もっと雇用先があればと思う。働きたくても働ける場所がないのがとてもつらい。
84	雇用対策	教育や施設、イベントよりも雇用対策にお金をかけるべき。
85	雇用対策	雇用促進が定住に繋がる。
86	雇用対策	若い人達が仕事がないために戻ってくるできない現状もある。仕事以前に帰ってきてても楽しみがないという声が大きくなっているのではないかとと思われる。
87	雇用対策	40年、50年も前からわかっていながら企業は無いし若者は出ていく。もっと先を考えて市政すること。議員先生方のオーラとカリスマが欲しい。
88	雇用対策	仕事に行きたいけど行けない。(高齢者が)自宅夫婦でできる仕事があったらいい。
89	雇用対策	20代、30代の賃金が低く生活が大変なように思う。夢を持ってない様子が伺える。
90	雇用対策	秋田県は最低賃金が低すぎる。横手市も給料が安いので若者は県外へ出て行ってしまふ。そういった若者が県外へ流出しないよう最低賃金の底上げをして欲しい。
91	雇用対策	賃金面は重要。低賃金で結婚や子供を持つのは大変な事。雇用の場も増え秋田県の賃金も全国最下位県の方から外れるようになれば良い。
92	雇用対策	再雇用制度を実施しているが、若者定住のため職を与えて欲しい。パート、アルバイト、臨時何でも若者に与えて下さい。再雇用は不必要。
93	雇用対策	少子高齢化、人口減少について、一番のネックは就職先だと思う。人口減少を食い止めるために今やるべきことは企業の誘致ではないか。介護施設がたくさんできて、求人が介護職ばかりになってしまつては選択肢がなくなる。
94	雇用対策	働く場所がない。あっても保証のない職場で賃金も低い。そのため若者は県外へ出て行き、残るのは高齢者だけ。 大手企業を誘致することで若者の市外流出を防ぎ、安定し安心のできる生活ができるよう今まで以上に考えてもらえれば、活気のある横手市になるのではないか。
95	雇用対策	若い人達の年収100万円以下の最低賃金では生活できない。一生懸命働いても賃金やボーナスが上がらなければ定着しない。
96	雇用対策	働く場が無くては結婚もできず子どもも産まれない。
97	雇用対策	予防的な介護サービスへの取り組みから雇用が生まれたりすればいい。
98	雇用対策	福祉従業者の賃金を上げるようにして欲しい。
99	雇用対策	元気な高齢者も高齢者の目線で仕事(地元で役立ち、本人も生きがいのある)のできる環境があるといい。
100	雇用対策	若者が遊べる場所がほとんどない。働き場所も少ない。大学や専門学校などの学校も少ない。そのような理由で地元を離れる人が多いんだと思う。もっと活気のある街づくりをして欲しい。

■教育文化分野(1/2)

No.	分類	要約意見
1	学校教育	学校統合により残った建物を再利用して何かできることを考えてから次のことをしたらよいのではないかと思う。
2	学校教育	学校の統廃合も進んでいるが、その後の学校の利用方法を検討したり、すぐに壊さない方向性も検討して欲しい。
3	学校教育	学校統合によって、もともと家の遠い生徒たちが更に通学距離が遠くなってそれが負担になるのではと少し心配している。
4	学校教育	学校統廃合により通学距離が長くなり子供たちが大変。
5	学校教育	学校統合は闇雲に進めず、学校が地域の拠りどころであることをもっと認識すべき。国内にはもっと子供の少ない学校はいくらでもある。
6	学校教育	統廃合が進み学校が大きくなることにより、地域と学校の繋がりや人との繋がりが薄くなってきている。統合は慎重に行うべき。古い学校では改修が必要であり、特にトイレは早急に対策をお願いしたい。
7	学校教育	不平等な学校建設。学校統合は仕方ない部分であるが学校建設の在り方に不平等感を覚えます。新築と増築の違いがある。
8	学校教育	横手市の活性化及び若者が多く集まる方策として秋田大学の一学部を誘致した方がいいと思う。それにより人口も増え、交通、不動産、商店街など経済的な需要が多くなるのではないか。
9	学校教育	地元商店の後継者たちが大学とか卒業しても帰ってきてくれるようなまちづくりを。若い人にはふるさとに戻って来るような教育を小さい頃からしていかなければ。
10	学校教育	小中学生が少しでも農業・工業に魅力を持つようにすることで、早くから育てる喜び、作る喜びを知って自立につながり、社会に貢献するようになる。
11	学校教育	小学校の下校時に親の車で送迎が増えており、親の負担が増えている。学校からの距離により区切られているようだが、できれば希望者は全員乗せてもらえるとう助かる。安全対策の面からもスクールバスの範囲を広げて欲しい。
12	学校教育	横手市は教育のまち。金銭面だけでなく長期的な判断を。
13	学校教育	学校給食費の未納対策として、支援費が個人に入る前にその分を差し引くなどして必ず未納が無くなるようにしてほしい。
14	学校教育	教育費の軽減。
15	学校教育	子供達に誇りの持てる教育の徹底を(修身、教育勅語)。祝祭日には国旗掲揚をするため、国旗購入に補助金制度を。
16	学校教育	冬期の通勤通学に時間がかかるので、サマータイムの逆のようなものを実施して欲しい。
17	学校教育	子供はもっとお年寄りと語らうことで生きる大切さ、希望が見えてくる。
18	生涯学習	十文字文化センターや体育館などが古すぎて何とかならないものか。
19	生涯学習	一番利用しやすい500~600人程度の中ホール会館が欲しい。さびれたまちの活性化のために中心地にあれば良いと思われる。
20	生涯学習	図書館に小さい子が騒いでも周囲の迷惑にならないような部屋があればいい。
21	生涯学習	図書館8館をそれぞれに特色を持たせてほしい。
22	生涯学習	平鹿図書館の司書の方々が喜ぶような取り組みをたくさんしてくれているので、本当にありがたい。
23	生涯学習	大雄の図書館は本が少ない。読みたい本がない図書館は意味がない。

■教育文化分野(2/2)

No.	分類	要約意見
24	芸術文化	博物館も文化会館、資料館がないのは残念。美入野地区が秋田県の米(稲作)の発祥の地と言われており、そこに石碑を建て、稲作記念館を建て稲作文化を県や国に発信してほしい。総合的な物でなく稲作に関するものを深く掘り下げた資料館の建設をお願いします。
25	芸術文化	国民文化祭中に市内で開催される一覧表をお願いします。
26	芸術文化	文化的な事業をもっと増やして下さい。本物に接する機会を多くしてください。
27	スポーツ	ドーム型多目的施設を建設してほしい。県北、中央にはあるが県南にはない。冬期に土に触れる事は大事な事ではないでしょうか。
28	スポーツ	市内の野球場、グランドゴルフ場の施設整備は素晴らしく満足。しかしテニスコートは不満。大鳥公園には6面のクレート跡地があります。そこに人工芝のコートを整備してみてもどうか。統合後の中学校には立派な人工芝コートがあるので、小学生や高校生、車を持たないシニア世代が利用できるコートを。
29	スポーツ	グリーンスタジアムよこてのボールカウントの表示が旧来のままなので、早急に改善して欲しい。スポーツ立市宣言の名が泣く。
30	スポーツ	冬期間の屋外運動施設づくり。冬期間の運動が全くできないような状況にある。

■住民参画分野(1/5)

No.	分類	要約意見
1	地域づくり	地域格差がある。もっと平等に発展するように願う。
2	地域づくり	市(横手)中心の行政に傾いているようで、他の(旧)町村にも十分な配慮が欲しい。
3	地域づくり	合併しても旧来の町村は何ら特徴がなく淋しい。
4	地域づくり	他市町村から転居してきたが、メリットがあまり感じられない。
5	地域づくり	住みたい、戻ってきたいと思えるような町であってほしい。
6	地域づくり	これからの町内活動はどうしていけばいいのか。
7	地域づくり	市内だけが活性化するのではなく、山間部にももっと目を向けたらいいと思う。
8	地域づくり	横手地域ばかりに集中するのではなく他の地域の活性化にも期待したいと思う。
9	地域づくり	合併してよかったと思える事が何もない。
10	地域づくり	隣近所との繋がりが薄い。町内の祭りもなくなり活気がないところに若者が集まるはずがない。若者の活躍の場の少ない所は発展は厳しい。都会とは違うので横手らしい若者の育て方をしてほしい。
11	地域づくり	旧市と郡の一体感がない。力と金のある年寄りに若者が振りまわされている。
12	地域づくり	地域の特性を活かし、より住みやすい所にしてほしい。子供たちが希望の持てる市への発展を願う。
13	地域づくり	年代を超えた人との付き合いがほとんどない。大型店ではなく、個人の店で相手と会話ができる商店街は作れないのでしょうか。
14	地域づくり	生まれも育ちも横手市、学生生活が終わっても最終的には横手市で職に就きたい。理由は伝統行事のお祭りです。送り盆祭りに参加しており思い入れが深い。地元の行事に熱心な若者がいる事を忘れないでほしい。若い人が伝統行事から離れていかないよう、また再度戻って来られるような環境作りが大切だ。
15	地域づくり	若者にとってはつまらない町。もう少し活気のある町を目指すことはできないでしょうか。
16	地域づくり	計画は立派でも実施してその効果が見れなければ何もならない。新市長になったのだから思い切っていくにすれば人が集まり定住し、人口が増えるのかを真剣に取り組んでほしい。
17	地域づくり	集団お見合いなど横手市だけに限らず湯沢市、羽後町、大仙市など広域で開催すればいいのでは。
18	地域づくり	もっと若い世代の方が興味を持ち自然と集まってくるような市になれば良い。
19	地域づくり	男女の出会いの場を多く企画して頂きたい。
20	地域づくり	生まれた時から横手市に住んでいるがいずれこの地を離れようと思う。雪の降る地は不便だから。横手市は大好きです、今後もこの地に残りたくなるようなまちづくりをお願いします。
21	地域づくり	過疎地の10年後がとても不安。
22	地域づくり	住居表示から”町”を除去(例:横手市増田)。
23	地域づくり	コミュニティデザインという考え方も取り入れて欲しい。
24	地域づくり	IT化が進み社会から取り残された状態です。教えてもらう機会があればいいなと思う。
25	地域づくり	交通マナーが悪い。
26	協働のまちづくり	みんなで共存していける明るい市になっていければ良い。

■住民参画分野(2/5)

No.	分類	要約意見
27	協働のまちづくり	若い方々が活躍できる横手市に。この街を良くしようとする若者がたくさんいる。祭りやイベント行事、若者しか出来ないことなどがあれば良い。
28	協働のまちづくり	より良い横手市になるよう協力できる事があれば協力していきたい。市長はじめ市職員には仕事に励んでもらいより良い横手市をつくって頂きたい。
29	協働のまちづくり	市民も行政に甘える習慣を断ち切り、可能な限り自立や地域内での協力活動等がより重要になると考える。 また、NPOも大いに活用し、問題解決に市民全員が連合できるまちづくりができれば不可能も可能になる部分があると思う。
30	協働のまちづくり	まちづくりメンバーや児童委員など市の様々な会に手を挙げて参加しているのはいつも同じ方々なので、考えもいつも同じ。それでは何も変わらないと思う。
31	協働のまちづくり	親が行事や登下校の監視といったものに参加しやすくなるよう企業にアピールすべきである。親子応援ステッカーを作り、親子を応援する企業として認定し掲示できるように。
32	協働のまちづくり	市長との対話の機会があれば市民の意見が反映されていくのではないかと、地域ごとに開催してほしい。市長に限らず部長課長級がもっともっと地域に出向き意見を吸い上げる取り組みを期待したい。
33	協働のまちづくり	市の計画は一步遅れて進んでいる。自分の町が消えてしまうのではないかと心配。子供たちを横手に留めておくためにはどうしたらよいか課題。
34	協働のまちづくり	地域の要望を市へ伝える機能を行政協力員に併せ持たせる事が出来れば市民の声が届くのではないかと。
35	協働のまちづくり	景観まちづくり委員会のメンバーの構成年齢が偏り過ぎ。今後の若い世代の居住者を呼び込む事が出来る様もっと若い世代のメンバーを増やして意見を取り組むことが必要。この景観を後世に残していくためにも。
36	協働のまちづくり	行政サービスが過剰にならないように。行政でやるべきことと市民個人でやるべきことを分かり易く具体的に説明してほしい。
37	協働のまちづくり	市民の元気に結びつくイベント等の企画、誰でも参加できて楽しめるものが近くにあり生活に潤いがあればいいと思う。
38	市役所の体制	少子化対策として行政が婚活に真剣に努力して欲しい。
39	市役所の体制	少子高齢化、人口減少に少しでも歯止めをかけるような大胆な施策に期待したい。
40	市役所の体制	少子高齢化、人口減少対策に関しては市の最重要課題と思うので、10年後と言わず20～30年後を見据えた施策が必要と思う。
41	市役所の体制	少子化企業誘致の担当課を新設して、担当職員が営業活動を実施するような対応をして欲しい。
42	市役所の体制	市職員教育をもっとしっかりと。市民に愛され、親しまれ、秘密を守る職員教育をしてほしい。
43	市役所の体制	スピード感が全くない。
44	市役所の体制	市役所は昼食時に行くと機能していない。気軽に行けるような環境を。
45	市役所の体制	窓口対応があまり良く感じない。マナー教室でもやったらどうか。
46	市役所の体制	職員の仕事への取組みに差がある。
47	市役所の体制	職員の資質向上には大いに賛成。臨時職員(市役所以外)の対応の酷さに呆れたことがある。惰性や前例、慣例にとらわれない行財政の大改革を望みます。
48	市役所の体制	市職員数が減り、今までのようなサービスが出来ない。職員の負担が増えて四苦八苦しているように思える。改善すべきところは改善してほしい。

■住民参画分野(3/5)

No.	分類	要約意見
49	市役所の体制	優れた施策を行っている自治体へ職員派遣してそのノウハウを学んで横手でも実行してほしい。人材育成に力を入れて欲しい。
50	市役所の体制	合併し横手市になってよかったと思えるようなまちづくりを市職員一丸となって頑張ってください。
51	市役所の体制	市の職員がPTAや学校行事に仕事を抜けてよく参加したり、市の封筒を部活動の連絡用に使ったり、職場で私用のコピーをしたりとありえないことが多すぎる。無駄な人材が多いのでは？
52	市役所の体制	市職員の人数が多すぎるのでは。暇そうにしている職員の給料をもっと別の方に回してほしい。
53	市役所の体制	一番大事な玄関口である窓口業務にあたる職員教育を徹底して、行きやすい市役所になることを希望します。
54	市役所の体制	市職員個々の窓口対応や仕事ぶりは全く問題なし。ただ即答できないような要望に対する対応は残念な例が複数回あった。要望等を受けた場合の内部での取り扱い及び対応手順がないように思えます。動きがわかる工夫を。
55	市役所の体制	市職員の数が多すぎる。
56	市役所の体制	今まで行政が担っていた仕事を出来る範囲で市民に任せの方が良い。
57	市役所の体制	市の手続きが本庁舎と条里とにまたがって1回で終わらないことがある。交通の便がないと移動できない。
58	市役所の体制	市職員の時間外や土日の対応について、柔軟に対応して欲しい。
59	市役所の体制	臨時職員はそんなに必要なのか。雇用促進の意味が違うと思う。
60	市役所の体制	ある地域局ではお客様がいるにもかかわらず、お茶や菓子を飲食していた。見えないところであるよう改善して欲しい。
61	市役所の体制	市の機構が少し分かりづらい。嘱託であっても職員なのだから公民館長が誰であるか周知するべき。
62	市役所の体制	市役所も土日やってくれたらとても便利なのだという人が多い。コンビニも24h365日なのに、市役所が昔ながらの土日休みは時代にそぐわないと思う。
63	市役所の体制	行政職員の人件費、コストカットするべき。
64	市役所の体制	10年後、人口、財政ともに厳しいというのが市職員に必死さがない。議員を含めて安定した生活があるからか。民間とは違って生活保障がされている。思考の狭い人が多い。様々な発想が必要かも。
65	市役所の体制	大幅な人事異動の結果、全然機能されていない。
66	市役所の体制	病院や市役所窓口受付も客商売であることを考えて欲しい。
67	市役所の体制	市長はじめ職員が元気なのが大変良い。
68	市役所の体制	行政サービスの無駄が多すぎ。
69	市役所の体制	市の窓口の問い合わせ先を探しやすくして欲しい。
70	市役所の体制	市と関係機関との連携は密にしてほしい。
71	市役所の体制	市長への手紙は毎月どのくらい届くのでしょうか。また、返事は市長が出されるのでしょうか。
72	市役所の体制	市長に直接伝える事が出来る取り組みが必要。
73	市役所の体制	市に要望しても予算がないからとの返事が来る。

■住民参画分野(4/5)

No.	分類	要約意見
74	市役所の体制	色々な補助金を受けている人が同一に感じる。情報が一般に伝わらない。
75	市役所の体制	国のなすべきこと、市町村のなすべきことを区別し、限られた財源の中でプライオリティの順位を明確に示すべき。
76	市役所の体制	他県民を採用せず、横手住民も採用をするようにしたらどうか。
77	市役所の体制	市の事業遂行に関して、総務、財務を除き事業の成果が見えない、もしくは感じられない。そのような事業については目的と手法の見直しをお願いしたい。
78	市役所の体制	地域協議会について、「回覧」で「今回の案件は何々について」としか書かれていないのは不親切。その案件について話し合われた内容についての報告が欲しい。
79	市役所の体制	公共活動等をもっとアピールした方が良い。
80	市役所の体制	地域局の統廃合。統合(十文字・増田)、(雄物川・大雄)→支所へ。廃止(横手・大雄・山内)。
81	市役所の体制	沢山の方が築き上げてくれたものが十分発揮された横手市は素晴らしい。他の市町村にその良さは伝わっているのでしょうか。また、住んでいる人も知っているのでしょうか。
82	市役所の体制	ふるさと納税をもっとうまく利用して魅力あるセールスを。
83	市役所の体制	ふるさと納税に特産品をつけたらいいのではないかと。名産品を知ってもらえる機会にもなるし今より寄付金が集まり様々な支援や対策に使用できると思う。他市町村を参考にしてもらいたい。
84	市役所の体制	広報誌のグレードが合併当時より下がったのは残念。
85	市役所の体制	広報正月号は元旦に配布されるようにしたら。。
86	市役所の体制	市ホームページについて、どこに何があるのかわかりづらい。
87	市役所の体制	広報誌は、月1回で良い。税金の無駄使いと思う。
88	市役所の体制	何事に関してもすぐ「ホームページを～」とあるが、パソコンのない家庭には不利なこと。
89	市役所の体制	横手市民の50%以上の方に市の情報や取り組みがわかるようにしてもらいたい。
90	市役所の体制	インターネット、ホームページなど見る事の出来ない人も多くいる事を忘れてほしい。
91	市役所の体制	インターネットがなく市のホームページを見ることはできない。市報だけが頼りの者として、もう少し読み応えのある文面を期待している。
92	市役所の体制	市報について、財政難の中カラー刷りの広報はいらない。もっと簡素に情報をコンパクトにまとめて欲しい。
93	市役所の体制	パソコン等ないので、使っている人より情報不足。
94	市役所の体制	市の広告、PRが一部の特定の人だけで盛り上がっている気がする。情報に乏しい人達、参加したくても知らない人たちとの差がある。
95	市役所の体制	詳しくはHPで、は無い人にとっては見れないので考えて欲しい。
96	市役所の体制	市の広報などお知らせのチラシが多すぎる。要点を押さえて少なめに配布した方が良い。
97	市役所の体制	市長が交代し、市民の意見に耳を傾けているという姿勢がうかがえ期待しております。
98	市役所の体制	地域づくり協議会等が不透明。人選に関しては公平に広く募集すべき。
99	市役所の体制	不要な地域局を閉鎖したらよい。

■住民参画分野(5/5)

No.	分類	要約意見
100	市役所の体制	施策の評価は第三者機関で判断して頂きたい。特に地域づくり協議会の評価を地域局の部署で判定しているようだが不自然。
101	市役所の体制	市内に良心的な婚活の紹介所があれば市報に載せて欲しい。
102	行財政	これ以上市民の負担が増えると厳しい。
103	行財政	財政難が続く中、遊休施設の見直し、存続の判断をしていただきたい。維持管理上問題がある施設が点在している。
104	男女共同参画	子育て支援も大事だが、産後、育休後の職場復帰も大事。会社によってはあまりよく思われず不当な扱いをされる人もいる。
105	その他	固定資産税が高い。

高校生まちづくりアンケート調査の自由記載の分類

大分類	中分類	項目	意見数	意見総数	割合(%)	
生活環境	自然環境	環境保護	5	30	24.6%	
	ごみ対策	ごみ対策	2			
	温暖化対策	温暖化対策	1			
	道路整備	道路整備	1			
	除雪体制	除雪体制の充実	8			
	公園整備	公園整備	1			
	都市基盤整備	駅前環境整備	駅前環境整備			5
		携帯、ネット環境整備	携帯、ネット環境整備			3
その他		その他	3			
住宅環境整備	土地不足	1				
安全生活	公共交通	電車、路線バスの利便性向上	4	6	4.9%	
	防災	山菜採り、除雪の安全対策	2			
健康福祉	健康	自殺対策	1	4	3.3%	
	子育て支援	子育て費用	1			
	障がい者福祉	障がい者支援	1			
	低所得者福祉	生活保護	1			
産業振興	農林業	6次産業の活性化	1	29	23.8%	
		若者の娯楽施設の充実	12			
	商工業	街の活性化	2			
		B級グルメ	2			
		その他	1			
	観光	施設の充実	1			
		市外へのPR	4			
その他		1				
雇用対策	働く場の確保(企業誘致)	5				
教育文化	学校教育	高校生と高齢者との交流	2	18	14.8%	
		教育環境について	2			
		その他	2			
	生涯学習	図書館の充実	2			
	芸術分野	市民会館の充実	2			
スポーツ	スポーツ環境整備	8				
住民参画交流	地域づくり	活気あふれるまちづくり	7	20	16.4%	
		その他	1			
	市役所の体制	アピール不足 など	10			
その他	その他	2				
その他	その他	アンケート内容について	4	15	12.3%	
		前向きな意見(励ましなど)	8			
		その他(上記以外の意見など)	3			
合計			122	122	100.0%	

○高校生まちづくりアンケート回答数 644

○自由記載数 103

○分類別意見数 122

《横手市まちづくりアンケート 高校生 自由意見》

■生活環境分野

No.	分類	要約意見
1	自然環境	自然豊かで暮らしやすい。環境を保っていききたい。
2	自然環境	環境面、安全面にもっと力を入れていくべきではないか。
3	自然環境	緑が多く、空気がきれいで、食べ物が美味しい。人も良くて横手市はとても住みやすい。
4	自然環境	町中にもっと木を増やしてほしい。
5	自然環境	川が汚い。もっときれいにして魚が住めるようにしてほしい。雄勝の様にきれいな川を目指して。
6	ごみ対策	ゴミ拾いボランティアを増やす。
7	ごみ対策	市内道路にごみが落ちていて汚いイメージがある。対策にもっと活発に取り組めるようにしてほしい。
8	温暖化対策	夏を快適に過ごせるように市で補助を。
9	道路整備	県道、国道の整備を徹底的に行ってほしい。
10	除雪体制	雪が少ないのに除雪車が走るのは無駄。
11	除雪体制	雪寄せ、除雪を強化してほしい。
12	除雪体制	除雪をもっとまじめにやってほしい。
13	除雪体制	除雪体制を充実させてほしい。
14	除雪体制	かまくらが終わった後の雪の処理が雑。取り壊し後の処理がされないため通りづらい。
15	除雪体制	テニスコートの雪寄せが遅い所がある。もう少し早めに雪寄せしてもらえると嬉しい。
16	除雪体制	除雪が悪い。
17	除雪体制	除雪が遅れない対策をとって欲しい。
18	公園整備	公園や道路をつくったらその後の整備をしっかりやってほしい。
19	都市基盤整備	駅前が静かすぎ。駅前をにぎやかにしてほしい。
20	都市基盤整備	横手駅周辺を整備して人が集まるような場所に。
21	都市基盤整備	横手駅前の過疎が進んでいて不便です。
22	都市基盤整備	駅周辺のまちづくりは今後も発展していくのか。
23	都市基盤整備	横手駅東西を自転車で横断できる廊下を作って欲しい。時間が短縮され効率が良い。
24	都市基盤整備	中心部以外も中心部と同等なにぎわいを望みます。
25	都市基盤整備	人口や建造物が少ないところが不満。
26	都市基盤整備	空き地などを活用し横手市に人を集める努力を。
27	都市基盤整備	携帯電話電波の一部弱い所があるので改善してほしい。
28	都市基盤整備	地域によって光ファイバーが来なくて不便。電波が悪くスマホの快適さが失われている。
29	都市基盤整備	スマホの電波が悪い。電波の強化を。
30	住宅環境整備	家を建てる土地がない。

■安全生活分野

No.	分類	要約意見
1	公共交通	電車とバスの時刻をなるべく合うようにしてほしい。特に冬期間。
2	公共交通	電車やバスといった公共交通機関が少なく不便。
3	公共交通	交通の便を充実させてほしい。
4	公共交通	バスの便をもう少し増やしてほしい。
5	防災	山菜採りや雪下ろしで怪我や死亡する人が多いので、もう少し安全対策をした方がよい。
6	防災	山菜採りで遭難、雪下ろしでの事故などの安全対策を呼びかけて被害を減らせるように。

■健康福祉分野

No.	分類	要約意見
1	健康	自殺対策が足りない。
2	子育て支援	子育て費用にお金をかけるべき。
3	障がい者福祉	障がい者のために障がい者の視点になって考えて欲しい。
4	低所得者福祉	生活保護について今なお困っている人が多い。

■産業振興分野

No.	分類	要約意見
1	農林業	6次産業化を活性化させ仕事を増やし人口減少対策に。
2	商工業	娯楽施設の誘致をお願いします。
3	商工業	若者が興味を持ちそうなお店を作って欲しい。
4	商工業	鍛冶町や四日町などかつて賑わっていた商店街を復活させたい。湯沢市の「まちなかゼミナール」を参考にしてほしい。一部で盛り上がる横手ではなく、全体で盛り上がるようになって欲しい。
5	商工業	賑わいが足りない、もっと活性化するべき。
6	商工業	商工業の発展が人口増加につながる。
7	商工業	お土産用の横手やきそばが美味しくない。グルメとして売り出していると認識されるととても残念。
8	商工業	新たなB級グルメを考えて欲しい。
9	商工業	企業誘致や観光地、娯楽施設をつくらないと横手はどんどん廃れていくと思う。
10	商工業	大型ショッピングセンターやゲームセンターを作って欲しい。
11	商工業	イオンなどのショッピングモールや人がたくさん遊びに来れる建物があればよい。
12	商工業	イオンが隣り合っているのは不自然。
13	商工業	コンビニを増やしてほしい。
14	商工業	ボーリング、カラオケなどのお店が欲しい。
15	商工業	遊ぶ所がほしい。
16	商工業	遊ぶ所を増やしてほしい。
17	商工業	パチンコ店が多すぎる。若者が楽しめる店が少ない。
18	商工業	パチンコ店以外のものを増やしてほしい。
19	観光	市民も観光客も楽しめるような施設があった方が活発になると思います。
20	観光	横手市をもっと有名にしてほしい。
21	観光	「伝統」や「歴史」を利用した観光戦略だと、他県には太刀打ちできない。「伝統」にかわる何か一つ大きな特徴のある市にならなければいけない。
22	観光	増田の蔵をPRするべきだと思う。その町にしかできないことを考える。
23	観光	かまくらをもっとアピールしてください。
24	観光	アイドルをつくれれば横手は発展する。
25	雇用対策	雇用の場の増加。
26	雇用対策	横手市でできる仕事が多く職種が限られている。職場や大学等を増やしてほしい。
27	雇用対策	無理な町興しやブランド開発よりも、少子化対策や雇用問題の解決を図った方が良い。
28	雇用対策	大手企業を横手に誘致してほしい。
29	雇用対策	市内に企業誘致をして雇用促進に努めてもらいたい。

■教育文化分野

No.	分類	要約意見
1	学校教育	高校生と高齢者の交流を増やすべき。
2	学校教育	老人に自然と優しくできる教育を増やしたらどうか。
3	学校教育	市内の高校に通う生徒たちの活動に目を向けて欲しい。
4	学校教育	教職員の配役について改善すべき。例えば他校から異動してきた教師を単独で部や委員会の担当にする体制には違和感がある。
5	学校教育	学校にクーラーがあると良い。
6	学校教育	小中学校での交通ルール(自転車)の指導をしっかりやってほしい。
7	生涯学習	四日町の図書館は規模が小さく蔵書も少ない。
8	生涯学習	図書館などの施設が充実している。
9	芸術文化	市民会館の駐車場が狭い。人が集まった時の車の出入りが危ない。新しい市民会館を作ることを考えて。
10	芸術文化	市民会館も設備が十分整っているとは言えない。演奏団体が来ても音響、広さ、立地などで満足できない所が多々ある。
11	スポーツ	スポーツ環境の整備。
12	スポーツ	映画館、体育館、プールなどが欲しい。
13	スポーツ	スポーツできる施設や場所が欲しい。公共のスポーツ用具が壊れているので直してほしい。
14	スポーツ	テニスコートを作ってください。
15	スポーツ	テニスコート、体育館を作ってください。
16	スポーツ	テニスコートが必要。
17	スポーツ	プール施設。セントラルではなく中高生が安く利用できるもの。
18	スポーツ	スポーツ(バスケットなど)施設を増やしてほしい。体育館を新しくしてほしい。

■住民参画交流分野

No.	分類	要約意見
1	地域づくり	横手市には大きな施設や場所があるので家族全員で参加できるようなイベントを行えば活気が出てくると思う。
2	地域づくり	温かく活気あるれる町にしたい。
3	地域づくり	挨拶をしても帰って来ない。中には返して下さる人もいますがごく一部。挨拶を返すという当たり前の事が出来ないのでしょうか。人との繋がりという面でかけている。
4	協働のまちづくり	横手地域局以外の地域が暗く活力が足りない。普段から住民と接するべき。
5	協働のまちづくり	横手を良くするには市民一人一人の自覚が必要。
6	協働のまちづくり	世界中に誇れる市にしたい。
7	協働のまちづくり	横手市は過ごしやすい暮らしやすいと思うのでこれからの工夫次第でどんどん良くなる。
8	協働のまちづくり	横手市が活性化すれば秋田県全体の活性化になる。
9	市役所の体制	イベント開催の呼びかけが少ない。学校や自治体で宣伝し口コミで広めていければ良い。
10	市役所の体制	地域情報、イベントについてもっとアピールするべき。
11	市役所の体制	市の情報を見る機会をもっと増やしてほしい。
12	市役所の体制	降雪時のJR情報をネットなどで公開してほしい。
13	市役所の体制	市外に住んでいるため情報が届きづらい。PRに力を入れてみたらどうでしょうか。
14	市役所の体制	市外には横手市の情報が届かない。若者が活動に参加できるような環境づくりも必要。
15	市役所の体制	市が行っている施策などが市民にあまり理解されていない。
16	市役所の体制	横手市民であっても、政策がわからない。もっと市民に情報を流して市全体を巻き込むべきだと思います。
17	市役所の体制	横手市のPR活動はいつも素晴らしい。
18	市役所の体制	横手の良い所を市外、県外の人に分かってもらえる様な政策を進めていくべき。
19	市役所の体制	イベント等の宣伝が少ないと思う。
20	市役所の体制	イベントの情報が伝わってこない。ネットだけでなく新聞や広告にも載せて欲しい。

除雪に関するアンケート調査の自由記載の分類

大分類	中分類	項目	意見数	意見総数	割合(%)
生活環境	住宅環境	住宅環境について	1	158	86.8%
	道路整備	道路破損の改善	1		
		通学路の確保	1		
	除雪体制	玄関先の雪塊の不満	18		
		流雪溝の不満	12		
		除雪回数の不満	5		
		除雪時間帯の不満	9		
		通学路、歩道の除雪について	7		
		道路除雪について	29		
		地域による除雪技術差について	9		
		除雪業者について	20		
除雪時の要望について		46			
安全生活	防災	防災について	2	2	1.1%
健康福祉	ボランティア	除雪ボランティアについて	7	18	9.9%
	高齢者福祉	除雪費助成について	6		
		要望など	4		
障がい者福祉	障がい者の除雪について	1			
住民参画交流	市役所の体制	市役所の体制について	4	4	2.2%
合 計			182	182	100.0%

○除雪に関するアンケート回答数 1,082

○自由記載数 161

○分類別意見数 182

《除雪に関するアンケート 市民 自由意見》

■生活環境分野(1/6)

No.	分類	要約意見
1	住宅環境整備	冬期間の集合住宅。
2	道路整備	雪がなくなった後の除雪車のチェーンによる道路の破損を改善して欲しい。
3	道路整備	旧13号線もとても交通量が多いので、道路自体を広げ、融雪溝を作るか、子供達の通学路の確保、ガソリンスタンド付近で毎年子供が側溝に落ちるのでルートの見直しが必要。
4	除雪体制	連日、家の前に雪を置いて行く「除雪」だけでなく、他の方法を考えるべき。路地は水を使った融雪の方がいい。
5	除雪体制	除雪車が家の前庭に毎回雪を飛ばしてよこすので困っている。
6	除雪体制	車庫の前の山積み除雪を軽減してもらいたい。早朝作業にあたる人が自宅前を作業するような気持ちでして欲しい。
7	除雪体制	ブルドーザーにより押し出された道路上の雪は重いので、自分たちで片付けていくべき。
8	除雪体制	除雪時玄関前に雪の固まり等大きなものがおかれていないことを希望します。
9	除雪体制	除雪車のドーザーをやめてほしい(雪の塊を置かれていくと大変)。
10	除雪体制	一人暮らしの老人の家の前に大きくて岩みたいなのが置かれると行くも来るもできません。
11	除雪体制	重機で道路から寄せられた排雪が一番大変である。
12	除雪体制	道路のかたい雪が周りの家よりも多く排雪溝もなく苦勞している。
13	除雪体制	除雪の際家の前に雪を置いていかないでほしい。
14	除雪体制	除雪の際、雪の固まりを家の前に置いていかないでほしい。
15	除雪体制	雪を寄せた場所に排雪をする除雪車があるのでやめてほしい。
16	除雪体制	除雪において、苦情を言った人の家の前には雪を置かないが、言わない人の家の前に置くようになるのはやめて欲しい。
17	除雪体制	家の前の雪の固まりが多いが良い方法はないか。
18	除雪体制	1人暮らし老人だけの家庭だと、朝ブルドーザーで雪を置かれていくのが大変。
19	除雪体制	朝除雪した所や建築中の敷地に多量に雪を置いていく。
20	除雪体制	住宅街は努めて玄関先に雪の塊を置かない様にすべき。
21	除雪体制	除雪の際に個人の土地に雪を置いていく。お互い様で仕方ないと思うが、固定資産税の免除などの支援をして欲しい。
22	除雪体制	堰の水を勝手に止めたり流れを変えたりする所があり全く雪寄せが進まない。
23	除雪体制	融雪溝の整備に力を入れてもらいたい。
24	除雪体制	流雪溝があるのは助かっているが、時間制限があるので、仕事を抜け出せない場合に大変困る。
25	除雪体制	増田の流雪溝のない道が問題。
26	除雪体制	雪がたくさん降り続けた日に限って流雪溝が使えないことが多々あり困っている。

■生活環境分野(2/6)

No.	分類	要約意見
27	除雪体制	流雪溝を常に流してほしい。
28	除雪体制	融雪溝を作ってほしい。
29	除雪体制	流雪溝の流量に地域差がある。
30	除雪体制	流雪溝の流量を増やしてほしい。
31	除雪体制	雪が降り始めの時にかぎって流雪溝が使えない(川の工事の為)。
32	除雪体制	流雪溝の流す時間が短い。
33	除雪体制	流雪溝と除雪車の稼働時間が重なっているようだが、早い時間や遅い時間の除雪もして欲しい。流雪溝が流れなければ除雪車も動かないでは大変。
34	除雪体制	除雪回数を増やしてほしい。
35	除雪体制	毎日とは言わないが、雪の多い日は夕方除雪に来て欲しい。
36	除雪体制	増田、十文字は一日に2回も来るのに、他の地域では三日も来ていないという地域もある。横手を中心にはと言わないが人口、道路の数、道幅などを考えた除排雪をして欲しい。
37	除雪体制	除雪をもっと頑張してほしい。
38	除雪体制	1月から2月の除雪について夕方の除雪も増やして欲しい。
39	除雪体制	高齢者住宅が多く、除雪のためのロータリーはもう少しこまめにお願いできないか。川岸、公園への吹き上げは常ですが、東西に走る通路は比較的捨て場がなく、非常に腐心していますが、車庫前道路に積み上げる家屋も見られる等、残念な状況があります。
40	除雪体制	除雪時間がやや遅い地域がある。
41	除雪体制	朝の通勤時間帯までにはできれば除雪を終えて欲しい。
42	除雪体制	会社に遅刻してしまうので、朝5時くらいまでには除雪を終わらせて欲しいと地域局に連絡したが、対応が悪かった。車が大雪で動かなくなることもあるので、毎日状況を見に来て事故が多発しないように安全な交通の確保を行ってほしい。
43	除雪体制	雪が降った日の除排雪をもっと丁寧に行って欲しい。通勤の時間帯までには終わらせて欲しい。
44	除雪体制	除雪の時間が早すぎて、出勤時間にまた雪かきをしなければならない。時間を考えてほしい。
45	除雪体制	場所によって除雪車が来るのが遅い。
46	除雪体制	雪が積もってから除雪がスタートされるまでの時間が遅い。
47	除雪体制	大雪に備えた対策を早い段階から考えておく必要がある。
48	除雪体制	除雪車出勤予定日より前に積雪があった場合は稼働してほしい。
49	除雪体制	細い小道も除雪をいっぱいして欲しい。
50	除雪体制	通学路の除雪が不十分で危険な目にあつたことがある。
51	除雪体制	通学路の除雪を充実して欲しい。
52	除雪体制	除雪により極端に道幅が狭くなる場所がある。
53	除雪体制	歩道の安全のため融雪剤をまいてほしい。

■生活環境分野(3/6)

No.	分類	要約意見
54	除雪体制	歩道の除雪を市でやってほしい。
55	除雪体制	普段から歩行者が通らない歩道の除雪は税金の無駄ではないか。
56	除雪体制	旧横手市の除雪がひどい。車線が1本減るのが困る。せめて13号線と富士見大橋はしっかり車線確保した方がいい。
57	除雪体制	冬場道幅が狭まるので道路の幅を広げて欲しい。
58	除雪体制	十字路やすみずみを広く除雪して欲しい。
59	除雪体制	除雪の際、道路を傷つけない様にやってほしい。
60	除雪体制	道路を増やすことは除排雪する場所も多くなるので大変。
61	除雪体制	枝道にも排雪だけでも来てほしい。
62	除雪体制	道路の出入り口の見通しが悪いのもう少し広く除雪して欲しい。
63	除雪体制	冬の期間だけ一方通行を多くし除雪の中を少なくして市民の排雪を少なくして市民の作業を助ける。
64	除雪体制	農村部の集落内、集落と集落を結ぶ道路も除雪をしっかりとってほしい。
65	除雪体制	横手市内の道路の除雪が悪くデコボコで非常に走りづらい。改善して欲しい。
66	除雪体制	除雪した雪が壁を作り見通しが悪くなるので除雪してもらいたい。特に107号線、交通事故多発箇所。
67	除雪体制	道路の中央だけの除雪になるので対処法を考えて欲しい。
68	除雪体制	通学路の融雪道整備の優先順位に疑問。
69	除雪体制	横手清陵から中村商会へ行く道の除雪を特に丁寧に行ってほしい。
70	除雪体制	冬期の除雪が不十分(横手市の国道県道)。
71	除雪体制	スノーポールが設置したままの場所があり、それをよけた車が中央線にはみだしたりして危ないので早急に撤去して欲しい。
72	除雪体制	旭川方面、松與会館から清陵高校まで流雪溝がない為に路上に雪を持ってくる家庭があり、道路が狭くなり交通妨害になる。
73	除雪体制	冬に片側一車線になってしまう道路(特に前郷～平和町)はもっと短期間で排雪して欲しい。
74	除雪体制	道路脇にうず高く積まれた雪は登下校の児童や車にも非常に危険。
75	除雪体制	対向車とのすれ違いができない。
76	除雪体制	除雪で車線数を維持できるようにしてほしい。
77	除雪体制	除雪する道路を絞るのも考えの一つだと思う。
78	除雪体制	交差点の歩道入口部分の除雪方法を考えて欲しい(シャベルを備え付けておいて通行人が除雪できるようにするなど)。
79	除雪体制	以前に比べて除雪体制が悪くなり道路が狭くてとても不便な日々が続いた。
80	除雪体制	小路で朝に除雪車が大量の固まった重い雪を置いて行く。高校生の通学路になっているにもかかわらず、軽自動車1台がやっと通れる道幅しかなくなっている。現状を確認して欲しい。
81	除雪体制	雪が溶けた時のわたちの除雪をお願いしたい。

■生活環境分野(4/6)

No.	分類	要約意見
82	除雪体制	交通量が少なく必要性が乏しい等の道路は冬季通行止など思い切った案でやってほしい。
83	除雪体制	吹雪の時道路が吹き溜まりになり前が見えない時がたくさんあり、車同士がぶつかりそうになることがたくさんある。
84	除雪体制	特に横手地域の除雪が明らかに他地域より悪い。
85	除雪体制	横手市は除雪が下手。
86	除雪体制	横手地域の除雪をもう少し丁寧にやって欲しい。
87	除雪体制	山内の除雪は丁寧に助かっている。
88	除雪体制	旧横手市の除雪が悪くなった。
89	除雪体制	地域により除雪の丁寧さに差がある。
90	除雪体制	平鹿町の除雪があまり良くない。
91	除雪体制	地域や場所によって除雪の仕方が異なったりする(横手市内の除排雪が雑)。
92	除雪体制	地域(業者)ごとの除雪技術の格差是正が急務。 併せて除排雪の現状やあり方に対する市民意識を共通にする仕掛けが必要。
93	除雪体制	国道において、受託業者によってレベルや対応に非常に格差を感じる。
94	除雪体制	人数や時間等をごまかす雪下ろし業者がいるようなので、業者まかせではなく内容の徹底をして欲しい。
95	除雪体制	除雪業者が既得権と勘違いしないで欲しい。
96	除雪体制	冬の除排雪をもっと丁寧にやってほしい。
97	除雪体制	地元以外の業者が高い料金で雪下ろしをしていた。
98	除雪体制	ロータリーの氷や石が屋根、壁、ガラス等にあたるのがあったので気を付けて欲しい。
99	除雪体制	除雪において、市営より民間委託がひどい。
100	除雪体制	除雪を丁寧にを行うよう除雪を行う企業に言うべき。
101	除雪体制	除雪業者の入札の範囲を広げるべき。
102	除雪体制	除雪の業者の契約単価は高すぎる。下げた方が良い。
103	除雪体制	ロータリー車を多くして欲しい。
104	除雪体制	決まりを設けて一定のきれいで安全な排雪をして欲しい。
105	除雪体制	除雪など丁寧をお願いしたい。
106	除雪体制	ロータリーによる除雪を行ってほしい。
107	除雪体制	除雪技術の向上。
108	除雪体制	だんじゃぐな除雪をする業者にはペナルティーがあっても良いのではないか。
109	除雪体制	除雪車の運転技術向上をお願いする。
110	除雪体制	除雪を委託している業者で悪質なところもあるので、教育指導を徹底して欲しい。
111	除雪体制	除雪作業員の労働環境の見直し。
112	除雪体制	除雪をもう少し丁寧にやって欲しい。

■生活環境分野(5/6)

No.	分類	要約意見
113	除雪体制	除雪において、流雪溝のある方に雪を多く置いて欲しい。
114	除雪体制	自宅前は道路ではないとのことで除雪が来ない。
115	除雪体制	枝が折れるのでりんご畑に雪を飛ばさないで欲しい。
116	除雪体制	国、県、市道の区別がわからず、除雪の相談窓口がはっきりしない。
117	除雪体制	雪対策を市民負担があっても早急に整備し、冬の暮らしが快適になり、若者が戻ってくる体制を整えるべき。
118	除雪体制	雪も資源と考え色々な方面での活用方法を考えたらいいのでは。
119	除雪体制	週間天気予報などを利用し計画的な除排雪を。
120	除雪体制	町内単位、近隣どおしの助け合いで除雪できるよう教育していくべき。
121	除雪体制	除雪費がなぜ上がっているか理解してもらえよう伝えるべき。
122	除雪体制	雪が降る前に一度、果樹農家の意見を聞いて欲しい。
123	除雪体制	屋根の雪降しに関する事業等が不十分。
124	除雪体制	除雪について、一般業者委託を含めた現在のやり方や実施時間など抜本的に見直してほしい。
125	除雪体制	昔からの近所付き合いであっても、雪が降ると不機嫌になりトラブルになる。「となり組制度」のような支援を望む。
126	除雪体制	除雪が追い付かない時は自衛隊に頼むことはできないか。
127	除雪体制	除排雪にかかる費用を削り、雪を溶かして個人の除雪が少なくなる大型機械の開発に力を入れて欲しい。
128	除雪体制	排雪場所としてふるさと村が指定されているが、観光地としての景観等を考えると対策が必要ではないか。
129	除雪体制	除排雪対策を頑張ってもらいたい。
130	除雪体制	雪が積もる地域なのに雪を捨てる場所がないのはどうかと思う。
131	除雪体制	冬は除雪がしんどい。
132	除雪体制	業者任せではなく、除排雪の監視をして欲しい。
133	除雪体制	除雪費を効率的に使ってほしい。
134	除雪体制	住民の協力、排雪場所の十分な検討が必要。
135	除雪体制	除雪は少々費用がかかってもやってほしい。
136	除雪体制	ネットの除雪情報は必要性がない。市道〇〇線〇〇時除雪とかなら意味がある。
137	除雪体制	冬の雪対策について相談できる場があればいい。
138	除雪体制	除雪に用水の水を利用できないか。
139	除雪体制	除排雪をさらに充実して欲しい。
140	除雪体制	保育園(私立)の除雪や雪下ろしは保育士がすべき仕事なのか。市から各保育所へ指導はないのか。
141	除雪体制	空き地があちこちに散見するので、固定資産税の減免等で冬季分の除排雪の捨て場として借り上げ、町内住民に開放できないものか。

■生活環境分野(6/6)

No.	分類	要約意見
142	除雪体制	除排雪について、市民に負担を押し付けるだけでなく知恵を絞って欲しい。
143	除雪体制	雪を寄せる場所の確保ができない。
144	除雪体制	防雪棚を考えて欲しい(福地地区)。
145	除雪体制	市役所職員の一斉除雪はもっと効果のある場所をやるべき。パフォーマンスだとしても、効果がないなら通常業務をするべき。
146	除雪体制	無職の人達に雪下ろしの講習を受けさせ、保険に加入させた上で除雪や雪下ろしをやってもらった方がいいのでは。
147	除雪体制	無理のない労働時間で市民の除排雪の依頼にこたえる。
148	除雪体制	水での融雪について子供達が通学路として歩く際、水をかけられびちょびちょになってかわいそう。
149	除雪体制	雪対策費の出し方捻出方法などみんなで考えるようにして欲しい。
150	除雪体制	図書館などの職員が女性が多くなり、除雪が上手にできてない。
151	除雪体制	消雪の工事補助金が足りない。
152	除雪体制	日中人が居ない家は量が増えて作業が重労働になる。
153	除雪体制	自分たちで除雪できる細かなところは皆で雪対策をすべき。
154	除雪体制	除雪作業員の増員。
155	除雪体制	道路に面している家だからと言って、融雪に係る集金をさせられるのはおかしい。
156	除雪体制	水を出す融雪は家の前が凍結し、車に氷水などがあたり、雪が重くなって寄せるのが難しいのが現実。
157	除雪体制	排雪をするためスノーダンプで押そうとする際、路面が鏡面になっていて転倒の危険がある。
158	除雪体制	除雪の雪を置く場所についてあまり差がないようにして欲しい。

■安全生活分野

No.	分類	要約意見
1	防災	市内の空き家が多く雪が降った時は大変。危険な箇所がたくさん見受けられる。
2	防災	雪でつぶれそうな家屋について、雪下ろしの指示や勧告をした方がいいのではないか。

■健康福祉分野

No.	分類	要約意見
1	ボランティア	中高生の除雪ボランティアの募集を強化して欲しい。
2	ボランティア	中高生のボランティアをもっと行うべき(除雪以外)。
3	ボランティア	多種多様なボランティアの情報を分かりやすく提示して欲しい。
4	ボランティア	雪おろしについて男手のない家があるのでサポートが必要。
5	ボランティア	高齢者がボランティアに参加しやすいような声かけやシステムがあればよい。動けるのに家にこもっている高齢者が結構いる。守る対象ではなく活かす対象としてみてはどうか。
6	ボランティア	高齢者のみの世帯への除雪対策を強化して欲しい。もっと見回りをしたり、除雪ボランティアを増やすなど継続して欲しい。
7	ボランティア	高齢者宅の除雪に中高生をボランティアで活動させて欲しい。
8	高齢者福祉	雪下ろし費用の補助制度があるのならもっとPRを。無いなら今後付加して欲しい。
9	高齢者福祉	除排雪の助成は高齢家庭ほど大切なので、家族の年齢等を詳細に調べて助成してほしい。
10	高齢者福祉	高齢者の雪下ろしにかかる費用が多くなり大変。もっと助成して欲しい。
11	高齢者福祉	年金生活者にとって2回以上業者に除排雪を依頼するのは無理。
12	高齢者福祉	高齢者世帯の雪下ろしはとても重要であり今後も助成等をしていくべき。
13	高齢者福祉	一人暮らしの高齢者へ除雪支援をお願いしたい。
14	高齢者福祉	高齢者の雪下ろしについて、高齢者宅を訪問するなりして意見や要望を聞いてくれれば今以上に良くなると思う。
15	高齢者福祉	高齢者の雪下ろしの手配をお願いしたい。
16	高齢者福祉	冬期間の宅配システム。
17	高齢者支援	高齢者二人世帯で、朝の除雪に苦労している。ボランティア頼みの施策ではなく、ある程度有料でも利用できるシステムを作って欲しい。
18	障がい者福祉	障がい者や妊婦も除雪に関して困っている。

■住民参画交流分野

No.	分類	要約意見
1	市役所の体制	除雪している業者のことで、再三にわたり地域局に苦情を言っているが、全く対応してもらえない。
2	市役所の体制	雪の除排雪に関する苦情や要望を聴く市民窓口をきちんと設置して欲しい。
3	市役所の体制	除雪の苦情がある地域を市でも見て、予算・研修・指導等お願いしたい。
4	市役所の体制	市に除雪の苦情の電話をしたら対応できないと言われた。